NTT docomo

取扱説明書 '13.4

はじめに

「HW-03E」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明

HW-03Eの操作は、以下の方法で説明しています。

■「クイックスタートガイド」（本体付属品）

本端末の基本的な操作や画面の表示内容について説明しています。

■「取扱説明書」（本端末のアプリケーション）

本端末の機能や操作、画面表示などについて、詳しく説明しています。

アプリケーション画面（P.53）で「取扱説明書」をタップすると起動できます。

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従って、アプリケーションのダウンロードとインストールを行う必要があります。

■「取扱説明書」（PDFファイル）

本端末の機能や操作、画面表示などについて、詳しく説明しています。

以下のドコモのホームページよりダウンロードできます。

http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

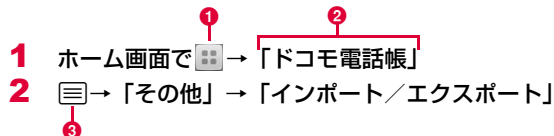
※「クイックスタートガイド」の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など続けて行う操作手順を簡略化して次のように表記しています。

<例：ホーム画面に表示されているアイコンを操作し、アプリケーションやメニュー項目などを続けて選択する操作手順>

1 ホーム画面で→「ドコモ電話帳」

2 →「その他」→「インポート／エクスポート」

❶ 名称表示のないアイコン

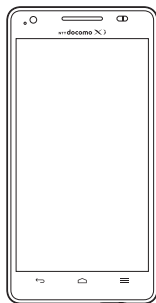
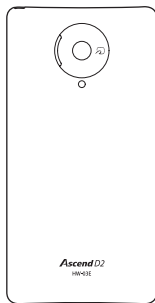
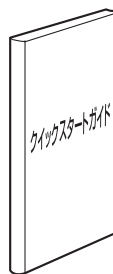
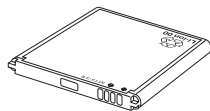
❷ 名称表示のあるアイコンやメニューなどの選択項目

❸ 本端末のキー（P.23）

▣お知らせ

- 本書の本文中においては、「HW-03E」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の操作手順や画面表示は、主に本端末のお買い上げ時の状態に基づいて記載しています。アプリケーションやサービスなどを追加／変更した場合は、操作手順や画面表示が異なる場合があります。
- 本書に掲載している画面やイラストはイメージです。実際の製品や画面とは異なる場合があります。
- 本書は、ホームアプリがdocomo Palette UIの場合で説明しています。
- 本書では、操作方法が複数ある機能や設定については、操作手順がわかりやすい方法で説明しています。
- 本書で説明しているアカウントの登録方法やアプリケーションの操作方法などは、登録先の都合やアプリケーションのアップデートなどにより、事前の通知なく変更される場合があります。
- 本書の内容やホームページのURL、および記載内容は、将来、予告なしに変更する場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。

本体付属品

■HW-03E本体（保証書付き）

■リアカバー HW06

■クイックスタートガイド

■電池パック HW05

■microSDHCカード（4GB）
（試供品）（取扱説明書付き）

目　次

ご使用前の確認と設定

docomo Palette UI

電話

メール／ウェブブラウザ

本体設定

ファイル管理

アプリケーション

海外利用

付録／索引

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末は、Xiエリア、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容（電話帳など）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され、不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上、ご利用ください。
- 本端末はｉモードのサイト（番組）への接続やｉアプリなどには対応しておりません。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリケーションやサービスによっては、Wi-Fi 通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- マナーモードを設定している場合でも、カメラのシャッター音や撮影開始音／終了音、音楽／動画の再生音やアラーム音はスピーカーから鳴りますので、ご注意ください。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は次の手順で確認できます。
  ホーム画面で → 「ドコモ電話帳」 → 「マイプロフィール」
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます（P.176）。
- 端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 紛失に備え、画面ロックを設定し、本端末のセキュリティを確保してください（P.102）。
- モバキャスは通信と連携したサービスであるため、サービスのご利用にはパケット通信料が発生します。パケット定額サービスの加入をおすすめします。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用になれます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモminiUIMカードにお取り替えください。

- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスや、Twitterなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要です。
- ご利用の料金プランにより、テザリング利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/ をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。

	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. 本端末、電池パック、アダプタ、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

防水性能について→P.18「防水／防塵性能」

本端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子、イヤホンマイク端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**
- **電池パックを本端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらワンセグ視聴などを長時間行うと、本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2. 本端末の取り扱いについて

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

本端末内のドコモminiUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

注意

アンテナ、ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

本端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質について→P.12「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

3. 電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオンポリマー電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4. アダプタの取り扱いについて

警告

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なＡＣアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

5. ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

7. 材質一覧

使用箇所		材質	表面処理
ディスプレイ		ガラス	AF（防指紋）コーティング
受話口保護ネット		ステンレススチール	-
外装ケース（側面）		PA樹脂+45%GF	UV塗装
リアカバー		PC樹脂+9%GF	UV塗装
	パッキン部分	ゴム	-
スピーカーネット		ステンレススチール	-
カメラ	外装パネル	PC樹脂	UV塗装
	周囲	アルミニウム合金	アルマイト処理
	レンズ	ガラス	-
フラッシュカバー		PMMA樹脂	-
イヤホンマイク	端子部分	ニッケル	ニッケルメッキ+金メッキ
	キャップ	PC樹脂	UV塗装
	パッキン	ゴム	-
電源／音量キー		アルミニウム合金	サンドブラスト
ワンセグ／モバキャスアンテナ	先端部分	PC樹脂	NCVM処理
	ロッド部分	ステンレススチール ニッケル／チタン合金（最細部）	-
赤外線ポート		PC樹脂	表面硬化処理
外部接続端子		ニッケル	ニッケルメッキ+金メッキ
ネジ		炭素鋼	ニッケルメッキ
ドコモminiUIMカードスロット		ステンレス	ニッケルメッキ+金メッキ
	端子部分	リン酸銅	-
microSDカードスロット		ステンレス	ニッケルメッキ+金メッキ
電池パック	上端／下端	PP樹脂	-
	水濡れシール	紙	PET樹脂
	端子部分	銅	ニッケルメッキ+金メッキ
	側面	アルミニウム	PET樹脂
	印字部分	PET樹脂	UV塗装

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ HW-03Eは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。

電池パック、アダプタ、ドコモminiUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ 本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。

多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。

また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。

傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

本端末についてのお願い

■ タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。

タッチパネルが破損する原因となります。

■ 極端な高温、低温は避けてください。

温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。お風呂場でのご使用については、「本端末が有する防水／防塵性能でできること」（P.18）をご覧ください。

■ 一般の電話機やテレビ·ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■ お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

故障、破損の原因となります。

■ 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。

故障、破損の原因となります。

■ 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■ カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。

素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ 通常はイヤホンマイク端子キャップを閉じた状態でご使用ください。

ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■ リアカバーを外したまま使用しないでください。

電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ microSD カードの使用中は、microSD カードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。

データの消失、故障の原因となります。

■ 磁気カードなどを本端末に近づけないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。

強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

■ 電池パックは消耗品です。

使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■ 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■ 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

■ 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

■ 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。

- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

■ 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■ 次のような場所では、充電しないでください。

- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■ DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。

自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■ 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■ 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。

故障の原因となります。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

■ ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■ 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■ IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■ お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■ お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■ ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■ ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth®機能を使用する場合のお願い

■ 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■ Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 周波数帯について
本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯、変調方式、および想定される与干渉距離や周波数変更の可否については、本端末の電池パック挿入部に以下のように記載されています。各記号の意味は、次のとおりです。

2.4：周波数2400MHz帯を使用する無線装置であることを示します。

FH1：Bluetooth機能の変調方式がFH-SSであり、想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

DS4/OF4：無線LAN機能の変調方式がDS-SS、OFDMであり、想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避できることを示しています。

- 利用可能なチャネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。

3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

■ 無線 LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■ 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- WLAN を海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 5GHz機器使用上の注意事項

本端末に内蔵の無線LANを5.2／5.3GHzでご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。日本で使用できるチャネル番号と周波数は次のとおりです。

	チャネル番号（Ch）	周波数（MHz）
5.2GHz帯（W52）	36	5,180
	40	5,200
	44	5,220
	48	5,240
5.3GHz帯（W53）	52	5,260
	56	5,280
	60	5,300
	64	5,320

FeliCaリーダー／ライターについてのお願い

■ 本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。

■ 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

■ 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定を受けており、その証として「技適マーク㊂」が本端末の銘板シールに表示されております。

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。

技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■ FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。

本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

■ 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

本端末は、イヤホンマイク端子キャップを閉じ、リアカバーをしっかりと取り付けた状態で、IPX5※1、IPX7※2の防水性能、IP5X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところに本端末を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

本端末が有する防水／防塵性能でできること

■ 雨の中で傘をささずに通話、ワンセグ視聴ができます（1 時間の雨量が20mm程度）。

- 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、イヤホンマイク端子キャップの開閉はしないでください。

■ 汚れたり水道水以外が付着した場合に洗い流すことができます。

- やや弱めの水流（6L/分未満）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
- 洗うときはリアカバーをしっかりと取り付けた状態で、イヤホンマイク端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手洗いしてください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください（P.21）。

■ プールサイドで使用できます。

- プールの水がかかったり、プールの水に浸けたりした場合は、水道水で洗い流してください。

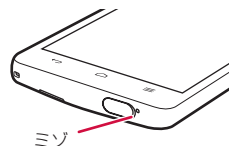
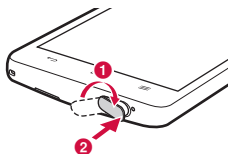
■ お風呂場で使用できます。

- 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（P.21）で水抜きしてください。
- 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、所定の方法で洗い流し（P.20）、水抜き（P.21）してください。
- お風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください（温度が高い場合は、一部の機能に制限が発生する場合があります）。
- 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かいお風呂などに本端末を持ち込むときは、本端末が常温になるまで待ってください。
- 蛇口やシャワーから水やお湯などをかけないでください。

防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の浸入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

■ 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。

■ イヤホンマイク端子キャップは、次の図に示すミゾに指先をかけてキャップを開けてください。

また、イヤホンマイク端子使用後は次の図に示す方向にキャップを閉じ（❶）、ツメを押し込んで（❷）キャップの浮きがないことを確認してください。

■ リアカバーの取り付けかたは、「電池パックの取り付け／取り外し」の「取り付けかた」をご覧ください（P.27）。
■ リアカバーは浮きがないように確実に取り付け、イヤホンマイク端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
■ 送話口／マイク、受話口、スピーカーなどを尖ったものでつつかないでください。
■ 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
■ イヤホンマイク端子キャップ、リアカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
■ リアカバーとイヤホンマイク端子キャップのゴムパッキンを取り外さないでください。防水／防塵性能が損なわれる恐れがあります。

▣お知らせ

- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

石鹸／洗剤／入浴剤をつける

ブラシ／スポンジで洗う

洗濯機で洗う

強すぎる水流を当てる

海水につける

温泉で使う

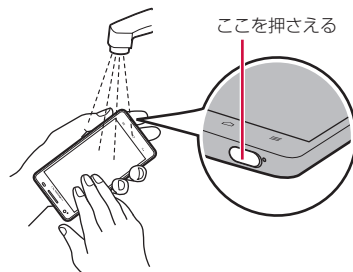
また、次の注意事項を守って正しくお使いください。
■ 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。
■ 規定以上の強い水流（6L/分以上の水流：例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。本端末はIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、故障の原因となります。

■ 万が一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や砂などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
■ 洗濯機などで洗わないでください。
■ 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
■ 水道水に浸けるときは、30分以内としてください。
■ 本端末は水に浮きません。
■ 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
■ 送話口／マイク、受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
■ リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
■ イヤホンマイク端子キャップやリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
■ イヤホンマイク端子キャップやリアカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取替えください。

▣お知らせ

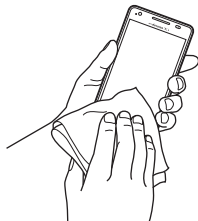
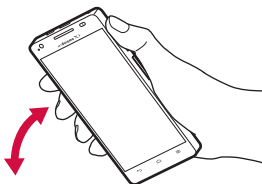
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

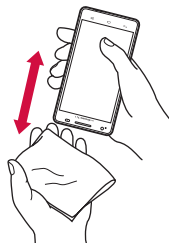
本端末の洗いかた

イヤホンマイク端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらず水道水で手洗いしてください。

■ 規定以上の強い水流（6L/分以上の水流：例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。
■ リアカバーを確実に取り付けた状態で、イヤホンマイク端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらず常温の水道水で手洗いしてください。
■ ブラシやスポンジ、石鹸、洗剤などは使用しないでください。
■ 泥や土が付着している場合は操作をせず、まず洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落としてから、流水で洗い流してください。
■ 洗い流した後は表面を乾いた布でよく拭いて、次の方法で水抜きを行った後、自然乾燥させてください。

水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

1 本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

2 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

3 送話口／マイク、受話口、スピーカー、キー、外部接続端子、イヤホンマイク端子などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を軽く押し当てて拭き取る

- 隙間に溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。

4 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させる

- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

充電のときは

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

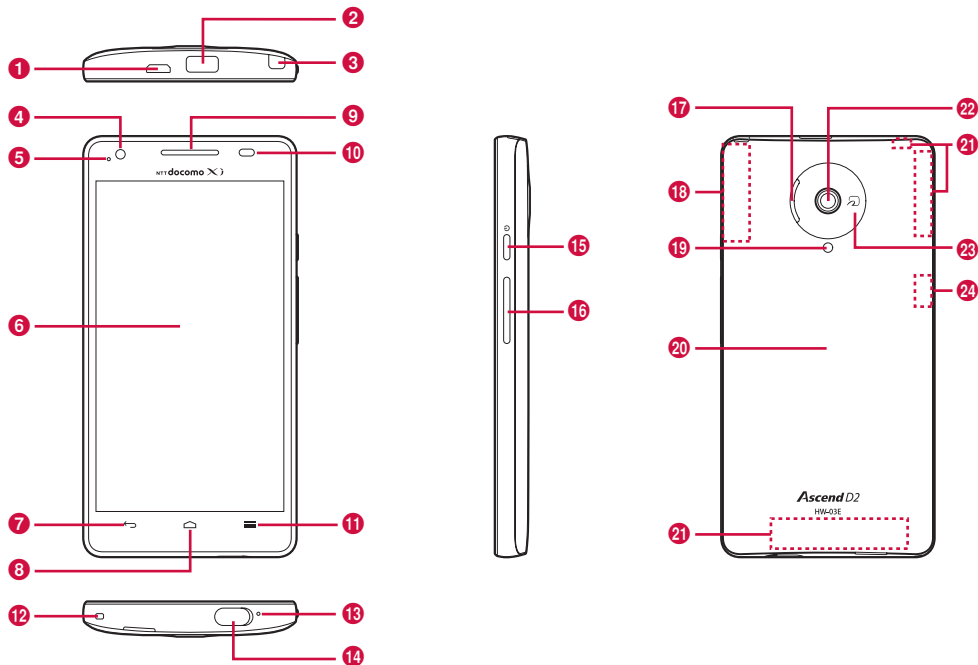
■ 充電時は、本端末が濡れていないか確認してください。本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。

■ 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。

■ 本端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、microUSBプラグを差し込んでください。

■ ACアダプタは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。

■ 濡れた手で AC アダプタに触れないでください。感電の原因となります。

各部の名称と機能

❶ **外部接続端子（防水）**
- 充電時やパソコン接続時などに使用します。

❷ **赤外線ポート**
- 赤外線通信に使用します（P.111）。

❸ **ワンセグ／モバキャスアンテナ**

❹ **インカメラ**
- 静止画や動画の撮影などに使用します。

❺ **通知LED**
- 不在着信などの通知があるときや、充電しているときなどに点灯／点滅します（P.43）。

❻ **ディスプレイ（タッチパネル）**
- 指で直接触れて操作できます（P.32）。

❼ **バックキー（タッチキー）**
- 直前の画面に戻るときに使用します。

❽ **ホームキー（タッチキー）**
- ホーム画面に戻るときに使用します。
- ロングタッチすると、最近使用したアプリケーションの一覧が表示されます。

❾ **受話口**
- 通話相手の音声が聞こえます。

❿ **照度センサー／近接センサー**※1
- 周囲の明るさを感知して、ディスプレイの明るさを調整します。
- 通話中に顔などが近づいたことを感知して、タッチパネルの誤動作を防ぎます。

⓫ **メニューキー（タッチキー）**
- 各画面でメニューを表示するときに使用します。

⓬ **ストラップホール**
- ストラップを取り付ける際は、リアカバーをいったん取り外したあと、ストラップを本端末の穴に通し、内部のフックにかけてから、再びリアカバーを取り付けます。

⓭ **送話口／マイク**
- 通話相手に自分の音声を送るときや録音などに使用します。

⓮ **イヤホンマイク端子**
- イヤホンマイクなどの接続時に使用します。

⓯ **電源キー**
- 電源のON／OFF、スリープモードの手動設定などに使用します。

⓰ **音量上／下キー（／）**
- 着信音量や通話音量、音楽の再生音量などを調節します。

⓱ **スピーカー**
- 着信音や再生中の音楽などが流れます。
- リアカバーを取り外した状態で、スピーカー部分を強く押さないでください。破損する原因となります。

⓲ **GPSアンテナ部**※2

⓳ **フラッシュ**
- カメラの撮影時に点灯できます。

⓴ **リアカバー**
- リアカバーの裏面には、防水のためのゴムパッキンがついています。
- リアカバー裏面のシールは、はがさないでください。はがした場合、ICカードを読み書きできなくなることがあります。

㉑ **FOMA／Xiアンテナ部**※2

㉒ **アウトカメラ**
- 静止画や動画の撮影などに使用します。

㉓ **マーク**
- IC カードを搭載しています。このマークを読み取り機にかざしておサイフケータイの機能を利用したり、対応するアプリケーションをダウンロードするとiC通信でデータを送受信したりできます。なお、ICカードは取り外しできません。

㉔ **Bluetooth／Wi-Fiアンテナ部**※2

※1 各センサー部分に保護シートやシールなどを貼ると、センサーが誤動作する場合があります。
※2 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと、通話や通信の品質に影響を及ぼす場合があります。

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。ドコモminiUIMカードが本端末に取り付けられていないと、本端末の一部の機能（電話の発着信など）を利用することができません。

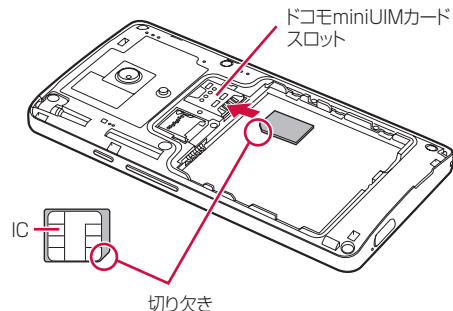
- 本端末ではドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードについて詳しくは、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

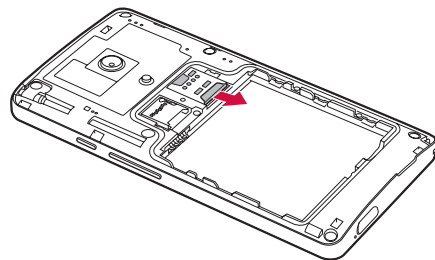
ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください（P.28）。

取り付けかた

1 ドコモminiUIMカードのIC面を下にして、矢印の方向へドコモminiUIMカードスロットの奥まで差し込む

- 切り欠きの方向にご注意ください。

取り外しかた

1 ドコモminiUIMカードを指先で軽く押さえながら、矢印の方向にゆっくりスライドさせるように取り出す

▣お知らせ

- ドコモ miniUIM カードを取り扱うときは、IC に触れたり、傷つけないようにご注意ください。
- ドコモminiUIMカードを無理に取り付けたり取り外したりしようとすると、ドコモminiUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- 取り外したドコモminiUIMカードはなくさないようにご注意ください。

microSDカード

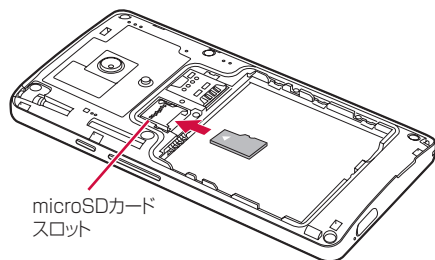
microSDカードを使用すると、本端末のデータを保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりすることができます。

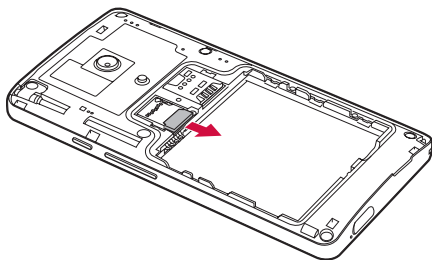
- 本端末は2GBまでのmicroSDカード、および32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2013年4月現在）。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。各microSDカードの本端末への対応状況については、microSDカードのメーカーへお問い合わせください。

microSDカードの取り付け／取り外し

- microSDカードの取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください（P.28）。

取り付けかた

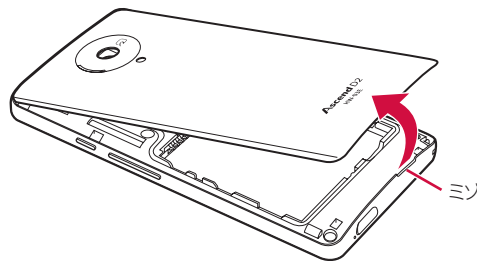
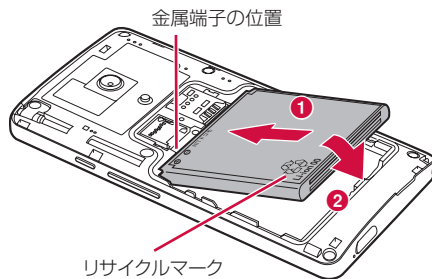
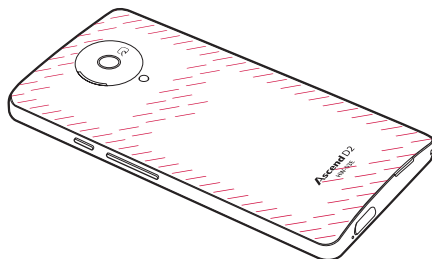
1 microSDカードの金属端子面を下にして、矢印の方向へmicroSDカードスロットの奥まで差し込む

取り外しかた

1 microSDカードを指先で軽く押さえながら、矢印の方向にゆっくりスライドさせるように取り出す

電池パック

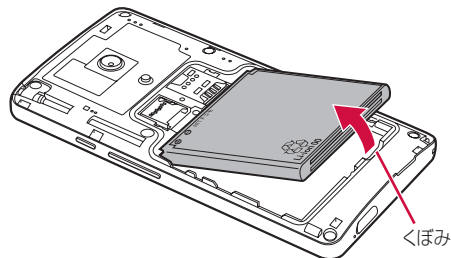
電池パックの取り付け／取り外し

- 電池パックの取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り、手でしっかり持って行ってください。
- リアカバーは無理に取り付けようとしたり、取り外そうとしたりすると、破損する恐れがあります。無理な力を加えないようにしてください。

取り付けかた

1 本端末下部のミゾの部分に指先をかけ、矢印の方向へリアカバーを持ち上げて取り外す

2 電池パックのリサイクルマークが印刷されている面を上にして、電池パックと本端末の金属端子を合わせて❶の方向に押し付けながら、❷の方向に押し込んで取り付ける

3 リアカバーの向きを確認して本端末に合わせるように装着し、本端末とリアカバーの間にすき間がないことを確認する

- 防水／防塵性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。

取り外しかた

1 リアカバーを取り外し、本端末のくぼみの部分に指先をかけ、電池パックを矢印の方向へ持ち上げて取り外す

充電

充電時のご注意

はじめてお使いになるときや、長時間お使いにならなかったときは、必ず充電してからお使いください。

- 本端末を使用しながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、充電が完了しなかったりすることがあります。
- 電池残量がない状態で充電を開始すると、通知LEDが点灯するまでに時間がかかることがあります。

充電について

- 詳しくは、ご利用になるACアダプタまたはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 03／04はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用に変圧器を使用しての充電は、行わないでください。

十分に充電した場合の使用可能時間（目安）

電池パックの使用時間は、充電時間や電池パックの劣化度で異なります。

連続待受時間	LTE	静止時（自動）※：約280時間
	FOMA／3G	静止時（自動）※：約340時間
	GSM	静止時（自動）※：約350時間
連続通話時間	FOMA／3G	約440分
	GSM	約500分

※「モバイルネットワーク」（P.161）で「LTE／3G／GSM（自動）」に設定した場合

充電時間の目安

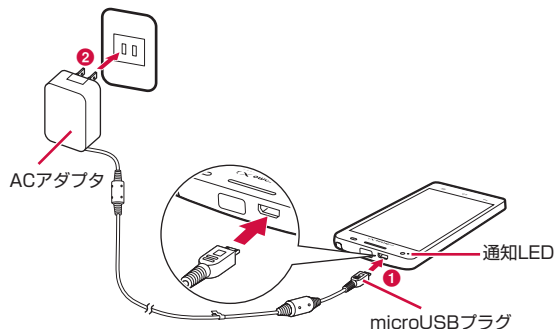
ACアダプタ 04	約130分
ACアダプタ 03	約180分
DCアダプタ 03	約200分

電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら、通話などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

Li-ion 00

ACアダプタを使って充電する

＜例：ACアダプタ 04（別売）を使用して充電する場合＞

1 **本端末の外部接続端子にACアダプタのmicroUSBプラグを、刻印面（B）を下にして、水平に差し込む（❶）**

2 **ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む（❷）**

充電が開始されます。充電が完了すると、ステータスバーに が表示されます。

- 充電中は通知LEDが点灯し、点灯色で充電状態の目安がわかります。電池残量が9%以下は赤、10～89%は黄、90%以上は緑で点灯します。
- 本端末の電源を切って充電している場合、 を押すと充電中の電池残量の目安が5%単位で表示されます。

3 **充電が完了したら、コンセントからACアダプタの電源プラグを抜く**

4 **本端末の外部接続端子からACアダプタのmicroUSBプラグを水平に抜く**

DCアダプタ（別売）について

DCアダプタは、自動車のシガーライターソケット（12V／24V）と本端末を接続して充電するためのアダプタです。詳細については、DCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

▣お知らせ

- DC アダプタのヒューズが切れた場合は、必ず指定のヒューズをご使用ください。ヒューズは消耗品ですので、交換に際しては、お近くの自動車用品店などでお買い求めください。

パソコンを使って充電する

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル01（別売）で接続して、充電することができます。

- パソコンとの接続方法については、P.115をご覧ください。

▣お知らせ

- 一部の機器を除いて、パソコンの電源を切った状態では充電できません。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 ⊂⊃を2秒以上押す

- はじめて電源を入れたときは、初期設定を行います（P.42）。

2 画面ロックを解除する

画面ロックの解除方法については、「画面ロックを解除する」（P.32）を参照してください。

▣お知らせ

- 電源を入れてからホーム画面が表示されるまでに、1分以上かかる場合があります。
- ⊂⊃を押した後、本端末の反応がない場合は、充電が不十分な場合があります。充電完了後、再び操作を行ってください。
- 画面ロックの解除方法を「タッチ」に設定している場合、ロック画面で通知パネルを表示できます。

電源を切る

1 ⊂⊃を1秒以上押す

携帯電話オプション画面

2 「電源を切る」→「OK」

- 携帯電話オプション画面から再起動したり、機内モード（P.85）やマナーモード（P.93）を設定できます。

スリープモードを解除する

本端末を一定時間操作しなかった場合、自動的にディスプレイの表示が消えてスリープモードの状態になります。スリープモードを解除するには、⊂⊃を押します。

画面ロックを解除する

画面ロックの解除方法（P.102）を「ロックなし」以外に設定すると、電源を入れた後やスリープモードを解除した後に、選択した操作を行わないと本端末が操作できないようにロックすることができます。また、本端末の誤動作を防ぐために、手動でロックすることもできます。

<例：画面ロックの解除方法を「タッチ」に設定している場合>

1 ロック画面で🔒をタップ

- 画面ロックの解除方法を「タッチ」に設定している場合は、ロック画面のアイコンをタップして「カメラ」や、「しゃべってコンシェル」または「Google」を起動することができます。また、不在着信やspモードメールの通知がある場合は、アイコンに数字（通知件数）が表示されます。

■ 手動でロックする場合

① ⊂⊃を押す

基本操作

タッチパネルの操作方法

本端末のディスプレイは、指で直接触れて操作するタッチパネルとなっています。タッチパネルは、触れかたによってさまざまな操作ができます。

タッチパネルをご利用になる前に

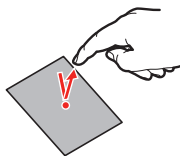
本端末は静電気を使って指の動作を感知することで、タッチパネルを操作する仕様となっています。

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先がとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - タッチパネルが濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作

▣お知らせ

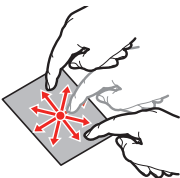
- 確認画面などポップアップの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタップすると、操作が中止されることがあります。

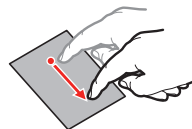
■ タップ／ダブルタップ

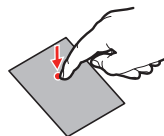
項目やアイコンに軽く触れて指を離します。2回続けて同じ位置をタップする操作を、ダブルタップと呼びます。

■ フリック

ディスプレイを指ですばやくはらうように操作します。

■ スライド（スワイプ）

ディスプレイに軽く触れたまま、目的の方向になぞります。

■ ドラッグ

アイコンなどに軽く触れたまま、目的の位置までなぞります。

■ ロングタッチ

メニューが表示されるなど、目的の動作が起こるまでアイコンやキーに触れた状態を保ちます。

■ ピンチ

ディスプレイに2本の指で触れたまま、その指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。画像などを拡大／縮小するときに使用します。

ディスプレイの表示方向の自動切替を設定する

本端末の向きや傾きを感知して、ディスプレイの表示方向が自動的に縦／横に切り替わるように設定できます。

1 ホーム画面で[メニュー]→「本体設定」→「すべて」→「表示」

2 「画面の自動回転」にチェックを付ける

▣お知らせ

- ホーム画面や一部の機能の画面など、表示方向が自動的に切り替わらない場合があります。

画面表示を画像として保存する

ディスプレイの画面表示の内容を画像として保存することができます（スクリーンショット）。保存したスクリーンショットは、ギャラリー（P.135）で確認できます。

1 スクリーンショットを保存したい画面で[電源キー]と[音量下キー]（音量下キー）を同時に1秒以上押す

スクリーンショットが保存され、ステータスバーに[アイコン]が表示されます。

- 通知パネルを開いて通知をタップすると、保存した画像を表示できます。

▣お知らせ

- 機能やアプリケーションによっては、スクリーンショットが保存できない場合があります。

文字入力

文字を入力するときは、画面に表示されるキーボードを利用します。入力方法（キーボード）には、次の5種類があります。

入力方法（キーボード）	説明
Androidキーボード（AOSP）	英数字・記号のみ入力する場合に選択します。日本語入力はできません。
FSKAREN（エフエスカレン）for Ascend	日本語を入力する場合に選択します。お買い上げ時の入力方法です。
Google音声入力	Google音声入力を利用する場合に選択します。日本語以外の入力を設定することもできます。
ドコモ文字編集	ドコモ音声入力を利用する場合に選択します。音声認識後、入力候補から選ぶことができます。日本語のみ入力できます。
中国語入力方法	中国語を入力する場合に選択します。ピンイン入力、全画面／半画面を使っての手書き入力ができます。 • 利用するには、あらかじめ「言語と文字入力」（P.103）でチェックを付ける必要があります。

▣お知らせ

- 使用状況によって各キーボードの表示や動作が異なる場合があります。また、利用するアプリケーションや機能によっては、専用のキーボードが表示される場合があります。

キーボードを変更する

1 キーボード表示中に通知パネルを開く→「入力方法の選択」

2 利用したい入力方法をタップ

FSKAREN for Ascendで入力する

■ 10キーを利用する

複数の文字が各キーに割り当てられています。フリックして文字を入力するフリック入力、または、目的の文字が表示されるまでキーを繰り返しタップするトグル入力ができます。

- フリック入力とは、入力する文字の行が割り当てられているキーをタップしたまま、上／下／左／右にフリックして、入力する文字を選択する入力方法です。キーに触れたときに、キーの上にポップアップが表示されますので、入力したい文字の方向にフリックします。ポップアップ中央の文字は、キーをタップするだけで入力できます。

  （例）「め」を入力する場合

  「ま」のキーをタップしたままで、「め」が表示されている方向（右）にフリックします。

1 キーボード表示中に「Menu」→「10キー」

10キー

❶ 変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- ▼をタップすると、変換候補の表示エリアを拡大できます。▲をタップすると、元の表示に戻ります。

❷ 入力文字種を切り替えます。
- 「♥^-^☆」タブ表示中の操作については「絵文字／顔文字／記号を利用する」（P.38）を参照してください。

❸ カーソルキーを表示して、カーソルを移動したり文字の編集を行うことができます。

❹ カーソルを左に移動します。

❺ QWERTYキーボードに変更します。上にフリックするとドコモ文字編集が利用できます。

❻ カナ英数の変換候補が表示されます。再度タップすると元の表示に戻ります。
- 「Menu」が表示されているときは、FSKAREN for Ascendの設定などが行えます（P.39）。

❼ 入力中の文字の大文字／小文字を切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。
- 「abc」タブ表示中はa⇔Aが表示され、大文字／小文字を切り替えることができます。
- が表示されているときは、入力済みの文章を顔文字に一括変換できます。

❽ キーボードを閉じます。
❾ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。
❿ カーソルを右に移動します。
⓫ 変換を行います。
- ␣が表示されているときは、スペースを入力します。

⓬ 入力中の文字を確定します。
- ↵が表示されているときは、改行します。
- その他、操作状態や選択中の入力欄に対応したキーが表示され、操作の実行や次の入力欄への移動などができます。

■ QWERTYキーボードを利用する

パソコンのキーボードと同様のキー配列で、日本語を入力するにはローマ字で入力します。

- 複数の文字や記号が表示されているキーは、フリック入力ができます。

1 **キーボード表示中に「Menu」→「QWERTY」**

QWERTYキーボード

❶ 変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- ▼をタップすると、変換候補の表示エリアを拡大できます。▲をタップすると、元の表示に戻ります。

❷ 入力文字種を切り替えます。
- 「♥^-^☆」タブ表示中の操作については「絵文字／顔文字／記号を利用する」（P.38）を参照してください。

❸ 10キーに変更します。上にフリックするとドコモ文字編集が利用できます。
❹ 英字の変換候補が表示されます。再度タップすると元の表示に戻ります。
- 「Menu」が表示されているときは、FSKAREN for Ascendの設定などが行えます（P.39）。

❺ カーソルキーを表示して、カーソルを移動したり文字の編集を行うことができます。
❻ カーソルを左／右に移動します。
❼ キーボードを閉じます。
❽ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。
❾ 入力中の文字を確定します。
- ↵が表示されているときは、改行します。
- その他、操作状態や選択中の入力欄に対応したキーが表示され、操作の実行や次の入力欄への移動などができます。

❿ 変換を行います。
- ␣が表示されているときは、スペースを入力します。

お知らせ

- 「abc」タブ表示中はaAが表示され、大文字／小文字を切り替えることができます。

■ 手書き入力を利用する

1 キーボード表示中に「Menu」→「手書き」

手書きキーボード

❶ 変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- ▼をタップすると、変換候補の表示エリアを拡大できます。▲をタップすると、元の表示に戻ります。

❷ 入力文字種を切り替えます。
- 「♥^-^☆」タブ表示中の操作については「絵文字／顔文字／記号を利用する」（P.38）を参照してください。

❸ 枠内に手書きで文字を入力します。

❹ カーソルキーを表示して、カーソルを移動したり文字の編集を行うことができます。

❺ カナ英数の変換候補が表示されます。再度タップすると元の表示に戻ります。
- 「Menu」が表示されているときは、FSKAREN for Ascendの設定などが行えます（P.39）。

❻ 手書きした文字の認識候補が表示されます。入力したい文字をタップして選択します。

❼ カーソルを左／右に移動します。

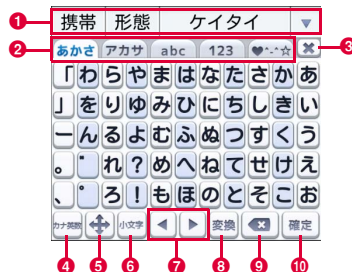
❽ キーボードを閉じます。

❾ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

❿ 入力中の文字を確定します。
- ↵が表示されているときは、改行します。
- その他、操作状態や選択中の入力欄に対応したキーが表示され、操作の実行や次の入力欄への移動などができます。

⓫ 変換を行います。
- ␣が表示されているときは、スペースを入力します。

■ 50音キーボードを利用する

1 キーボード表示中に「Menu」→「50音」

50音キーボード

❶ 変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- ▼をタップすると、変換候補の表示エリアを拡大できます。▲をタップすると、元の表示に戻ります。

❷ 入力文字種を切り替えます。
- 「♥^-^☆」タブ表示中の操作については「絵文字／顔文字／記号を利用する」（P.38）を参照してください。

❸ キーボードを閉じます。

❹ 英字の変換候補が表示されます。再度タップすると元の表示に戻ります。
- 「Menu」が表示されているときは、FSKAREN for Ascendの設定などが行えます（P.39）。

❺ カーソルキーを表示して、カーソルを移動したり文字の編集を行うことができます。

❻ 大文字／小文字を切り替えます。
- 「abc」タブ表示中は aA が表示され、大文字／小文字を切り替えることができます。

❼ カーソルを左／右に移動します。

❽ 変換を行います。
- ␣ が表示されているときは、スペースを入力します。

❾ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

❿ 入力中の文字を確定します。
- ↵ が表示されているときは、改行します。
- その他、操作状態や選択中の入力欄に対応したキーが表示され、操作の実行や次の入力欄への移動などができます。

■ 絵文字／顔文字／記号を利用する

1 キーボード表示中に 💙^-^☆ をタップ

例：顔文字一覧

❶ 入力文字種を切り替えます。

❷ 履歴一覧を表示します。

❸ 絵文字一覧を表示します。
- 入力欄によっては表示されません。

❹ 顔文字一覧を表示します。

❺ 記号一覧を表示します。

❻ カーソルを左／右に移動します。

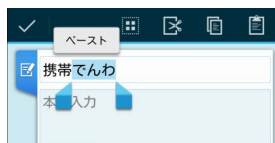
❼ キーボードを閉じます。

❽ カテゴリを切り替えます。絵文字一覧／顔文字一覧表示中は、左右にスライド（スワイプ）すると隠れているカテゴリが表示されます。

❾ 改行します。
- その他、操作状態や選択中の入力欄に応じて、操作の実行や次の入力欄への移動などができます。

❿ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

文字の編集（選択／切り取り／コピー／貼り付け）

入力した文字列を選択／コピー／切り取り／貼り付けして利用できます。

文字列選択画面

1 **入力した文字列をロングタッチ**

2 **／をドラッグして文字列を選択**

3 **アイコンをタップ**

- アプリケーションによって、表示されるアイコンは異なります。

アイコン	説明
（すべて選択）	入力した文字列をすべて選択します。
（切り取り）	選択した文字列を切り取ります。
（コピー）	選択した文字列をコピーします。
（ペースト）	切り取り／コピーした文字列を、選択した文字列に上書きして貼り付けます。

▣お知らせ

- 切り取り／コピーした文字列がある場合は、以下の操作で貼り付けることができます。
  - 文字が入力されていない場合：文字入力欄をロングタッチ→「ペースト」
  - 文字が入力されている場合：挿入したい位置をタップ→→「ペースト」

FSKAREN for Ascendの設定などを行う

1 **キーボード表示中に「Menu」→項目を設定**

項目		説明
入力方法		入力方法を「10キー」「QWERTY」「手書き」「50音」「音声入力」から選択します。
一覧表示		顔文字や定型文などの一覧を表示します。
画面設定	**デザイン変更**	キーボードのデザインを設定します。
	変換候補行数	縦画面で変換候補を表示する行数を設定します。
	サイズ変更	キーボードの高さを設定します。 •「手書き」選択時は表示されません。

項目		説明
ON/OFF設定	キーバイブ	キーをタップしたときに振動させるかどうかを設定します。
	キー操作音	キーをタップしたときに効果音を鳴らすかどうかを設定します。
	ワンタッチ変換	ワンタッチ変換を有効にするかどうかを設定します。 • ワンタッチ変換とは、10キー利用時に入力したい文字が割り当てられているキーを1回ずつタップするだけで、その組み合わせから変換候補を推測して表示する機能です。例えば「かあたあ」と入力してを上にフリックすると変換候補から「携帯」を入力することができます。
	予測変換	予測変換候補を表示するかどうかを設定します。
	連携予測	確定した文字から予測して、入力候補を表示するかどうかを設定します。
	下段フリック	最下段のキーで下向きのフリック入力を有効にするかどうかを設定します。

項目		説明
各種設定	10キー入力方式	10キー利用時の入力方式を「フリック＋トグル入力」／「フリック入力」／「トグル入力」／「2タッチ入力」から選択します。
	フリック感度	フリック入力の感度を設定します。
	オートカーソル	トグル入力時、文字入力後にカーソルを自動で右に移動させるかどうかや、カーソルを移動させるまでの時間を設定します。
	入力文字種	キーボードごとに通常使用する入力文字種を設定します。
	手書き画面タイプ	縦画面で手書き入力時、手書き入力エリアを「シングル」／「ダブル」から選択します。
辞書設定	ユーザー辞書	ユーザー辞書を利用します（P.41）。
	ユーザー変換辞書	ユーザー変換辞書を利用します（P.41）。
	定型文	定型文／顔文字を追加／編集／初期化します。
リセット	学習リセット	FSKAREN for Ascendで記憶された学習内容を消去します。
	設定リセット	FSKAREN for Ascendの設定内容をリセットします。
	デコ絵文字リセット	デコ絵文字の一覧を初期状態に戻します。

項目	説明
バージョン情報	FSKAREN for Ascendのバージョンなどが表示されます。

▣お知らせ

- 「FSKARENコミュニティ」をタップすると、FSKARENのコミュニティサイトにアクセスします。

■ 単語をユーザー辞書に登録する

特殊な読みかたをする漢字や、よく使う略語などを登録しておくと便利です。登録した単語を呼び出すには、文字入力欄にユーザー辞書に登録した見出し語を入力し、変換します。

1 キーボード表示中に「Menu」→「ユーザー辞書」→目的の操作を行う

■ 単語を登録する場合

①「新規登録」→単語・見出し語を入力し、品詞を選択→「登録」
②「OK」→「閉じる」

■ 登録内容を編集する場合

① 編集する項目をタップ→「編集」
② 内容を変更→「決定」→「OK」

■ 登録内容を削除する場合

① 削除する項目にチェックを付ける
②「削除」→「OK」→「OK」

■ 登録内容をユーザー変換辞書として登録する場合

①「変換」→「OK」

- ユーザー辞書に登録した単語をまとめて、1つの辞書（ユーザー変換辞書）として登録できます。登録しておくと、辞書ごとに使い分けることができます（P.41）。

■ 登録内容を保存する場合

①「保存」→「OK」

■ 保存した登録内容を復元する場合

①「復元」→復元する項目をタップ
②「復元」→「OK」→「閉じる」

■ 保存した登録内容を削除する場合

①「復元」→削除する項目をタップ
②「削除」→「OK」→「OK」→「閉じる」

▣お知らせ

- ユーザー辞書（拡張子：suj）を保存した場合は、内部ストレージ内の「FSKaren_UserDic」フォルダに保存できます。

■ ユーザー変換辞書を使用する

ユーザー辞書から登録したユーザー変換辞書を、文字入力時に使用するかどうかを設定します。

1 キーボード表示中に「Menu」→「ユーザー変換辞書」→目的の操作を行う

■ 使用するユーザー変換辞書を選択する場合

① 使用する辞書にチェックを付ける

■ 辞書を確認する場合

① 確認する辞書をタップ→「表示」→「閉じる」

■ 辞書名を変更する場合

① 編集する辞書をタップ→「辞書名変更」
② 辞書名を変更→「OK」→「OK」

■ 辞書を削除する場合

① 削除する辞書をタップ→「削除」→「OK」→「OK」

初期設定

はじめて電源を入れたときや、「データの初期化」(P.104)を行った後は、「ようこそ」画面が表示され、Googleアカウントなどの設定ができます。

1 「開始」→「いいえ」→「アカウントを作成」

- 表示されている言語をスクロールすると、使用する言語を設定できます。
- すでにGoogleアカウントをお持ちの場合は、「はい」をタップします。
- 以降の操作については、画面の指示に従ってください。
- ソフトウェア更新の画面が表示されたときは、「OK」をタップします。

2 ドコモサービスの初期設定画面が表示されたら「進む」

- 画面の指示に従って以下の設定を行います。
  -アプリ一括インストール
  -おサイフケータイの利用
  -ドコモアプリパスワードの設定
  -位置提供設定

Googleアカウントの設定

GoogleアカウントをGoogle設定することで、GmailやGoogle Playなど Google提供のオンラインサービスを利用できるようになります。

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」

2 「アカウントを追加」→「Google」

- 以降の操作については、画面の指示に従ってください。

Wi-Fiを設定する

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」→「Wi-Fi」

2 [OFF]をタップして[ON]にする

Wi-FiがONになります。
利用可能なアクセスポイントが自動的に検出され、一覧表示されます。

3 接続するアクセスポイントをタップ

- セキュリティで保護されているアクセスポイントに接続する場合は、パスワードを入力し、「接続」をタップします。

▣お知らせ

- Wi-Fi が ON のときでもパケット通信を利用できます。ただし Wi-Fi ネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。
- Wi-Fiネットワークが切断された場合は、自動的にLTE/3G/GPRSネットワーク接続に切り替わります。切り替わったままご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- Wi-Fi 機能の詳細については、「Wi-Fi 機能を利用する」(P.85)をご参照ください。

通知LED

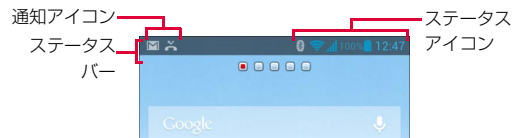
不在着信などの通知があるときや、充電しているときなどに通知LEDが点灯／点滅して通知や本端末の状態をお知らせします。

動作	説明
赤で点滅	要充電（電池残量が9%以下）
赤で点灯	充電中（電池残量が9%以下）
黄で点灯	充電中（電池残量が10～89%）
緑で点灯	充電中（電池残量が90%以上）
緑で点滅	不在着信や新着メールなどの通知あり
黄で点滅※	GPS機能使用中

※ 「GPS LED通知」（P.143）で通知LEDを動作させるかどうかを設定できます。

画面表示とアイコン

ステータスバー

ディスプレイ上部に表示されるステータスバーには、不在着信やメールの受信、データの送受信の結果などをお知らせする通知アイコンや、本端末の状態を示すステータスアイコンが表示されます。

主な通知アイコン

アイコン	状態
	新着Gmailあり
	新着Eメールあり
	新着SMSあり
	新着spモードメールあり
	SMSの送信失敗
	新着インスタントメッセージ（Googleトーク）あり
	留守番電話サービスの伝言メッセージあり（数字は件数）
	予定（カレンダー）の通知あり
	メディアプレイヤーで音楽再生中
	「音楽」アプリで音楽再生中
	エラー発生

アイコン	状態
	本端末のメモリの空き容量低下
	Wi-FiがONかつWi-Fiオープンネットワークが利用可能
	VPN接続中
	USB接続中
	非表示の通知あり
	着信中
	不在着信あり
	Bluetooth通信でデータ受信中
	赤外線通信中
	データのアップロード
	データのダウンロード
	Google Playに更新可能なアプリケーションあり／アプリケーションのインストール完了

アイコン	状態
	ソフトウェア更新可能
	USBテザリング設定中
	Wi-Fiテザリング設定中
	USBテザリングとWi-Fiテザリング設定中
	GPS測位中
	スクリーンショット保存完了
	モバキャス受信中
	ワンセグ視聴中
	ワンセグ録画中
	パーソナルエリアなどの通知あり
	「プロファイル」アプリで「スリープ」設定中
	「プロファイル」アプリで「会議」設定中
	「プロファイル」アプリで「屋外」設定中
	キーボード表示中
	あんしん遠隔サポート起動中
	おまかせロック設定中

主なステータスアイコン

アイコン	状態
	LTE使用可能
	LTE通信中
	HSPA使用可能
	HSPA通信中
	3Gデータ通信使用可能
	3Gデータ通信中

アイコン	状態
	Wi-Fiネットワーク接続中
	Wi-Fiネットワークデータ通信中
	Bluetooth起動中
	Bluetooth対応機器に接続中
	機内モード設定中
	アラーム設定中
	データ同期中
※	電波レベル
	ローミング中
	圏外
	ドコモminiUIMカード未挿入
	マナーモード（バイブレーション）設定中

アイコン	状態
	マナーモード（ミュート）設定中
	おサイフケータイ ロック設定中
	電池残量ほとんどなし • 充電してください。
	電池残量少
	電池残量十分
	充電中

※ パケット通信の電波レベルが弱いときはグレーで表示されます。

通知パネル

ステータスバーを下にスライドすると通知パネルが表示され、通知情報などを確認できます。

通知パネル

❶ タップして、設定メニューを呼び出すことができます（P.84）。
❷ タップして、各種設定を切り替えることができます。
❸ 実行中の情報や通知情報、通知に対して可能な操作内容などが表示されます。タップすると通知情報の確認や関連機能の操作ができます。通知情報は、左右にスワイプすると消去できます。
❹ 左には在圏する通信事業者名、右にはSIMカードに登録されている通信事業者名が表示されます。
❺ 上にスライドして通知パネルを閉じます。
❻ 通知情報をまとめて消去します。通知内容によっては消去できません。

ホーム画面の見かた

ホーム画面

「ひつじのしつじくん®」
© NTT DOCOMO

❶ ホーム画面位置
ホーム画面の現在位置を表示します。左右にスワイプして切り替えられます。

❷ ウィジェット：検索
ウィジェット（検索）の起動や操作を行います。

❸ ウィジェット：ｉチャネル
ウィジェット（ｉチャネル）の起動や操作を行います。

❹ ウィジェット：マチキャラ
メール受信や着信などの情報をお知らせします。

❺ ショートカット（アプリケーション）
アプリケーションや機能を起動したりします。

❻ アプリケーションボタン
タップすると、アプリケーション画面が表示されます（P.53）。

❼ 壁紙

❽ ドック
ホーム画面を切り替えても常に表示され、ショートカット、フォルダ、グループを配置できます。

▣お知らせ

- 本端末では、ホームアプリを「docomo Palette UI」または「Emotion UI」に切り替えられます。
  お買い上げ時は、ホームアプリに「docomo Palette UI」が設定されています。「Emotion UI」に切り替える場合は、ホーム画面で▤→「本体設定」→「すべて」→「ホーム選択」→「Emotion UI」→「OK」をタップして切り替えます。
- 「Emotion UI」には、アプリケーション画面がありません。すべてのアプリケーションはホーム画面に表示されます。また、ホーム画面で▤をタップして表示される項目も異なります。「docomo Palette UI」に戻すには、ホーム画面をスワイプして一番左のホーム画面を表示し、「設定」→「すべて」→「ホーム選択」→「docomo Palette UI」→「OK」をタップしてください。
- ホームアプリを切り替えると、ホーム画面のレイアウトなどによっては、画面上のウィジェットやアプリケーションのショートカットなどが正しく表示されない場合があります。

ホーム画面の管理

ホーム画面に追加できるもの

ホーム画面にショートカットやウィジェット、フォルダ、アプリケーショングループなどを追加することができます。

ショートカットを追加する

1 **ホーム画面で、ショートカットやウィジェットなどがない壁紙部分をロングタッチ**

2 **「ショートカット」→ホーム画面に追加したい項目をタップ**

ウィジェットを追加する

1 **ホーム画面で、ショートカットやウィジェットなどがない壁紙部分をロングタッチ**

2 **「ウィジェット」→ホーム画面に追加したい項目をタップ**

ウィジェット	説明
おすすめのコンテンツを楽しむ	Google Playおすすめのコンテンツ情報を表示
カテゴリナビ	グルメやショッピングなどのジャンルごとに検索
カレンダー	日付やカレンダーに登録されている予定を表示
ギャラリー	ギャラリーの静止画や動画を表示
スケジュール&メモ	メモやフォトメモをカレンダーに表示
ドコモ位置情報	ドコモ位置情報アプリを表示
パーソナルエリア	マイプロフィールやマイメニューなどを表示
ブックマーク	ブラウザのブックマークを表示
ブックマーク	Google Chromeのブックマークを表示
ホーム画面のヒント	ホーム画面のヒントを表示
マイ カレンダー	カレンダーを表示
マチキャラ	ホーム画面のウィジェット上に、自由に動き回るキャラクターを表示
メール	メールの受信トレイの一部を表示
メッセージ	メッセージ（SMS）を作成・表示
音楽	音楽を再生
交通状況	ウィジェット名と目的地を入力すると、ホーム画面に現在地から目的地までの所要時間とともにウィジェットが表示され、タップして提供されている交通状況を確認
再生 - マイライブラリ	Google Playで購入したアプリ、書籍、動画などを表示

ウィジェット	説明
時計	アナログまたはデジタル時計を表示
診断ツールアプリ	診断ツールを表示
天気	天気予報を表示
電源管理	Wi-Fi機能のオン、Bluetooth機能のオン、GPS機能のオン、アカウントと同期、画面の明るさの各設定ボタンを表示
電話帳	ドコモの提供する電話帳アプリから連絡先を表示
電話帳ピックアップメンバー	登録した連絡先の発着信履歴などを表示
Contents Headline	音楽、動画、電子書籍などの最新コンテンツ情報を表示
docomo Wi-Fiかんたん接続	docomo Wi-Fiを表示
Gmail	Gmailの受信トレイなどを表示
Google Play ミュージック	内部ストレージやmicroSDカードに保存した音楽データを再生
Google+投稿	Google+の投稿を表示
Google検索	クイック検索を表示
ｉチャネルウィジェット	ニュースや天気などの最新情報をテロップで表示
ICタグ・バーコードリーダー	ICタグとバーコードを読み取り
NOTTVウィジェット	NOTTVの番組の情報やニュースなどを表示
Playストア	Google Playのおすすめのアプリケーションを表示
ToolBox Rewrite	各種設定ボタンを表示
Uni Widget	カスタマイズ可能なウィジェットグループを表示
Wi-Fi Tethering	テザリング機能を表示
YouTube	再生回数の多い動画やおすすめの動画などを表示

▣お知らせ

- Google Playからウィジェットのあるアプリケーションをインストールした場合、インストールしたウィジェットもウィジェット一覧に表示されます。
- ウィジェットによってはサイズ変更可能な場合があります。サイズ変更をするには、ホーム画面で、サイズ変更したいウィジェットをロングタッチ→「サイズ変更」→ウィジェットの周囲に表示された◆をドラッグしてサイズを変更→ウィジェットの外をタップします。

フォルダを追加する

1 ホーム画面で、ショートカットやウィジェットなどがない壁紙部分をロングタッチ

2 「フォルダ」

アプリケーショングループを追加する

1 ホーム画面で、ショートカットやウィジェットなどがない壁紙部分をロングタッチ

2 「グループ」→ホーム画面に追加したいアプリケーショングループをタップ

ショートカットなどの移動

1 ホーム画面で、移動したいショートカットやウィジェットなどをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグして離す

- タッチしたままホーム画面の左または右にドラッグすると、別のホーム画面へ移動できます。

ショートカットなどのホーム画面からの削除

1 ホーム画面で、削除したいショートカットやウィジェットなどをロングタッチ

2 「削除」

■お知らせ

- ホーム画面で削除したいショートカットやウィジェットなどをロングタッチして、画面下部に表示される🗑にドラッグしても削除できます。

アプリケーションやウィジェットのアンインストール

1 ホーム画面で、アンインストールしたいアプリケーションのショートカットやウィジェットをロングタッチ

2 「アンインストール」→「OK」

アンインストール完了の画面が表示されます。

3 「OK」

フォルダ名の変更

1 ホーム画面で、名前を変更するフォルダをロングタッチ

2 「名称変更」→フォルダ名を入力→「OK」

■お知らせ

- フォルダを開いてフォルダ名をタップしても名称変更できます。

きせかえの変更

ホーム画面の壁紙やアプリケーション画面のデザインなどを一括設定できる機能です。

1 ホーム画面で、ショートカットやウィジェットなどがない壁紙部分をロングタッチ→「きせかえ」

2 設定するテーマを選択→「設定する」

▣お知らせ

- 変更したいきせかえをタップしても、きせかえを変更できます。
- きせかえのコンテンツは、「サイトから探す」をタップして、ウェブサイトからダウンロードして追加することもできます。追加したきせかえのコンテンツを削除するには、画像を選択して「削除」→「削除する」をタップします。
- ホーム画面で☰→「きせかえ」をタップしても変更できます。

壁紙の変更

ホーム画面の壁紙を変更できます。

1 ホーム画面で、ショートカットやウィジェットなどがない壁紙部分をロングタッチ→「壁紙」

2 「ギャラリー」／「テーマ」／「ライブ壁紙」から選択→壁紙を選択

- 「ギャラリー」の場合、画像上に表示される枠をドラッグして壁紙として表示させる範囲を指定し、「保存」をタップします。
- 「テーマ」を選択した場合は、さらに「壁紙」「ライブ壁紙」「その他」から選択します。
  - 「壁紙」の場合、「スクロール可」／「固定」を選択します。「固定」の場合、画像上に表示される枠をドラッグして壁紙として表示させる範囲を指定し、「壁紙に設定」をタップします（ただし、ホームアプリがdocomo Palette UIの場合は、「固定」の設定は無効となります）。
- 「ライブ壁紙」の場合、「壁紙に設定」をタップします。

▣お知らせ

- ホーム画面で☰→「壁紙ループ設定」→「壁紙のループ」にチェックを入れると、ホーム画面を左右にスクロール／スワイプして切り替えたとき、壁紙を繰り返して表示することができます。

ホーム画面の追加

1 ホーム画面で、ショートカットやウィジェットなどがない壁紙部分をロングタッチ→「ホーム画面一覧」

- ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧が表示されます。

2 ＋

- 最大12枚までホーム画面を追加できます。

ホーム画面の並べ替え

1 ホーム画面で、ショートカットやウィジェットなどがない壁紙部分をロングタッチ→「ホーム画面一覧」

- ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧が表示されます。

2 ホーム画面のサムネイルをロングタッチ

3 移動したい位置までドラッグして離す

ホーム画面の削除

1 ホーム画面で、ショートカットやウィジェットなどがない壁紙部分をロングタッチ→「ホーム画面一覧」

- ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧が表示されます。

2 削除したいホーム画面のサムネイルの☒をタップ

- 削除したいホーム画面のサムネイルをロングタッチ→「削除」をタップしても削除できます。

アプリケーション画面の見かた

1 ホーム画面で▦

アプリケーション画面が表示されます。

アプリケーション画面

❶ アプリタブ

アプリケーション画面を表示します。

❷ おすすめタブ

ドコモがおすすめするアプリケーションをインストールできます。

❸ グループ名
タップすると、グループ内アプリケーションを表示／非表示できます。

❹ アプリケーションアイコン
新規にアプリケーションをダウンロードした場合や既存のアプリケーションが更新された場合、アイコンの左上に が表示されます。
不在着信や未読メールの件数などが数字で表示されるアイコンがあります。

❺ グループ内アプリケーション
アプリケーション画面でピンチアウト／ピンチインすると、すべてのグループ内アプリケーションを表示／非表示できます。

❻ グループ内アプリケーションの数

アプリケーション一覧

お買い上げ時のアプリケーション画面に表示されるアプリケーションは次のとおりです。

- 一部のアプリケーションの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがございます。

■ ドコモサービス

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	dメニュー	ｉモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「dメニュー」へのショートカットアプリです。	P.117
	dマーケット	dマーケットを起動するアプリです。dマーケットでは、音楽や動画、書籍などのコンテンツを購入することができます。また、Google Play上のアプリを紹介しています。	P.117
	ｉチャネル	ｉチャネルを利用するためのアプリです。	－
	ｉコンシェル	ｉコンシェルを利用するためのアプリです。ｉコンシェルは、ケータイがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートしてくれるサービスです。	－
	しゃべってコンシェル	「調べたいこと」や「やりたいこと」などを端末に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、最適な回答を表示するアプリです。	－
	ドコモバックアップ	「ケータイデータお預かりサービス」、「電話帳バックアップ」もしくは「SDカードバックアップ」をご利用いただくためのアプリです。電話帳などのデータをバックアップしたり、復元したりすることができます。ドコモバックアップ（microSDカードへ保存）の内容についてはP.154をご覧ください。	P.154

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	docomo Wi-Fiかんたん接続	ドコモの公衆無線LANサービス「docomo Wi-Fi」もしくは自宅のWi-Fi環境を便利に利用するためのアプリです。ウィジェットによりWi-Fiエリア内では、ワンタッチでWi-Fiへの接続／切断ができます。	－

■ 基本機能／設定

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	電話	ドコモの提供する電話アプリを起動し、電話の発信／着信、通話の切り替えを行います。	P.61
	ドコモ電話帳	ドコモの提供する電話帳アプリを起動し、友人や同僚の連絡先を管理します。	P.67
	spモードメール	ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。	P.72
	災害用キット	緊急速報「エリアメール」の受信メール確認と各種設定、災害用伝言板にメッセージの登録や確認などができるアプリです。	P.79
	取扱説明書	本端末の取扱説明書を表示できます。	－
	設定	本端末の各種設定を行います。	P.84
	遠隔サポート	「スマートフォンあんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「スマートフォンあんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。	P.174

■ エンタメ／便利ツール

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	カメラ	写真の撮影、動画の録画ができます。	P.131
	フォトコレクション	写真や動画を管理できる無料ストレージサービスです。	－
	NOTTV	モバキャスを視聴できます。「NOTTV」などの放送局の番組・コンテンツをお楽しみ頂けます。	P.122
	ワンセグ	ワンセグの視聴などができます。	P.126
	メディアプレイヤー	音楽や動画を再生することができるアプリです。	P.139
	メモ	メモを作成・管理できるアプリです。ｉコンシェルサービスに対応しています。	P.153

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリです。ｉコンシェルサービスに対応しています。	－
	赤外線	電話帳などのデータを赤外線通信により送受信できるアプリです。	P.111
	ICタグ・バーコードリーダー	ICタグとバーコードを読み取るためのアプリです。	－
	電卓	加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算を行います。	P.153
	時計	アラームや世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。	P.147
	おサイフケータイ	おサイフケータイを利用できます。	P.119
	iDアプリ	電子マネー iDを利用するための設定などを行うアプリです。	P.121
	トルカ	トルカの取得・表示・検索・更新などができます。	P.121

■ Ascend

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	Polaris Office	Office文書の表示・編集・新規作成ができます。	P.158
	ファイルマネージャー	本端末やmicroSDカード内のファイルをカテゴリごとに確認することができます。	P.109

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	天気	天気予報を表示できます。	－
	プロファイル	画面の明るさや音量、通信や同期の動作など、本端末のさまざまな設定を利用状況ごとにまとめて登録できるアプリです。就寝中や会議中など、利用状況に応じて簡単に切り替えることができます。	－
	音楽	音楽を再生できます。	－
	テーマ	壁紙や着信音などをまとめて変更できます。	－
	A-Lounge	本端末の製品情報のサイトを表示します。	－

■ Google

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	メール	メールアカウントを設定して、メールの送受信ができます。	P.74
	Gmail	Googleアカウントのメールを送受信できます。	P.77
	メッセージ	メッセージ（SMS）を送受信します。	P.72
	トーク	Googleトークを利用してチャットができます。	P.78
	ブラウザ	ウェブブラウザアプリケーションです。	P.80

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	Chrome	ウェブブラウザアプリケーションです。	−
	Google	キーワードから本端末内やウェブページを対象に検索できます。また、Google Nowを利用することもできます。	−
	ダウンロード	ウェブサイトからダウンロードしたファイルなどの一覧を表示します。	−
	Playストア	Google Playにアクセスして新しいアプリケーションのダウンロード・購入ができます。	P.118
	YouTube	世界中の動画を再生したり、録画した動画をアップロードできます。	P.142
	Playミュージック	内部ストレージやmicroSDカードに保存した音楽データを再生します。	−
	Playムービー	Google Playの映画レンタルサービスにアクセスして、鑑賞したい映画作品を選択してレンタルできる動画アプリです。	−
	ムービースタジオ	撮影した写真や動画を編集できるアプリです。	P.156
	ギャラリー	静止画や動画を閲覧・整理できます。	P.135
	カレンダー	カレンダーを表示して、予定の管理をします。	P.149
	マップ	現在地の確認、他の場所の検索や経路検索などGoogleマップのサービスを利用できます。	P.144
	ナビ	Googleマップナビを表示して、目的地への音声ナビゲーションなどを利用できます。	P.146
	ローカル	Googleマップ上に登録された現在地付近のお店など各種情報を利用できます。	P.147
	Google+	Googleが提供するソーシャルネットワークサービス（SNS）のクライアントアプリであるGoogle+を起動します。	−
	メッセンジャー	Google+を利用してグループでチャットができます。	−
	音声検索	音声で検索できます。	−
	Playブックス	電子書籍を購入して閲覧できます。	−

■お知らせ

- アプリケーションによっては、ダウンロードとインストールが必要になるものがあります。
- このアプリケーション画面に表示されているものは、お買い上げ時にプリインストールされています。プリインストールされているアプリケーションには、一部アンインストールできるアプリケーションがあります。一度アンインストールしても「Playストア」（P.118）などから再度ダウンロードできる場合があります。

アプリケーションの管理

ショートカットのホーム画面への追加

1 アプリケーション画面で、ホーム画面に追加したいアプリケーションをロングタッチ

2 「ホームへ追加」

アプリケーションのアンインストール

1 アプリケーション画面で、アンインストールしたいアプリケーションをロングタッチ

2 「アンインストール」→「OK」

アンインストール完了の画面が表示されます。

3 「OK」

アプリケーションの移動

1 アプリケーション画面で、移動したいアプリケーションをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグして離す

- アプリケーションをロングタッチ→「移動」をタップしても、別のグループに移動させることができます。

グループの管理

グループの追加

1 アプリケーション画面で[メニュー]→「グループ追加」

2 グループ名を入力→「OK」

グループの並べ替え

1 アプリケーション画面で、グループのラベルをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグして離す

グループ名の編集

1 アプリケーション画面で、グループのラベルをロングタッチ

2 「名称変更」→グループ名を入力→「OK」

■お知らせ

- 「最近使ったアプリ」／「ドコモサービス」／「ダウンロードアプリ」グループは、名称を変更することができません。

グループ色の変更

1 アプリケーション画面で、グループのラベルをロングタッチ

2 「ラベル変更」→ラベル色を選択

グループのホーム画面への追加

1 アプリケーション画面で、グループのラベルをロングタッチ

2 「ホームへ追加」

グループの削除

1 アプリケーション画面で、グループのラベルをロングタッチ

2 「削除」→「OK」

- 削除したグループに分類されていたアプリケーションアイコンは「ダウンロードアプリ」グループに移動します。

▣お知らせ

- 「最近使ったアプリ」／「ドコモサービス」／「ダウンロードアプリ」グループは削除することができません。

アプリケーションの検索

1 アプリケーション画面で☰→「検索」

2 検索したいアプリケーションを入力→検索されたアプリケーションをタップ

アプリケーション画面の表示切り替え

1 アプリケーション画面で☰→「リスト形式」／「タイル形式」

「おすすめ」アプリケーションのインストール

「おすすめ」タブには、ドコモがおすすめするアプリケーションが表示されます。

- 初回起動時には、説明のページが表示されます。「おすすめアプリを見る」をタップすると、おすすめアプリケーションの一覧が表示されます。
- アプリケーションをダウンロードするには、アプリケーションアイコンをタップしてダウンロード画面を表示し、画面の指示に従って操作します。
- ダウンロードしたアプリケーションは、アプリケーション画面の「ダウンロードアプリ」グループに表示されます。
- 「おすすめ」タブの「おすすめアプリをすべて見る」をタップすると、インターネットに接続し、すべてのおすすめアプリケーションが表示されます。

ホームアプリの情報

docomo Palette UIについての詳細説明や操作方法などが確認できます。

1 ホーム画面で☰→「ヘルプ」

バージョン情報

docomo Palette UIの提供者やバージョン情報などが確認できます。

1 アプリケーション画面で☰

2 「アプリケーション情報」

電話をかける

1 ホーム画面で📞→「ダイヤル」

2 相手の電話番号を入力

- 同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。

ダイヤル画面

❶ タブ表示
発着信履歴（P.65）
お気に入り（P.69）
ダイヤル：ダイヤル画面が表示されます。

❷ 電話番号入力欄
入力した電話番号が表示されます。

❸ 電話発信
入力した電話番号に電話をかけます。

❹ 電話帳に登録
入力した電話番号を電話帳に登録します。

❺ 声の宅配便
声のメッセージを録音することができます。

❻ 削除
一番右側の番号を削除します。ロングタッチすると、入力された番号をすべて削除できます。

❼ 電話帳
電話帳を開きます。

3 📞

相手が応答すると通話中画面が表示されます。

4 通話が終了したら「終了」

ダイヤル画面のメニュー

ダイヤル画面で☰をタップすると、次の項目が表示されます。

項目	説明
発信者番号通知※1	発信者番号を通知する／通知しないを設定します。
プレフィックス選択※1※2	プレフィックスを選択します（P.67）。
国際電話発信※1	国際電話を利用します（P.63）。
2秒間の停止を追加※1	以降の電話番号の発信を約2秒間、自動的に停止させる「,」を入力します（P.62）。
待機を追加※1	以降の電話番号の発信を自動的に待機させ、操作後に発信する「;」を入力します（P.62）。
SMSを送信	P.72
通話設定	P.66
起動画面に設定	ホーム画面で📞をタップしたとき、最初に表示される画面を設定します。

※1 ダイヤル画面で、番号入力時に表示されます。
※2「プレフィックス設定」が登録されている場合のみ表示されます。

電話番号の途中で発信を2秒間停止または待機させる

銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、あらかじめメインの電話番号と暗証番号やサービス番号などを一括入力して発信する場合は、以下の操作を行います。

■「,」を入力して、以降の電話番号の発信を約2秒間停止させる

メインの電話番号をダイヤルした後、「,」の入力箇所で自動的に2秒間一時停止してから、追加番号をダイヤルします。

■「;」を入力して、電話番号の発信を待機させる

メインの電話番号をダイヤルした後、「;」の入力箇所で自動的に待機し、追加番号の確認メッセージを表示します。「はい」が選択されると追加番号をダイヤルします。

緊急通報

本端末が電波の届く範囲内にあるときは、緊急電話番号の110番（警察）、119番（消防と救急）、118番（海上保安庁）を入力して電話をかけることができます。

▣お知らせ

- 日本国内では、ドコモminiUIMカードを取り付けていない場合や、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中には、緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

国際電話をかける（WORLD CALL）

WORLD CALLは国内でドコモの本端末からご利用いただける国際電話サービスです。FOMA サービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせてWORLD CALLもご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

- WORLD CALLについてのご不明な点は、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 ホーム画面で →「ダイヤル」

2 「0」「1」「0」→国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号を入力

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

3

4 通話が終了したら「終了」

▣お知らせ

- 「国番号－地域番号（市外局番）－電話番号」の先頭に、数字「0」のキーをロングタッチしてプラス（＋）記号を入力すると、発信時に国際ダイヤルアシスト画面が表示され、「変換後の番号で発信」をタップすると「＋」が国際アクセス番号の「009130010」に変換され、国際電話をかけることができます。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信中の画面が表示されます。

2 「操作開始」

3 「通話」

通話が開始されます。

■ **着信拒否する場合**

①「拒否」

■ **着信拒否して相手にメッセージ（SMS）を送信する場合**

①「拒否してSMS送信」→メッセージを選択

4 通話が終了したら「終了」

▣お知らせ

- 着信中に／／のいずれかを押すと、着信音やバイブレーションを停止できます。
- を押して着信音やバイブレーションを停止した場合は、画面が消灯します。画面を点灯するには再度を押します。
- 着信拒否してSMS送信する場合に「カスタムメッセージ」を選択すると、自由にメッセージを入力できます。
- 不在着信や着信拒否などで電話を受けなかった場合、スリープ設定の時間にかかわらず約10秒後にスリープモードに移行します。
- 不在着信の場合は、ステータスバーにが表示されます。通知パネルを開き、不在着信欄の「発信」をタップすると電話をかけ直し、「SMS」をタップするとSMSを送ることができます。

通話中の操作

通話中画面の見かた

通話中画面

❶ 通話相手の名前／電話番号

❷ 終了
通話を終了します。

❸ 通話を追加※
別の相手に電話をかけます。

❹ 保留※
通話を保留／保留解除します。

❺ 通話時間

❻ ダイヤルキー
ダイヤルキーを表示してプッシュ信号を送信します。

❼ スピーカー
相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。

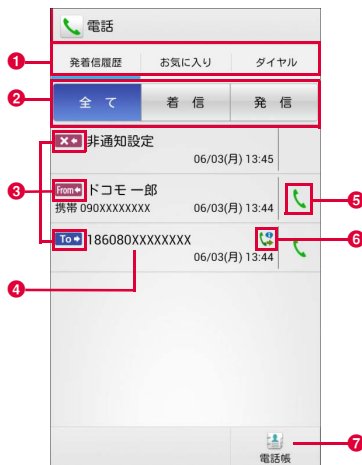
❽ ミュート
自分の声が相手に聞こえないようにします。

※「キャッチホン」の契約が必要です（P.66）。

▣お知らせ

- 通話音量を調節するには▯／▯を押します。通話中以外は、通話音量を調節することはできません。

発着信履歴

発着信履歴では、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴を一覧で確認できます。

発着信履歴画面

❶ タブ表示
発着信履歴：発着信履歴が表示されます。
お気に入り（P.69）
ダイヤル（P.61）

❷ 履歴切り替え
全て：発着信すべてを表示します。
着信：着信履歴のみを表示します。
発信：発信履歴のみを表示します。

❸ 履歴アイコン
✕← は不在着信履歴、From← は着信履歴、To→ は発信履歴として表示されます。

❹ 電話番号／名前

❺ 発信アイコン
タップして電話を発信します。

❻ 発着信ステータスアイコン
：「発信者番号通知」（P.62）を「通知する」に設定、または「186」を付加した場合
：「発信者番号通知」（P.62）を「通知しない」に設定、または「184」を付加した場合
：声の宅配便発信として発信した場合
：国際電話で発着信した場合（「010」を入力して発信した場合を除く）

❼ 電話帳

発着信履歴画面のメニュー

発着信履歴画面で をタップすると、次の項目が表示されます。

項目	説明
全件削除	履歴を削除します。
通話設定	P.66
起動画面に設定※	ホーム画面で をタップしたとき、最初に表示される画面を設定します。

※ 着信履歴または発信履歴のみを表示している場合は、表示されません。

通話設定／その他

ネットワークサービスを設定したり、利用可能なネットワークを検索したりできます。

1 **ホーム画面で[電話アイコン]→[メニューアイコン]→「通話設定」**

- ホーム画面で[メニューアイコン]→「本体設定」→「すべて」→「通話設定」をタップしても通話設定メニューを表示できます。

項目		説明
ネットワークサービス	声の宅配便	お客様に代わって音声メッセージをお預かりするサービスです。 サービスの利用、設定確認・変更を行います。
	留守番電話サービス	かかってきた電話に応答できなかったときに、相手のメッセージをお預かりするサービスです。 サービスの開始／停止、呼出時間設定などを行います。
	転送でんわサービス	かかってきた電話に応答できなかったときに、電話を転送するサービスです。 サービスの開始／停止、転送先変更などを行います。
	キャッチホン	通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に出たり、別の相手に電話をかけることができるサービスです。 サービスの開始／停止、設定確認を行います。
	発信者番号通知	電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号を通知します。 通知設定、設定確認を行います。
	迷惑電話ストップサービス	迷惑電話の番号を着信拒否登録します。 登録、削除、登録件数の確認を行います。
	番号通知お願いサービス	電話番号非表示の電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。 サービスの開始／停止、設定確認を行います。
	通話中着信設定	通話中にかかってきた電話に対してどのように対応するかを設定できます。
	着信通知	電源が入っていないときや圏外にいたときの着信を、メッセージ（SMS）で通知します。 サービスの開始／停止、設定確認を行います。
	英語ガイダンス	設定、設定確認を行います。
	遠隔操作設定	留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。 サービスの開始／停止、設定確認を行います。
	公共モード（電源OFF）設定	電源を切っているときや、機内モード設定中の場合の着信時に、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。 サービスの開始／停止、設定確認を行います。

項目		説明
海外設定		P.164
通話詳細設定	サブアドレス設定	電話番号の「*」以降をサブアドレスとして認識するかどうかを設定します。
	プレフィックス設定	電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号などの登録や追加などができます。
	登録外着信拒否	電話帳に登録されていない電話番号から着信があった場合に、自動的に着信を拒否するかどうかを設定します。
音・バイブレーション設定	着信音	電話の着信音を設定します。
	着信バイブレーション	電話がかかってきたときに、バイブレーション動作をするかどうかを設定します。
	ダイヤルパッド操作音	電話番号を入力するときの音を鳴らすかどうかを設定します。
応答拒否SMS		着信を拒否してメッセージ（SMS）を送信するときのメッセージを編集します。
オープンソースライセンス		オープンソースライセンスを表示します。
アカウント		インターネット通話（SIP）アカウントの設定をします。
インターネット通話を使用		インターネット通話（SIP）の通話方法を設定します。

電話帳

電話帳に登録する

ドコモが提供する電話帳アプリを利用して、名前や電話番号、メールアドレスなどさまざまな情報の連絡先を管理できます。

1 **ホーム画面で→「ドコモ電話帳」**

- クラウドの利用についての確認画面が表示された場合は、内容を確認して「利用しない」／「利用する」を選択してください。

2 **「連絡先」**

連絡先一覧画面が表示されます。

3 **「登録」→保存先を選択**

- Googleアカウントを設定していない場合は、保存先の選択画面が表示されず、docomoアカウントが保存先になります。
- クラウドと同期できるのは、docomoアカウントで登録した連絡先データです。

4 **プロフィール編集画面で名前を入力**

- 「姓／名」欄のをタップすると、「敬称」や「ミドルネーム」などを入力できます。

5 **必要な項目を入力**

- 「追加」／「削除」をタップすると、選択した項目の入力欄を追加／削除できます。
- 「携帯」をタップすると、入力内容のラベル（種類）を選択できます。
- 「その他」のをタップし、「追加」をタップすると、住所や所属の情報を追加できます。

6 **「登録完了」**

▣お知らせ

- 「姓のふりがな／名のふりがな」を登録した場合、連絡先一覧画面には「ふりがな」の五十音順、アルファベット順で表示されます。
- 保存先のアカウントによっては、着信音を設定することができます。

電話帳を確認／編集する

1 **ホーム画面で→「ドコモ電話帳」→「連絡先」**

連絡先一覧画面が表示されます。

連絡先一覧画面

❶ **連絡先**

❷ **電話帳に設定された写真**

❸ **登録内容**

登録内容がアイコンで表示されます。

❹ **電話帳に登録された名前**

❺ **登録**

連絡先を登録します。

❻ **グループ**

表示するグループを選択します。

❼ **コミュニケーションタブ**

発着信、SMSの送受信、spモードメール、SNSのメッセージ※の送受信履歴が表示されます。

※ クラウドを利用開始の上、マイSNS機能を利用している場合にのみ表示されます 。

❽ **タイムラインタブ**

クラウドをONにした場合、マイSNS機能で設定したSNS・ブログのタイムラインなどが表示されます。

❾ **マイプロフィールタブ**

自分の電話番号を確認や、プロフィール情報の編集・管理、名刺作成アプリを利用して名刺データの作成ができます（P.70）。

❿ **インデックス文字表示域**

「インデックス」をタップすると、インデックス文字に振り分けられている連絡先を表示します。

⓫ **検索**

⓬ **インデックス**

インデックス文字を表示します。

2 **確認したい連絡先をタップ**

プロフィール画面が表示されます。

- 電話番号をタップすると、電話をかけることができます。
- 電話番号欄の SMS をタップするとメッセージ（SMS）を作成できます。

- 電話番号欄の 声 をタップすると声の宅配便を利用することができます。
- メールアドレスをタップしてアプリケーションを選択するとメールを作成できます。

■ 連絡先を編集する場合

① 確認したい連絡先をタップ→「編集」

連絡先一覧画面／プロフィール画面のメニュー

連絡先一覧画面／プロフィール画面で をタップするとメニューが表示され、連絡先の削除や赤外線通信での送信、各種設定などの操作が行えます。メニューの詳細については、連絡先一覧画面で →「ヘルプ」→「その他」をご覧ください。

連絡先をお気に入りに追加する

連絡先を「お気に入り」グループに追加します。

1 ホーム画面で →「ドコモ電話帳」→「連絡先」

連絡先一覧画面が表示されます。

2 お気に入りに追加したい連絡先をタップ→

に変わり、追加した連絡先が「お気に入り」（Googleアカウントの場合は「Starred in Android」）グループに表示されます。

お知らせ

- お気に入りに追加できる連絡先は、保存先がdocomoアカウントまたはGoogleアカウントの連絡先のみです。

グループ分けした連絡先を確認する

連絡先の登録時に設定したグループ別に、連絡先を管理・利用できます。

1 ホーム画面で →「ドコモ電話帳」→「グループ」

画面左にグループタブが表示されます。グループタブには登録されている連絡先の件数が表示されます。

- 「閉じる」をタップすると、グループタブが閉じられます。

2 確認したいグループタブをタップ→連絡先をタップ

■ グループを追加／編集する場合

① 「追加」→アカウントを選択
- 登録済みのグループを編集する場合は、編集したいグループタブをロングタッチ→「グループ編集」をタップします。

② 色、アイコンを選択（docomoアカウントの場合のみ）→グループ名を入力

③ 「OK」

■ グループを削除する場合

① 削除したいグループタブをロングタッチ→「グループ削除」→「OK」

■ グループに連絡先を追加する場合

① 「すべて」→連絡先をロングタッチ→追加したいグループタブの上までドラッグ

■ グループから連絡先を削除する場合

① 削除したい連絡先を含むグループタブをタップ→削除したい連絡先をロングタッチ→設定していたグループタブの上までドラッグ

お知らせ

- グループに追加できる連絡先は、保存先がdocomoアカウントまたはGoogleアカウントのグループのみです。

電話帳から電話をかける

1 **ホーム画面で→「ドコモ電話帳」→「連絡先」**

連絡先一覧画面が表示されます。

2 **電話をかけたい相手をタップ**

3 **相手の電話番号をタップ→「電話をかける」**

マイプロフィールを登録する

1 **ホーム画面で→「ドコモ電話帳」→「マイプロフィール」**

マイプロフィール画面が表示されます。

2 **「編集」**

■ **名刺データを作成／編集する場合**

①「新規作成」／「名刺編集」

- 名刺の作成や交換を利用するには、「名刺作成」アプリをインストールする必要があります。以降の操作については、画面の指示に従ってください。

■ **フレンド通知設定を行う場合**

①「通知設定」

3 **必要な項目を入力→「登録完了」**

▣お知らせ

- 名刺データを削除するには、「名刺削除」をタップします。
- 「この名刺を交換する」をタップすると、近くにいる人とネットワーク経由で名刺交換が行えます。

連絡先をインポート／エクスポートする

microSDカードやドコモminiUIMカードと本端末の間で連絡先をインポート／エクスポートできます。また、連絡先はメール送信もできます。

1 **ホーム画面で→「ドコモ電話帳」→「連絡先」**

連絡先一覧画面が表示されます。

2 **→「その他」→「インポート／エクスポート」**

3 **以下の操作を行う**

■ **連絡先をインポートする場合**

①「SIMカードからインポート」／「SDカードからインポート」→保存先を選択

- 「SDカードからインポート」を選択した場合は、microSDカードから連絡先をインポートします。
- Googleアカウントを設定していない場合は保存先の選択画面が表示されず、docomoアカウントが保存先になります。
- microSDカードに複数の連絡先データ（vCard）が保存されている場合は、電話帳の選択画面が表示されます。画面の指示に従ってインポート方法を選択してください。

■ 連絡先をエクスポートする場合

①「SDカードにエクスポート」→エクスポートの方法を選択→「OK」→画面の指示に従って操作

■ 連絡先データ（vCard）として送信する場合

①「表示可能な電話帳を共有」→送信方法を選択

ドコモバックアップを利用する

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、spモードメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができるアプリです。

- ドコモバックアップについては、「ドコモバックアップ」（P.154）をご確認ください。

メール／ウェブブラウザ

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。

- spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 ホーム画面で

2 画面の指示に従ってspモードメールアプリをダウンロードする

メッセージ（SMS）

携帯電話番号を宛先にして、全角最大70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）のテキストメッセージを送受信できます。

メッセージ（SMS）を作成／送信する

1 ホーム画面で →「メッセージ」

2

3 宛先に送信先の携帯電話番号を入力

- 名前や電話番号を入力すると、前方一致する連絡先がリスト表示されます。
- 複数の相手に送信する場合は、カンマ（,）で区切ります。

■ 電話帳から宛先を選択する場合

① →送信する連絡先をタップ

4 「メッセージを入力」欄にメッセージを入力

■ 絵文字を挿入する場合

① →「絵文字を挿入」→入力したい絵文字をタップ

5

- 送信せずに をタップすると、作成中のメッセージ（SMS）を下書き保存するとことができます。

▣お知らせ

- 海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。利用可能な国・海外通信事業者については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。

受信したメッセージ（SMS）を確認する

1 ホーム画面で →「メッセージ」

スレッド（メッセージ（SMS）を送受信した相手）一覧画面が表示されます。

2 読みたいスレッドをタップ

メッセージ（SMS）一覧画面が表示されます。

- 受信メッセージ（SMS）は背景が白色の吹き出し、送信メッセージ（SMS）は緑色の吹き出しで表示されます。

■お知らせ

- メッセージ（SMS）を受信すると、ステータスバーにが表示されます。
- スレッド一覧画面でスレッドの画像をタップすると、電話帳に登録されている相手であれば電話をかけたり、登録されていない相手であれば電話帳に登録することができます。

スレッド一覧画面／メッセージ（SMS）一覧画面のメニュー

スレッド一覧画面／メッセージ（SMS）一覧画面でをタップすると、次の項目が表示されます。

項目		説明
設定	古いメッセージを削除	設定した件数に達したとき、自動的に削除するかどうかを設定します。
	テキストメッセージの制限件数	スレッドごとの最大保存件数を設定します。
	受取確認通知	送信ごとに送達通知を要求するかどうかを設定します。
	SIMカードのメッセージ	ドコモminiUIMカードにコピーしたメッセージ（SMS）を確認・削除・本端末にコピーします。
	通知	メッセージ（SMS）を受信したときに、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
	着信音を選択	メッセージ（SMS）を受信したときに鳴らす音を設定します。
	バイブレーション	メッセージ（SMS）を受信したときに本端末を振動させるかどうか設定します。
すべてのスレッドを削除※1		すべてのスレッドを削除します。
送信※2		メッセージが入力されている場合に送信します。
絵文字を挿入※2		メッセージ入力時に絵文字を挿入します。
スレッドを削除※2		スレッドを削除します。
電話帳に追加※2		スレッドの携帯電話番号を電話帳に登録します。
破棄※3		作成中のメッセージ（SMS）を破棄します。

※1 スレッド一覧画面でのみ表示されます。
※2 メッセージ（SMS）一覧画面でのみ表示されます。
※3 新規メッセージ（SMS）作成時のみ表示されます。

本文画面のメニュー

送受信したメッセージ（SMS）をロングタッチすると、次の項目が表示されます。

項目	説明
テキストをコピー	メッセージ（SMS）の本文をコピーします。
SIMカードにコピー	メッセージ（SMS）をドコモminiUIMカードにコピーします。
転送	メッセージ（SMS）を転送します。
ロック／ロック解除	誤って削除しないようにメッセージ（SMS）を保護／保護解除します。

項目	説明
詳細を表示	タイプ、発信者／宛先、送受信日時を表示します。
レポートを表示※	宛先、ステータスを表示します。
削除	メッセージ（SMS）を削除します。

※ 受取確認通知を設定したメッセージ（SMS）に表示されます。

Eメール

Eメールアカウントを設定する

mopera UメールのEメールアカウントや、一般のプロバイダが提供するPOP3やIMAPに対応したEメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。

- 自動で設定できない場合や、手動で設定する場合は、受信設定や送信設定を入力する必要があります。あらかじめ必要なEメールアカウントの設定情報をご確認ください。

1 **ホーム画面で[アプリ]→「メール」**

■ 2件目以降のメールアカウントを設定する場合

① ホーム画面で[アプリ]→「メール」→[メニュー]→「設定」→「アカウントを追加」

2 **アカウントの種類をタップ**

3 **各項目を入力→「次へ」**

- Eメールを手動で設定する場合は、「手動セットアップ」をタップし、表示される画面に従って設定してください。
- 2件目のメールアカウントの設定からは、必要に応じて「いつもこのアカウントでメールを送信」のチェックボックスにチェックを入れます。

4 **アカウントオプションを設定→「次へ」**

- 自動的に設定を取得できず、アカウントタイプの選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定を行ってください。

5 **アカウント名を入力→「次へ」**

- アカウントによっては、「あなたの名前」も入力してください。

Eメールアカウントを管理する

1 **ホーム画面で→「メール」**

Eメール一覧画面が表示されます。

- 複数のEメールアカウントが登録されている場合は、アカウント名をタップして表示するアカウントを選択し、Eメール一覧画面を表示します。

2 **→「設定」→「全般」／設定したいアカウントをタップ**

3 **項目を設定**

- Eメールアカウントによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
自動表示※1	Eメール削除後に表示する画面を選択します。
メッセージの文字サイズ※1	Eメール詳細画面のメッセージの文字サイズを設定します。
全員に返信※1	Eメールを返信するとき、宛先の全員に返信するかどうかを設定します。
画像の表示を確認※1	画像を表示するかどうかを設定します。
アカウント名	アカウント名を変更します。
名前	名前を変更します。
署名	署名を編集、追加します。
クイック返信	Eメール作成時に挿入することができる定型文を登録します。
優先アカウントにする	通常のEメールアカウントとして使用するかどうかを設定します。 チェックを付けると、Eメールアカウント一覧画面の設定したアカウントにチェックマークが表示されます。
受信トレイの確認頻度	新着Eメールを自動受信する時間の間隔を設定します。
同期する日数※2	同期する日数を設定します。
メールを同期する※2	メールを同期するかどうかを設定します。
連絡先を同期※2	連絡先を同期するかどうかを設定します。
カレンダーを同期※2	カレンダーを同期するかどうかを設定します。
添付ファイルのダウンロード	Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動でダウンロードするかどうかを設定します。
メール着信通知	Eメールを受信したときに、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音を選択	Eメールを受信したときに鳴らす受信音を設定します。
バイブレーション	Eメールを受信したときに本端末を振動させるかどうかを設定します。
受信設定	受信サーバーの設定を変更します。
送信設定	送信サーバーの設定を変更します。
アカウントを削除	Eメールアカウントを削除します。

※1「全般」をタップした場合に表示されます。

※2 Microsoft Exchange のアカウントの場合に表示されます。

Eメールを作成／送信する

1 **ホーム画面で→「メール」→**

Eメール作成画面が表示されます。

2 **宛先に送信先のメールアドレスを入力**

- 名前や電話番号を入力すると、前方一致する連絡先がリスト表示されます。
- 複数の相手に送信する場合は、カンマ（,）で区切ります。

■ **電話帳から宛先を選択する場合**

① →送信する連絡先をタップ

■ **Cc／Bccを追加する場合**

① →「Cc／Bccを追加」

②「Cc」／「Bcc」欄にメールアドレスを入力

3 **「件名」欄に件名を入力**

4 **本文欄に本文を入力**

- 本文欄には、「本文」が表示されているか、署名が挿入されています。

■ **ファイルを添付する場合**

① →アプリケーションを選択→ファイルを選択

■ **下書き保存する場合**

① →「下書きを保存」

■ **作成を中止する場合**

① →「破棄」

5

受信したEメールを確認する

1 **ホーム画面で→「メール」**

Eメール一覧画面が表示されます。

- 複数のEメールアカウントが登録されている場合は、アカウント名をタップして表示するアカウントを選択し、Eメール一覧画面を表示します。

2

3 **確認したいEメールをタップ**

本文画面が表示されます。

▣お知らせ

- Eメールを受信すると、ステータスバーにが表示されます。
- Eメール一覧画面でをタップすると、フォルダを切り替えられます。
- 本文画面で送信者の画像をタップすると、「本文」（Eメール作成）／「電話帳表示」の操作ができます。送信者が電話帳に登録されていない場合は、「連絡先を追加」をタップすると電話帳に登録できます。
- データが添付されている場合は E メール一覧画面でが表示されます。本文画面で「添付ファイル」タブをタップし、（添付ファイルがダウンロードされていない場合は、「読み込み」をタップしてから）「表示」をタップするとファイルを開いて確認できます。「保存」をタップすると添付データを本端末に保存できます。

Eメールを削除する

1 **ホーム画面で→「メール」**

2 **削除するEメールをタップする**

Eメールを返信する

1 ホーム画面で→「メール」

2 Eメールをタップ→

■ 宛先の全員に返信する場合

① →「全員に返信」

3 本文欄に本文を入力

- 本文欄には、「本文」が表示されているか、署名が挿入されています。

4

Eメールを転送する

1 ホーム画面で→「メール」

2 Eメールをタップ→→「転送」

3 「宛先」欄にメールアドレスを入力

4 本文欄に本文を入力

- 本文欄には、「本文」が表示されているか、署名が挿入されています。

5

Gmail

Gmailを利用して、Eメールの送受信ができます。

- Gmailを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合、設定を行ってから操作してください。

Gmailを開く

1 ホーム画面で→「Gmail」

2 「受信トレイ」画面で読みたいメールをタップ

選択したメールの内容が表示されます。

Gmailを更新する

1 ホーム画面で→「Gmail」

2 「受信トレイ」画面で

- 本端末のGmailアプリケーションとGmailアカウントを同期させ、受信トレイを更新します。

Gmailを作成して送信する

1 ホーム画面で→「Gmail」

2 「受信トレイ」画面で

メール作成画面が表示されます。

3 宛先に送信先のメールアドレスを入力

- 複数の相手に送信する場合は、カンマ（,）で区切ります。

■ Cc／Bccを追加する場合

① →「Cc／Bccを追加」
②「Cc」／「Bcc」欄にメールアドレスを入力

4「件名」欄に件名を入力

5「メールを作成」欄に本文を入力

■ ファイルを添付する場合

① →「画像を添付」／「動画を添付」→アプリケーションを選択→ファイルを選択

■ 下書き保存する場合

① →「下書きを保存」

■ 作成を中止する場合

① →「破棄」

6

▣お知らせ

- Gmailの詳細については、「受信トレイ」画面で →「ヘルプ」をタップしてご覧ください。

Googleトーク

GoogleトークはGoogleのインスタントメッセージプログラムです。Googleアカウントを所有する友だちとチャット（文字によるおしゃべり）ができます。Googleトークを利用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。

オンラインチャット

Googleトークを利用するには、ログインとメンバーの追加が必要です。ただし、すでにGoogleアカウントを設定している場合は、サインインなしでご利用になれます。

1 ホーム画面で →「トーク」

- アカウントを選択する画面が表示されたときは、利用するアカウントをタップしてください。

2 チャット相手のアカウントをタップ

- チャット画面が表示されます。

3「メッセージを入力」欄に文字を入力→

- 入力した内容が送信されます。

▣お知らせ

- Googleトークの詳細については、Googleトークの画面で →「ヘルプ」→「トーク」で検索して、Googleトークヘルプをご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中、ドコモminiUIMカードが取り付けられていないとき、電波が受信できないとき、データ通信中、Wi-Fiテザリング中、ソフトウェア更新中、OSバージョンアップ中、通話中、パケット通信中（ストリーミング再生中、データ通信中）は受信できません。また、本端末のメモリ容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴りステータスバーに通知アイコンが表示され、内容表示画面が表示されます。

- ブザー音または着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード設定中でも着信音が鳴ります。鳴動しないように設定できます。

受信したエリアメールを表示する

1 ホーム画面で →「災害用キット」

- 初めて起動したときは機能概要や注意事項、使用許諾規約などが表示されるので、内容をよく読み、「同意して利用する」をタップします。

2 「緊急速報「エリアメール」」→確認したいエリアメールをタップ

緊急速報「エリアメール」を設定する

受信設定や着信音設定をします。また、受信時の動作確認もできます。

1 ホーム画面で →「災害用キット」

2 「緊急速報「エリアメール」」→ →「設定」

3 項目を設定

項目		説明
受信設定		エリアメールを受信するかどうかを設定します。
着信音		着信音の鳴動時間、マナーモード設定時も着信音を鳴らすかどうかを設定します。
受信画面および着信音確認		緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の受信画面および着信音を確認します。
その他の設定	受信登録	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報以外で利用したいエリアメールの登録／削除を行います。

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを利用する

ブラウザを利用して、ウェブページを閲覧できます。

- ウェブページによっては、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。

ブラウザを起動する

1 **ホーム画面で**

ウェブブラウザが起動し、ホームページに設定されているウェブページ（お買い上げ時はdメニュー（http://smt.docomo.ne.jp/））が表示されます。

ブラウザ画面

❶ アドレスバー
ウェブページのURLや検索したいキーワードをここに入力します。

❷ ウィンドウアイコン
現在ブラウザで表示中のウェブページが一覧表示されます。

▣お知らせ

- アドレスバー、ウィンドウアイコンは、画面上部にあります。画面を下にスライドしてスクロールすると表示されます。

ブラウザ画面表示中の操作

ブラウザ画面では、次の操作ができます。

- 表示中のウェブページによっては、操作できない場合があります。

目的	操作
拡大／縮小	画面をピンチアウト／ピンチインします。
全体表示	画面をダブルタップします。 • 全体表示している状態でダブルタップすると、拡大表示します。
スクロール	スクロール／スワイプします。
前の画面に戻る	をタップします。
テキストの選択／コピー	テキストをロングタッチします。 • スライダーを上下左右にドラッグして、コピーしたいテキスト範囲を選択→利用したい項目をタップすると、選択したテキストのコピーや共有、翻訳、検索ができます。

ブラウザ画面のメニュー

ブラウザ画面でをタップすると、次の項目が表示されます。

項目	説明
再読み込み／停止	ウェブページの情報を更新／更新停止します。
進む	をタップしてウェブページを表示中の場合に、直前のウェブページに戻ります。
ブックマーク	ブックマーク一覧を表示します（P.82）。
ブックマークへ登録	ウェブページをブックマークに追加します（P.82）。

項目	説明
ページを共有	ウェブページのURLをオンラインサービスで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信したりします。
ページ内を検索	ページ内に表示されている内容を検索します。
PC版サイトを表示	PC版のウェブページを開くように設定します。
ページを保存	表示中のウェブページを保存して、オフラインで読めるようにします。 • ☆→「保存したページ」で、内容を確認できます。
設定	ブラウザの設定をします。
ブラウザ情報	ブラウザの情報を表示します。
終了	ウェブブラウザを終了します。

ウェブページのリンクを操作する

1 ブラウザ画面でリンクをロングタッチ

2 利用したい項目をタップ

• リンクによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
開く	ウェブページを開きます。
新しいタブで開く	ウェブページを新しいウィンドウで開きます。
リンクを保存	ウェブページを保存します。
URLをコピー	URLをコピーします。
画像を保存※1	画像を保存します。
画像を表示※1	画像を表示します。
壁紙として設定※1	画像をホーム画面の壁紙に設定します。
リンクを共有※1	画像をBluetooth通信、メールなどを使って共有できます。
テキストを選択※2	テキストを選択します。 • スライダーを上下左右にドラッグして、コピーしたいテキスト範囲を選択→利用したい項目をタップすると、選択したテキストのコピーや共有、翻訳、検索ができます。

※1 リンクが画像の場合に表示されます。
※2 リンクがテキストの場合に表示されます。

タブの操作

1 ホーム画面で

2

タブの一覧が表示されます。

■ 新しいタブを開く場合
① ＋

■ 表示するタブを切り替える場合
① 表示したいタブをタップ

■ タブを閉じる場合
① 閉じたいタブの×をタップ
・ 閉じたいタブを左右にフリックしても閉じることができます。

シークレットモードを使用する

ブラウザの履歴や検索履歴を残さずに、ウェブページを閲覧することができます。

1 ホーム画面で

2 →→「新しいシークレットタブ」

- 新しいタブが開き、シークレットモードの説明が表示されます。

3 アドレスバーにURLや検索したいキーワードを入力

▣お知らせ

- シークレットモード使用中は、アドレスバーの横にが表示されます。
- シークレットモードで開いたウェブページは履歴に残りません。タブを閉じるとCookieなどの記録も消去されます。ただし、ブックマークに追加やページを保存、ファイルのダウンロードを行った場合は、タブを閉じた後も表示されます。

ブックマークと履歴を管理する

ブックマークに追加する

1 ホーム画面で

2 ブックマークに追加するウェブページを表示→→「ブックマークへ登録」

3 ラベル、アドレス、アカウント、追加先を確認／変更→「OK」

ブックマークからウェブページを表示する

1 ホーム画面で

2 →

ブックマークの一覧が表示されます。

3 表示したいウェブページをタップ

履歴や保存したウェブページを表示する

1 ホーム画面で

2 →→「履歴」／「保存したページ」

履歴や保存ページの一覧が表示されます。

3 表示したいウェブページをタップ

- 履歴一覧画面で／をタップすると、ブックマークに追加／ブックマークから削除ができます。
- 保存したウェブページを表示して、→「最新版を表示」をタップすると、ウェブページの情報を更新できます。

ブックマーク／履歴／保存ページ一覧画面のメニュー

一覧画面で表示されるウェブページをロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

- ウェブページによって、表示される項目は異なります。
- 保存ページ一覧画面では「保存したページを削除」のみ表示され、保存したページを削除できます。

項目	説明
開く	表示中のウィンドウでウェブページを開きます。
新しいタブで開く	新しいウィンドウでウェブページを開きます。
ブックマークの編集※1	ブックマークの名前／URLを編集したり、保存先フォルダを変更できます。
ホームにショートカットを追加※1	ブックマークのショートカットをホーム画面に作成します。
ブックマークへ登録／ブックマークから削除※2	ブックマークに追加／ブックマークから削除します。
リンクを共有	ウェブページのURLをオンラインサービスで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信したりします。
URLをコピー	ウェブページのURLをコピーします。
ブックマークの削除※1	ブックマークから削除します。
履歴から削除※2	ウェブページを履歴から削除します。
ホームページとして設定	ウェブページをホームページとして設定します。

※1 ブックマーク一覧画面でのみ表示されます。
※2 履歴一覧画面でのみ表示されます。

ブラウザを設定する

1 ホーム画面で[ブラウザアイコン]

2 [メニューアイコン]→「設定」

3 各項目を設定

本体設定

設定メニューについて

本端末は、設定メニューからさまざまな設定の変更や設定内容の確認ができます。
また、本端末の設定メニューは、使用頻度の高い設定項目が表示される「一般」と、すべての設定項目が表示される「すべて」の2種類に切り替えることができます。
本章では「すべて」を選択した場合に表示される設定項目について説明します。

- 本端末の設定の状態によっては、項目が表示／選択できない場合があります。

1 **ホーム画面で☰→「本体設定」→「一般」／「すべて」**

タブをタップして、「一般」と「すべて」を切り替えます。

- ホーム画面で▦→「設定」をタップしても設定メニューを表示できます。

無線とネットワーク

ネットワーク接続やWi-Fi、Bluetoothなどの無線接続についての設定をします。

項目		説明
機内モード		P.85
Wi-Fi		P.85
Bluetooth		P.113
モバイルネットワーク	データ通信を有効にする	モバイルネットワーク経由のデータ通信を有効／無効にします。
	データローミング	P.162
	アクセスポイント名	P.91
	ネットワークモード	P.161
	通信事業者	P.162
その他...		P.87

機内モードを設定する

本端末の電源が入った状態で電波の送受信を停止します。設定すると、電話の発着信やインターネット接続、メールの送受信など電波の送受信が必要な機能は利用できなくなります。

1 **ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」**

2 **「機内モード」の○をタップして|にする**

ステータスバーに✈が表示されます。

▣お知らせ

- ⊂⊃を1秒以上押して携帯電話オプション画面（P.31）を表示させ、「機内モード」をタップしても、機内モードを設定できます。
- 機内モードを設定すると、Wi-Fi機能やWi-Fiテザリング、Bluetooth機能もOFFになります。ただし、Wi-Fi機能とBluetooth機能は機内モード設定中でもONにすることができます。

Wi-Fi機能を利用する

Wi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

▣お知らせ

- Wi-Fi が ON のときでもパケット通信を利用できます。ただし Wi-Fi ネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。
- Wi-Fi ネットワークが切断された場合は、自動的に LTE/3G/GPRS ネットワーク接続に切り替わります。切り替わったままご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- ドコモサービスを Wi-Fi 経由で利用する場合には、あらかじめ「Wi-Fi オプションパスワード」の設定が必要です。設定するには、ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」→「ドコモサービス」→「ドコモアプリWi-Fi利用設定」→「Wi-Fiオプションパスワード」をタップして設定します。

■ Bluetooth機器との電波干渉について

無線LAN（IEEE802.11b/g/n）とBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。その場合は以下の対策を行ってください。

- 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

アクセスポイントに自動で接続する

- アクセスポイントが「WPS」に対応している場合、簡単な操作で接続の設定をすることができます。

1 **ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」→「Wi-Fi」**

Wi-Fi設定画面が表示されます。

2 **○をタップして|にする**

Wi-FiがONになります。
利用可能なアクセスポイントが自動的に検出され、一覧表示されます。

- 「ソフトウェア使用許諾」画面が表示された場合は、内容をご確認の上「同意します」をタップします。

3 **接続するアクセスポイントをタップ**

■ オープンなアクセスポイントに接続する場合

アクセスポイントをタップすると自動的に接続されます。

■ セキュリティで保護されているアクセスポイントに接続する場合

① パスワードを入力→「接続」

- 「パスワードを表示する」にチェックを付けると、入力したパスワードをそのまま表示します。
- プロキシを設定するには、「詳細オプションを表示する」にチェックを付け、「プロキシ設定」欄で「手動」→各項目をタップして入力します。
- 静的 IP アドレスを使用するには、「詳細オプションを表示する」にチェックを付け、「IP 設定」欄で「静的」→各項目をタップして入力します。

■ WPSボタンでアクセスポイントに接続する場合

① Wi-Fi設定画面で

② アクセスポイントのWPSボタンを押す

③「OK」

■ WPS PINコードでアクセスポイントに接続する場合

① Wi-Fi設定画面で→「WPS PINの入力」

② 本端末に表示されたWPS PINをアクセスポイントに入力する

お知らせ

- 利用可能なアクセスポイントを手動でスキャンする場合は、Wi-Fi 設定画面で→「スキャン」をタップします。
- Wi-Fiのスリープ設定をする場合は、Wi-Fi設定画面で→「詳細設定」→「スリープ時にWi-Fi接続を維持」→スリープの条件をタップして設定できます。
- Wi-Fi の通信状態が悪いときに Wi-Fi ネットワークに接続しないようにするには、Wi-Fi設定画面で→「詳細設定」→「接続不良のとき無効にする」にチェックを付けます。

アクセスポイントに手動設定で接続する

非公開に設定されているアクセスポイントに接続する場合は、設定を手動入力する必要があります。

- 設定に必要な情報は、お使いのWi-Fiアクセスポイントの取扱説明書をご参照ください。社内LANに接続する場合や公衆無線LANサービスをご利用の場合は、接続に必要な情報をあらかじめネットワーク管理者またはサービス提供者から入手してください。

1 **Wi-Fi設定画面で＋**

2 **ネットワークSSIDを入力→「セキュリティ」欄をタップ→セキュリティ方法を選択→パスワードを入力**

セキュリティ方法は「なし」「WEP」「WPA/WPA2 PSK」「802.1x EAP」から選択できます。

3 **「保存」**

Wi-Fi接続を切断する

1 **Wi-Fi設定画面で切断するアクセスポイントをタップ→「切断」**

Wi-Fi接続の状況を確認する

以下で現在のWi-Fi接続の状況を確認できます。

- ステータスバー
  本端末がWi-Fiで接続している場合、ステータスバーにが表示され、電波強度が示されます。
- アクセスポイント
  Wi-Fi設定画面で、現在接続しているアクセスポイントをタップすると、接続状況、セキュリティ、電波強度などの情報が表示されます。

MACアドレス／IPアドレスを確認する

1 **Wi-Fi設定画面で☰→「詳細設定」**

本端末のMACアドレス／IPアドレスが表示されます。

Wi-Fiの詳細設定をする

■ Wi-Fiのアクセスポイントを通知する

オープンネットワークのアクセスポイントが検出されたことを通知するように設定できます。

- Wi-FiがONの状態でWi-Fiのアクセスポイントに接続していない場合に通知します。
- お買い上げ時はONに設定されています。

1 **Wi-Fi設定画面で☰→「詳細設定」→「ネットワークの通知」にチェックを付ける**

- 利用可能なアクセスポイントが検出されると、ステータスバーに を表示して通知します。

■ Wi-Fi周波数帯域を設定する

Wi-Fi接続に使用する周波数帯域を設定できます。

- Wi-Fi接続中に設定を変更すると、Wi-Fi接続が切断される場合があります。

1 **Wi-Fi設定画面で☰→「詳細設定」→「Wi-Fi周波数帯域」→「自動」／「5GHzのみ」／「2.4GHzのみ」**

Wi-Fi Direct機能を利用する

Wi-Fi Direct対応デバイスと接続して、データのやり取りができます。

1 **ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」→「Wi-Fi」**

2 **☰→「Wi-Fi Directの設定」**

Wi-Fi Direct設定画面が表示されます。「ピアデバイス」欄には、検出されたデバイスが表示されます。

3 **接続するデバイスをタップ**

- Wi-Fi Direct対応デバイスに接続承認の確認画面が表示された場合は、承認操作を行います。

◙お知らせ

- 使用可能なデバイスを手動で検索する場合は、Wi-Fi Direct設定画面で「検索」をタップします。

その他の接続機能を利用する

データ通信やテザリング、VPNなどの設定をします。

1 **ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」**

2 **「その他...」**

項目		説明
データ使用	モバイルデータ	データ通信を有効にするかどうかを設定します。 • ☰→「データローミング」にチェックを付けると、データローミングを許可します。 • ☰→「バックグラウンドデータを制限」にチェックを付けると、バックグラウンドでの制限を設定できます。 • ☰→「データの自動同期」にチェックを付けると、本端末に設定した各アカウントの自動同期機能をONにします。 • ☰→「Wi-Fi使用を表示する」にチェックを付けると、Wi-Fi使用時の状況を表示できます。
	モバイルデータ制限を設定	データ使用量の上限値や警告値を設定します。
	データ使用期間	データ使用量の測定期間を設定します。
テザリング	USBテザリング	P.89
	Wi-Fiテザリング	P.88
	Wi-Fiアクセスポイントを設定	P.89
	ヘルプ	ヘルプを表示します。
VPN		P.90

テザリング機能を利用する

テザリング機能を利用して、他の通信機器から本端末のパケット通信を経由して、インターネットへ接続できるようになります。テザリング機能は、次の2通りの方法で利用できます。

- Wi-Fiテザリング（P.88）
- USBテザリング（P.89）

Wi-Fiテザリングを利用する

Wi-Fiテザリングを利用すると、他の通信機器から本端末のパケット通信を経由して、インターネットへ接続できるようになります。

1 **ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」→「その他...」**

2 **「テザリング」→「Wi-Fiテザリング」→注意事項の詳細を確認→「OK」**

「Wi-Fiテザリング」にチェックが付き、ステータスバーに が表示されます。

■お知らせ

- Wi-Fiネットワーク接続中にWi-Fiテザリングを有効にすると、パケット通信に切り替わります。
- 他の通信機器から本端末に同時に接続できるのは、最大8台までです。接続できる通信端末の数を変更するには、ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」→「その他...」→「テザリング」→「Wi-Fiアクセスポイントを設定」→「Wi-Fiアクセスポイントを設定」→「許可されている最大接続数」欄でユーザー数を設定します。

■ ネットワークSSIDおよびセキュリティ（パスワード）を確認する

お買い上げ時は、ネットワークSSIDは「AndroidAP」、暗号化方式（セキュリティ）は「WPA2 PSK」、パスワードは端末ごとに異なる12桁の英数字が設定されています。

1 **ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」→「その他...」**

2 **「テザリング」→「Wi-Fiアクセスポイントを設定」→「Wi-Fiアクセスポイントを設定」**

3 **ネットワークSSIDおよびセキュリティ（パスワード）を確認**

- セキュリティは「なし」「WPA PSK」「WPA2 PSK」から選択できます。
- 「パスワードを表示する」にチェックを付けると、入力したパスワードをそのまま表示します。

■ ネットワーク SSID およびセキュリティ（パスワード）を変更する場合

① ネットワークSSIDおよびセキュリティ（パスワード）を変更→「保存」

▣お知らせ

- 「データの初期化」（P.104）を行うと、パスワードも初期化されます。

USBテザリングを利用する

microUSB接続ケーブル01（別売）を使用して、本端末と他の通信機器を接続します。設定を行うと、他の通信機器から本端末のパケット通信を経由して、インターネットへ接続できるようになります。

- 本端末との接続のしかたや接続可能なパソコンの動作環境は、「外部機器接続」（P.115）をご参照ください。
- Windows Vista、Windows 7、Windows 8をお使いになるときは、そのまま接続して利用できます。Windows XPをお使いになるときは、あらかじめウェブ上から最新のMicrosoft ActiveSyncをダウンロードし、お使いのパソコンにインストールしてください。
- USBテザリングの詳細については、ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」→「その他. . .」→「テザリング」→「ヘルプ」をご確認ください。

1 **本端末と通信機器をmicroUSB接続ケーブル01で接続**

- 接続方法については「外部機器接続」（P.115）をご参照ください。

2 **ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」→「その他. . .」**

3 **「テザリング」**

- 「USBテザリング」の下にUSB接続済みであることが表示されていることを確認してください。

4 **「USBテザリング」→注意事項の詳細を確認→「OK」**

「USBテザリング」にチェックが付き、ステータスバーに[USB]が表示されます。

■ USBテザリングの設定を解除する場合

①「USBテザリング」のチェックを外す
② パソコン側のタスクトレイで本端末の安全な取り外しを行う
③ microUSB接続ケーブル 01を取り外す

■お知らせ

- USBテザリング設定中は、本端末のmicroSDカードまたは内部ストレージをUSBストレージとしてパソコンから利用することはできません。

VPNに接続する

VPN（Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。
本端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手する必要があります。

- ISPをspモードに設定している場合は、PPTPはご利用いただけません。

VPNを追加する

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」→「その他...」

2 「VPN」

VPN設定画面が表示されます。

- VPNのご利用には、画面ロックの解除方法を設定しておく必要があります。画面ロックについての注意画面が表示された場合は、内容を確認→「OK」をタップしたあと、画面の指示に従って設定してください。

3 「VPNネットワークの追加」

4 ネットワーク管理者の指示に従って項目を設定

- 「キャンセル」をタップすると、設定を中止します。

5 「保存」

VPNに接続する

1 VPN設定画面で接続するVPNをタップ

2 必要な認証情報を入力→「接続」

VPNに接続するとステータスバーに🔑が表示されます。

VPNを切断する

1 VPN設定画面で切断するVPNをタップ→「切断」

VPNが切断されます。

VPN設定画面のメニュー

VPN設定画面でVPNをロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
ネットワークの編集	VPN設定の各項目を編集します。
ネットワークを削除	VPNを削除します。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、削除や変更はできません。お客様の必要に応じて、アクセスポイントを追加、編集することができます。
お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で▤→「本体設定」→「すべて」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」

アクセスポイントを追加で設定する

1 ホーム画面で▤→「本体設定」→「すべて」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」

2 ▤→「新しいAPN」

3 アクセスポイントの設定を編集→▤→「保存」

▣お知らせ

- MCC／MNCを440／10以外に変更しないでください。アクセスポイントの設定が画面上に表示されなくなります。画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、新しいアクセスポイントを再度設定してください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で▤→「本体設定」→「すべて」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」

2 ▤→「初期設定にリセット」

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1 ホーム画面で▤→「本体設定」→「すべて」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」

2 「mopera U」／「mopera U設定」の◎をタップして◉にする

■お知らせ

- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。
  mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

端末

音

着信音や通知音、マナーモードなどの設定をします。

1 ホーム画面で▤→「本体設定」→「すべて」

2 「音」

項目	説明
音量	P.93
バイブレーション	電話やメールなどの着信があったときに、バイブレーション動作をするかどうかを選択します。
マナーモード	P.93
着信音	P.93
通知音	P.93
Dolby Digital Plus設定	Dolby Digital Plusの機能を利用して、音楽や動画を高音質で楽しむことができます。 • 音楽設定／ビデオ設定の詳細はイヤホン接続時のみ設定できます。
ダイヤルパッドのタッチ操作音	電話番号を入力するときの音を鳴らすかどうかを設定します。
タッチ操作音	▤やメニュー項目を選択したときの操作音を鳴らすかどうかを設定します。
画面ロックの音	画面ロック／ロック解除時の通知音を鳴らすかどうかを設定します。
スクリーンショット音	スクリーンショットを撮影したときに、操作音を鳴らすかどうかを選択します。

項目	説明
タッチ操作バイブ	／／などをタップしたり、特定の操作をしたりした場合にバイブレーション動作をするかどうかを設定します。

音量を調節する

メディア再生音、着信音／通知音、アラームの音量を調節できます。

1 ホーム画面で→「本体設定」→「すべて」

2 「音」→「音量」

3 音量バーのスライダーを左／右にドラッグ→「OK」

■お知らせ

- 着信音量は、／を押しても調節できます。
  ただし、動画や音楽など音声を再生するアプリケーションの使用中は、着信音量を調節できない場合があります。
- 動画／音楽再生などの一部のアプリケーションでは、画面上の音量バーでもメディア音量を調節できます。

マナーモードを設定する

着信音や通知音などが鳴らないように設定できます。

1 ホーム画面で→「本体設定」→「すべて」→「音」

2 「マナーモード」→「オフ」／「バイブレーション」／「ミュート」

「バイブレーション」／「ミュート」を選択した場合は、ステータスバーに／が表示されます。

■お知らせ

- マナーモードを設定している場合でも、カメラのシャッター音や撮影開始音／終了音、音楽／動画の再生音やアラーム音はスピーカーから鳴りますので、ご注意ください。
- を1秒以上押して携帯電話オプション画面（P.31）を表示させ、／をタップしても、マナーモードを設定できます。

着信音／通知音を設定する

電話の着信音や、メールの新着通知を受信したときなどに鳴る通知音を設定します。

1 ホーム画面で→「本体設定」→「すべて」→「音」

2 「着信音」／「通知音」

3 音や音楽を選択→「OK」

表示

ディスプレイの明るさや自動回転、バックライトの消灯時間などについて設定します。

1 ホーム画面で▤→「本体設定」→「すべて」

2 「表示」

項目	説明
色温度	画面の色温度を設定します。
画面の明るさ	P.94
壁紙	ホーム画面とロック画面の壁紙を設定します。 • ホームアプリがdocomo Palette UIの場合は、「シェイクして変更」の設定は無効となります。 • docomo Palette UIで「ランダムに変更」を利用する場合は、ホームアプリをいったんEmotion UIに切り替えてから設定を有効にし、再度docomo Palette UIに切り替えてください。
画面の自動回転	P.34
スマートバックライト	周囲の環境や表示内容に応じて画面を自動的に調節し、屋外などの環境でも細部までより鮮明に見えるようにします。
スリープ	P.94
フォントサイズ	文字サイズを設定します。
フォント設定	画面に表示される文字フォントを設定します。

画面の明るさの調整

1 ホーム画面で▤→「本体設定」→「すべて」

2 「表示」→「画面の明るさ」

3 スライダーを左／右にドラッグ→「OK」

- 「明るさを自動調整」にチェックが付いている場合は、周囲の明るさに応じて画面の明るさが自動的に調整されます。

スリープまでの時間を設定する

1 ホーム画面で▤→「本体設定」→「すべて」

2 「表示」→「スリープ」

3 スリープまでの時間をタップ

ストレージ

本端末内のメモリ容量や、本端末に取り付けられているmicroSDカードやUSBストレージのメモリ容量の確認などを行います。

1 ホーム画面で▤→「本体設定」→「すべて」

2 「ストレージ」

項目	説明
端末ストレージ	本端末の内部メモリの合計容量を表示します。
ソフトウェアアップグレード	microSDカードに保存したソフトウェアを利用して本端末を更新します。

項目		説明
内部ストレージ	合計容量	本端末内のユーザーが利用可能なメモリ容量の合計を表示します。
	アプリ	本端末内にインストールされているアプリケーションのデータ容量を表示します。
	画像、動画※1	本端末内に保存されている画像・動画データの容量を表示します。
	音楽、着信音、ポッドキャスト※1	本端末内に保存されている音声データの容量を表示します。
	その他※1	本端末内に保存されているその他のデータの容量を表示します。
	空き容量	本端末内のメモリの空き容量を表示します。
	内部ストレージ内データを消去	本端末内に保存されているデータを消去します。
SDカード※2	合計容量	microSDカードの合計データ容量を表示します。
	空き容量	microSDカードのメモリの空き容量を表示します。
	SDカードのマウント解除／SDカードをマウント	P.96
	SDカード内データを消去	P.96
USBストレージ※2	合計容量	本端末に接続したUSBストレージの合計データ容量を表示します。
	空き容量	本端末に接続したUSBストレージの空き容量を表示します。
	USBストレージのマウントを解除／USBストレージをマウント	P.96
	USBストレージ内データの消去	P.96

※1 内部ストレージ内にデータが保存されている場合のみ表示されます。

※2 本端末にmicroSDカードを取り付けている場合や、SDカードリーダー／ライター（市販品）などのUSBストレージを接続している場合のみ表示されます。

▣お知らせ

- 本端末内のメモリの空き容量が少なくなると、本端末の動作が不安定になることがあります。空き容量が少なくなった場合は、不要なデータやアプリケーションを削除してください。

microSDカード／USBストレージのマウントを解除する

本端末に取り付けたmicroSDカードや、SDカードリーダー／ライター（市販品）などのUSBストレージの認識を解除して、本端末から安全に取り外せるようにします。

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」

2 「ストレージ」→「SDカードのマウント解除」／「USBストレージのマウントを解除」

3 注意内容を確認→「OK」

▣お知らせ

- microSDカード／USBストレージのマウントを解除すると、microSDカード／USBストレージのデータを再生したり、データを保存したりできなくなります。

microSDカード／USBストレージをフォーマットする

microSDカード／USBストレージをフォーマット（初期化）します。

- フォーマットを行うとmicroSDカード／USBストレージ内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」

2 「ストレージ」→「SDカード内データを消去」／「USBストレージ内データの消去」→「SDカード内データを消去」

3 「すべて消去」

フォーマットが終了すると自動的にマウントされ、microSDカード／USBストレージが使用可能な状態になります。

- 消去されたデータは元に戻せません。

電池

電池パックの使用状況を確認します。

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」

2 「電池」

省電力モード

本端末の電池の消費を抑えます。

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」

2 「省電力モード」

項目	説明
バッテリーセーバー	電池の持ち時間を優先したシステム設定を適用します。
バランス	パフォーマンスと省電力をバランスさせたシステム設定を適用します。
パフォーマンス	パフォーマンスのみを優先したシステム設定を適用します。

アプリ

アプリを管理

本端末にインストール済みのアプリケーションの情報を確認したり、アプリケーションを強制停止、データ消去、アンインストールしたりできます。

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」→「アプリを管理」

2 確認するタブをタップ

- 「ダウンロード済み」タブ画面／「SDカード」タブ画面／「すべて」タブ画面で☰をタップすると、表示順を変更できます。

3 アプリケーションをタップ

- アプリケーション情報を確認したり、画面に表示されている項目をタップして操作を実行したりできます。

▣お知らせ

- お買い上げ時にインストールされているアプリケーションは、アンインストールできない場合があります。

キャッシュを消去する

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」→「アプリを管理」

2 「SDカード」タブ画面／「すべて」タブ画面で「キャッシュを消去」

アプリケーションを無効化する

アンインストールできない一部のアプリケーションやサービスを無効化することができます。無効化したアプリケーションはアプリケーション画面に表示されず、実行もされなくなりますが、アンインストールはされません。

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」→「アプリを管理」

2 無効化したいアプリケーションをタップ→「無効にする」

3 注意内容を確認→「OK」

- 再度有効化するには「有効にする」をタップします。

▣お知らせ

- アプリケーションを無効化した場合、無効化されたアプリケーションと連携している他のアプリケーションが正しく動作しない場合があります。再度有効にすることで正しく動作します。

通話設定

ネットワークサービスや国際ローミングなど、通話に関する設定を行います（P.66）。

その他...

Eメールアカウントを管理します（P.75）。

ユーザー設定

ドコモサービス

ドコモが提供するアプリケーションのアップデートの状況やパスワードの管理／設定、およびオートGPS機能に関する設定などをします。

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」

2 「ドコモサービス」

項目	説明
アプリケーション管理	アップデートの定期確認などを設定します。
ドコモアプリWi-Fi利用設定	Wi-Fi経由でドコモサービスを利用するための設定をします。
ドコモアプリパスワード	ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。 • お買い上げ時は「0000」に設定されています。
オートGPS	オートGPS機能などの設定や、測位した場所の履歴を表示します。
ドコモ位置情報	イマドコサーチ／イマドコかんたんサーチ／ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能を設定します。
docomo Wi-Fiかんたん接続	公衆無線LANサービス「docomo Wi-Fi」や自宅のWi-Fi環境への接続設定を簡単に行えます。
データ量確認アプリ	データ通信量の集計間隔や、計測の開始／停止などを設定します。

項目	説明
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

ホーム選択

ホームアプリを「docomo Palette UI」（P.48）または「Emotion UI」に切り替えられます。

位置情報サービス

位置情報についての設定をします（P.143）。

セキュリティ

セキュリティについての設定をします。

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」

2 「セキュリティ」

項目	説明
画面のロック	P.102
ショートカット設定	「画面のロック」を「Emotion UIロック解除」に設定した場合のショートカットを変更します。
顔認識の精度を改善	「画面のロック」を「フェイスアンロック」に設定した場合に、顔を撮影し直すことができます。
生体検知	「画面のロック」を「フェイスアンロック」に設定した場合に、まばたきをしないと顔を認証できないように設定できます。
パターンを表示する	「画面のロック」を「パターン」に設定した場合に、画面ロックを解除するときに指でなぞった軌跡を表示するかどうかを設定できます。
自動ロック	「画面のロック」を「ロックなし」「タッチ」「Emotion UIロック解除」以外に設定した場合に、ディスプレイが消灯してから画面ロックがかかるまでの時間を設定できます。
タッチ操作バイブ	「画面のロック」を「ロックなし」「タッチ」「Emotion UIロック解除」「パスワード」以外に設定した場合に、画面ロック解除の入力時にバイブレーション動作をするかどうかを設定できます。
所有者情報	「画面のロック」を「ロックなし」以外に設定した場合に、画面ロックの解除画面で所有者情報を表示するかどうかを設定できます。
端末の暗号化	本端末内のデータを暗号化し、本端末の電源を入れるたびにパスワードを入力しないと使用できないように設定します。
SIMカードロック設定	P.101
パスワードを表示する	パスワードの入力時に文字を表示するかどうかを設定します。
デバイス管理機能	本端末に管理者が設定されている場合に、管理者の権限の有効／無効を設定します。
提供元不明のアプリ	P.103

項目	説明
信頼できる認証情報	認証情報や証明書へのアクセスをアプリケーションに許可します。
SDカードからインストール	暗号化された証明書をmicroSDカードからインストールします。
認証ストレージの消去	認証情報ストレージ（VPN接続時に使用する認証情報データ）のすべての証明書（コンテンツ）を消去して、パスワードをリセットします。

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。
本端末の画面ロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

画面ロック用PIN ／パスワード

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客さまサポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なおdメニューからは、「dメニュー」→「お客様サポート」※→「各種お申込・お手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

※「My docomo」「お客さまサポート」については、本書裏表紙の裏面をご覧ください。

PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

PINコードは、第三者によるドコモminiUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを本端末に取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります（PINロック状態）。この場合は、「PINロック解除コード」（PUK）を入力してロックを解除してください。

PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

▣お知らせ

- PINコードがロックまたはドコモminiUIMカードがロックされた場合は、ドコモminiUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

SIMカードロックを設定する

ドコモminiUIMカードの不正使用を防ぐため、電源を入れたときにPINコードを入力しないと使用できないように設定します。

- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります（PINロック状態）。

1 **ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」**

2 **「セキュリティ」→「SIMカードロック設定」**

3 **「SIMカードをロック」→PINコードを入力→「OK」**

「SIMカードをロック」にチェックが付きます。

■ PINコードを変更する

- SIMカードロックを有効にしている場合のみ変更できます。

1 **ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」**

2 **「セキュリティ」→「SIMカードロック設定」**

3 **「SIM PINの変更」→現在のPINコードを入力→「OK」**

4 **新しいPINコードを入力→「OK」→新しいPINコードを再入力→「OK」**

PINロックを解除する

- PINコードがロックされた場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

1 「PUKコード」欄にPINロック解除コードを入力

2 「新しいPIN」欄に新しいPINコードを入力

3 「新しいPINを確認」欄に新しいPINコードを入力→「OK」

画面ロックの解除方法を設定する

画面ロックを解除するときに、あらかじめ設定したロック解除操作を行わないと本端末を使用できないように設定します。

1 ホーム画面で▤→「本体設定」→「すべて」

2 「セキュリティ」→「画面のロック」

- 画面ロックの解除方法を「ロックなし」「タッチ」「Emotion UIロック解除」以外に設定している場合は、設定した解除方法を入力します。

3 画面の指示に従って項目を設定

項目	説明
ロックなし	画面ロックの解除操作を不要に設定します。
タッチ	🔒をタップして画面ロックを解除するように設定します。
Emotion UIロック解除	🔒をショートカットにドラッグして画面ロックを解除するように設定します。 • ショートカットを変更するには、「ショートカット設定」を利用します（P.99）。
フェイスアンロック	顔認証によって画面ロックを解除するように設定します。 • 顔認証で解除できない場合やフェイスアンロックを無効にする場合に使用するため、パターンまたはPINの設定も行います。
パターン	パターンの入力で画面ロックを解除するように設定します。
PIN	暗証番号の入力で画面ロックを解除するように設定します。 • 暗証番号は4～16桁の数字で設定します。 • ドコモminiUIMカードに設定している「PINコード」とは異なります。
パスワード	パスワードの入力で画面ロックを解除するように設定します。 • パスワードは4～16桁の英文字または数字（英文字が最低1文字必要）で設定します。

▣お知らせ

- 「ロックなし」「タッチ」「Emotion UIロック解除」以外に設定した場合、「データの初期化」（P.104）を行うときに、設定中の解除方法の入力が必要になります。

■ 画面ロックの解除に失敗した場合

解除パターンやPIN、パスワードを設定している場合は、入力に5回失敗すると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。

- 解除パターンを忘れた場合は、再入力の画面で「パターンを忘れた場合」をタップして、本端末に設定したGoogleアカウントにサインインすると、新しい解除パターンを作成できます。
- Googleアカウントを設定していない場合、またはPINやパスワードを忘れた場合は、画面ロックの解除ができませんのでご注意ください。
- 顔認証でのロック解除ができない場合は、フェイスアンロックの設定時に入力したパターン／PINを入力します。

提供元不明のアプリケーションのインストールを許可する

サードパーティのアプリケーションなど、提供元が不明なアプリケーションのインストールを許可します。

- 提供元が不明なアプリケーションをインストールする際は、セキュリティについて十分にご注意ください。

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」

2 「セキュリティ」→「提供元不明のアプリ」

3 注意内容を確認→「OK」

言語と文字入力

本端末で使用する言語と文字入力時のキーボードについての設定をします。

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」

2 「言語と文字入力」

項目		説明
言語		本端末の表示言語を設定します。
スペルチェッカー		スペルチェックを行うかどうかを設定します。
ユーザー辞書		Androidキーボードで使用する単語を登録します。
デフォルト		通常使用するキーボードを選択します。
Androidキーボード(AOSP)		Androidキーボードについて設定します。
FSKAREN for Ascend		FSKAREN for Ascendについて設定などを行います（P.39）。
Google音声入力		Google音声入力について設定します。
ドコモ文字編集		ドコモ文字編集について設定します。
中国語入力方法		中国語入力方法について設定します。
音声検索	言語	Google音声検索時に入力する言語を設定します。
	音声出力	音声入力を常時利用するか、ハンズフリー時のみ利用するかを設定します。
	不適切な語句をブロック	Google音声検索時に、不適切な語句の検索結果を表示するかどうかを設定します。
	オフライン音声認識のダウンロード	オフライン時に音声認識を利用できるようにするためのデータをダウンロードします。

項目		説明
テキスト読み上げの出力※	Pico TTS	テキスト読み上げに使用する音声合成エンジンについて設定します。
	音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
	音声のサンプルを再生	音声合成のサンプルを再生します。
ポインタの速度		ポインタの速度を設定します。

※お買い上げ時は、日本語のテキスト読み上げには対応していません。

バックアップとリセット

データなどのバックアップについての設定や本端末のリセットを行います。

1 ホーム画面で[メニュー]→「本体設定」→「すべて」

2 「バックアップとリセット」

項目	説明
データのバックアップ	Googleが提供する各種サービス、サードパーティのアプリケーションの設定やデータなどをGoogleサーバーにバックアップします。バックアップ機能の詳細については、各アプリケーションの開発元にお問い合わせください。
バックアップアカウント	バックアップを行うアカウントを設定します。
自動復元	アプリケーションの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元します。
データ移行モード	「iCお引っこしサービス」を行うためのモードを設定します。
データの初期化	本端末に設定したGoogleアカウントや、ダウンロードしたアプリケーションなど本端末内のデータを消去し、お買い上げ時の状態に戻します。 • 本機能を実行する前に、重要なデータはバックアップしてください。 • microSDカード内のデータも同時に削除したい場合は、「SDカード内データを消去」にチェックを付けます。

アカウント

GoogleやMicrosoft Exchange ActiveSyncなどオンラインサービスのアカウントを本端末に設定し、情報の同期やアップデートができます。

- 「初期設定」(P.42)で Google アカウントの設定をスキップした場合は、GmailやGoogle Playなどの初回利用時にもアカウントの設定画面が表示されます。Googleアカウントを設定することで、GmailやGoogle PlayなどGoogle提供のオンラインサービスを利用できるようになります。

アカウントを追加する

1 ホーム画面で▤→「本体設定」→「すべて」

2 「アカウントを追加」→追加するアカウントのサービスをタップ

以降の操作については、画面の指示に従ってください。

- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントを設定する場合は「コーポレート」をタップします。設定情報などについては、ネットワーク管理者やサービス提供者にお問い合わせください。

アカウントと同期の設定をする

オンラインサービスのアカウントと同期の設定をします。

- データの同期など、一部自動的に通信を行う仕様となっており、通信料がかかる場合があります。

1 ホーム画面で▤→「本体設定」→「すべて」

2 アカウントのサービス名をタップ

3 設定するアカウントをタップ→同期する項目にチェックを付ける

アカウントを手動で同期する

1 ホーム画面で▤→「本体設定」→「すべて」

2 アカウントのサービス名をタップ→同期するアカウントをタップ

3 ▤→「今すぐ同期」

- 同期中に▤→「同期をキャンセル」をタップすると、同期をキャンセルできます。

アカウントを削除する

本端末からオンラインサービスのアカウントや、メッセージ、連絡先、設定情報などを削除します。

- 本端末からアカウントを削除しても、ウェブ上から情報は削除されません。

1 ホーム画面で▤→「本体設定」→「すべて」

2 アカウントのサービス名をタップ→削除するアカウントをタップ

3 ▤→「アカウントを削除」→「アカウントを削除」

▣お知らせ

- アカウントを他のアプリケーションで使用していて削除できない場合は、「データの初期化」（P.104）を行うとアカウントを削除できます。ただし、「データの初期化」を行うと、お買い上げ時の状態にリセットされるため、ダウンロードしたアプリケーションや登録情報など本端末内のすべてのデータが消去されます。
- docomoアカウントは削除できません。

システム

日付と時刻

日付と時刻についての設定をします。

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」

2 「日付と時刻」

項目	説明
日付と時刻の自動設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を基にして、自動的に補正するかどうかを設定します。
タイムゾーンを自動設定	ネットワーク上のタイムゾーン情報を元にして、自動的に設定するかどうかを設定します。
日付設定	年月日を手動で設定します。
時刻設定	時刻を手動で設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを手動で設定します。
24時間表示	時刻を24時間表示にするかどうかを設定します。
日付形式	年月日の表示形式を切り替えます。

通知パネル

通知パネルに表示するショートカットを設定します（P.47）。

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」

2 「通知パネル」

項目	説明
通知設定	通知パネルにショートカットを表示するかどうかを設定します。
カスタム	ショートカットの表示順を設定します。 • ショートカットアイコンをドラッグして他のアイコンに重ねると、アイコンの位置が入れ替わります。

ユーザー補助

ユーザーの操作を補助するアプリケーションや機能についての設定をします。

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」

2 「ユーザー補助」

- スクリーンリーダーについての通知画面が表示された場合は、「OK」をタップするとGoogle Playにアクセスして「TalkBack」をダウンロードできます。

項目	説明
大きい文字サイズ	大きい文字で表示するかどうかを設定します。
電源キーで通話を終了	⊂⊃を押して通話を終了するかどうかを設定します。
画面の自動回転	本端末の縦／横の向きを感知して、自動的にディスプレイの表示方向を切り替えるかどうかを設定します。 • 一部のアプリケーションでは、本設定にかかわらず自動的にディスプレイの表示方向が切り替わります。
パスワードの音声出力	インストールしたユーザー補助サービスを利用して、入力したパスワードを音声で読み上げるかどうかを設定します。
テキスト読み上げの出力	テキスト読み上げ時の設定をします（P.104）。
長押し感知までの時間	画面をロングタッチするときの反応時間を設定します。

項目	説明
ウェブスクリプトをインストール	アプリケーションからウェブコンテンツへのアクセスを簡単に行えるスクリプトをインストールするかどうかを設定します。

ソフトウェア更新

本端末のソフトウェアの更新設定を変更したり、更新動作を実行できます（P.176）。

開発者向けオプション

アプリケーション開発時に利用できるオプションを設定します。

高速ブート

本端末の起動時間を短縮します。

▣お知らせ

- 以下の場合は、高速ブートをONにしていても通常起動になります。
  - SIMカードロックを設定している場合
  - 携帯電話オプション画面（P.31）から再起動を行った場合
  - 電源が切れている間に電池パックの取り外しを行った場合

端末情報

本端末の電話番号や電池残量、その他の情報を確認できます。

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」

2 「端末情報」

項目		説明
モデル番号、CPU、RAM、端末ストレージ、解像度、Androidバージョン、ベースバンドバージョン、カーネルバージョン、ビルド番号		本端末のハードウェアやソフトウェア、およびAndroid OSについての情報などが表示されます。
端末の状態		電池の状態や電池残量、電話番号などを表示します。
法的情報	**Huawei機器ユーザソフトウェアライセンス契約**	エンドユーザーソフトウェア使用許諾契約を確認します。
	オープンソースライセンス	オープンソースの使用許諾条件を確認します。
	Google利用規約	Googleの利用規約を確認します。
	認証	電波法／電気通信事業法に基づく技術基準適合情報や、無線LANの対応チャネル情報を表示します。

ファイル管理

ファイルマネージャー

本端末の内部ストレージやmicroSDカード内のファイルやフォルダを表示／再生したり、管理したりできます。

ファイルを表示／再生する

1 **ホーム画面で→「ファイルマネージャー」**

ファイルマネージャーのタブ選択画面が表示されます。

2 **画面上部の「内部」／「SDカード」タブをタップ**

3 **フォルダをタップ→ファイルをタップ**

ファイルを表示／再生するアプリケーションが起動し、ファイルを確認できます。

- ファイルによっては、本端末で再生できない場合があります。

▣お知らせ

- ファイルやフォルダを検索するには、→「検索」→文字列を入力します。
- SDカードリーダー／ライター（市販品）などのUSBストレージを本端末に接続している場合は、「USB」タブをタップするとUSBストレージ内のファイルやフォルダを利用できます。

表示方法を選択する

タブ選択画面を、フォルダ一覧表示からカテゴリ分類表示に切り替えることができます。

1 **ホーム画面で→「ファイルマネージャー」**

2

- 次回、ファイルマネージャーを起動すると、切り替えた表示方法で表示されます。

■ 表示方法をフォルダ一覧に切り替える場合

① カテゴリ分類表示で

ファイルやフォルダを移動／コピーする

フォルダ一覧表示の場合は、次の操作ができます。

1 **ファイルまたはフォルダが表示されている画面で（カット）／（コピー）→カットまたはコピーするファイルやフォルダにチェックを付ける→「カット」／「コピー」**

- ファイルやフォルダをロングタッチ→「カット」／「コピー」をタップしても操作できます。
- カットまたはコピーするファイルやフォルダを選択する画面で「全て選択」にチェックを付けると、表示されているファイルやフォルダを一度に選択することができます。

2 **移動先／コピー先を選択→「ペースト」**

ファイルやフォルダを削除する

ファイルまたはフォルダが表示されている場合は、次の操作でファイルやフォルダを削除できます。

1 **ファイルまたはフォルダが表示されている画面で →削除するファイルやフォルダにチェックを付ける→「削除」→「OK」**

- タブ選択画面では →「削除」をタップします。
- 削除するファイルやフォルダを選択する画面で「全て選択」にチェックを付けると、表示されているファイルやフォルダを一度に選択することができます。

アプリケーションを管理する

1 **タブ選択画面で**

カテゴリ分類表示に切り替わります。

2 **「アプリ」→「インストール済」／「アプリストア」**

- 「未インストール」内のアプリケーションは、管理操作ができません。

3 **アプリケーションをタップ→「開く」／「コピー先」／「共有」／「カテゴリに追加」／「アンインストール」**

- 表示される項目はアプリケーションによって異なります。

ファイルマネージャー画面のメニュー

ファイルマネージャー画面でファイルやフォルダをロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

- ファイルやフォルダの種類によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
開く	ファイルやフォルダを開きます。
解凍	圧縮ファイルを解凍します。
共有	Bluetooth機能やメールなどで共有します。
設定	画像を電話帳や壁紙に登録したり、音声を着信音や通知音に登録したりできます。
カット	ファイルやフォルダを移動します。
コピー	ファイルやフォルダをコピーします。
削除	ファイルやフォルダを削除します。
圧縮	ファイルやフォルダを圧縮します。
デスクトップショートカット	ホーム画面にショートカットを作成します。
ブックマークの追加	ブックマークを追加します。 • ブックマークを追加したファイルやフォルダを表示するには、カテゴリ分類表示で「ブックマーク」をタップします。 • ブックマークを削除するにはカテゴリ分類表示で「ブックマーク」→削除するブックマークをロングタッチ→「OK」をタップします。
名前の変更	ファイルやフォルダの名前を変更します。
詳細	ファイルやフォルダの詳細情報を確認します。

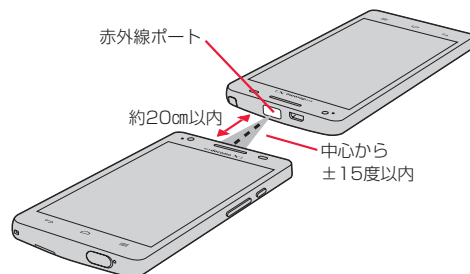
ファイルマネージャー画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
削除※	ファイルやフォルダを削除します。
共有	Bluetooth機能やメールなどで共有します。
検索	ファイルやフォルダを検索します。
圧縮	ファイルやフォルダを圧縮します。
新規フォルダ	新規にフォルダを作成します。
並べ替え	ファイルやフォルダを名前やサイズ、日時などで並べ替えます。
ルートに移動	タブ選択画面を表示します。
設定※	ファイルマネージャーのバージョン確認や詳細設定を行います。
ストレージ※	内部ストレージやmicroSDカードの空き容量などを確認します。
フィードバック※	アプリケーションの作成元に意見などをフィードバックします。

※ タブ選択画面でのみ表示されます。

赤外線通信

赤外線通信対応機器と本端末との間で、データの送受信ができます。

- 赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。また、データの送受信が完了するまで、赤外線ポートを向き合わせたまま動かさないでください。
- 赤外線ポートが汚れているときは、傷がつかないように柔らかい布で拭き取ってください。赤外線通信失敗の原因になる場合があります。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 相手側の端末によっては、データが送受信しにくい場合があります。
- 受信したデータは内部ストレージに保存されます。
- 赤外線で送受信できるデータは次のとおりです。
  電話帳※、spモードメール※、画像、動画、スケジュール&メモ※、マイプロフィール、名刺、トルカ
  ※ 全件送信が可能です。

赤外線通信で送信する

各アプリケーションからデータを送信する

1 各アプリケーションで送信するデータを選択→赤外線送信操作を行う

データを全件送信する

「赤外線」アプリケーションを利用して、電話帳やspモードメール、スケジュールやメモのデータを全件まとめて送信することができます。

- 全件送受信にはあらかじめドコモアプリパスワード（P.98）の設定が必要です。

1 ホーム画面で→「赤外線」

2 「全件送信」→送信するデータの種類をタップ→「開始する」

3 ドコモアプリパスワードを入力→「OK」

4 受信側と同じ認証パスワードを入力→「決定」→「OK」→「OK」

赤外線通信で受信する

データを1件受信する

1 ホーム画面で→「赤外線」

2 「1件受信」→「OK」

3 受信が完了したら「OK」→「OK」

データを全件受信する

1 ホーム画面で→「赤外線」

2 「全件受信」→ドコモアプリパスワードを入力→「OK」

3 送信側と同じ認証パスワードを入力→「決定」→「OK」

4 受信が完了したら「OK」→「保存する」

Bluetooth通信

本端末とBluetooth対応機器との間で、データの送受信ができます。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- 対応バージョンやプロファイルなどについては、「主な仕様」（P.180）をご参照ください。
- 本端末と接続するBluetooth対応機器の操作については、機器の取扱説明書などをご参照ください。
- 市販されているすべてのBluetooth対応機器との接続や動作を保証するものではありません。

■ Bluetooth機能使用時のご注意

- 本端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
- 他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）からできるだけ離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいためご注意ください。正常に接続できない場合やテレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりする場合があります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
- Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

無線LAN（IEEE802.11b/g/n）とBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。その場合は以下の対策を行ってください。

- 本端末と無線LAN対応機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、無線LAN対応機器の電源を切ってください。

Bluetooth機能をONにする

1 **ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」→「Bluetooth」欄のをタップしてにする**

Bluetooth機能がONになります。
ステータスバーにが表示されます。

本端末を検出可能にする

1 **ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」→「Bluetooth」**

Bluetooth設定画面が表示されます。

2 **「Bluetooth」欄のをタップしてにする**

「HW-03E」の下に「周辺のすべてのBluetoothデバイスに表示」と表示されている場合は、本端末が他のBluetooth機器から検出可能です。

- 2分を経過すると、他のBluetooth機器から検出されなくなります。
- 「他のBluetoothデバイスには非表示」と表示されている場合は、「HW-03E」をタップすると検出可能になります。
- ☰→「表示のタイムアウト」をタップすると、本端末を検出可能にする時間を設定できます。

端末の名前を変更する

他のBluetooth対応機器で、本端末を検出したときに表示される名前を変更します。

1 Bluetooth設定画面で▤→「端末の名前を変更」

2 端末の名前を入力→「名前を変更」

ペアリング／接続

本端末と他のBluetooth対応機器でデータのやり取りが行えるように、他の機器とペアリング／接続を行います。

他のBluetooth対応機器とペアリング／接続する

- あらかじめ他のBluetooth対応機器を接続できる状態にしておいてください。

1 Bluetooth設定画面で「デバイスの検索」

「使用可能なデバイス」欄に、検出されたBluetooth対応機器が一覧表示されます。

2 ペアリング／接続を行う機器をタップ

3 画面の指示に従ってペアリング／接続

「ペア設定されたデバイス」欄にペアリング／接続したBluetooth機器の名前が表示されます。

- 必要に応じてBluetoothパスキー（認証用コード）を入力します。データのやり取りを行う機器どうしが、同じBluetoothパスキーを入力する必要があります。Bluetoothパスキーは、機器の取扱説明書などをご確認ください。

ペアリング／接続を解除する

1 Bluetooth設定画面で解除操作を行う

■ Bluetooth対応機器とのペアリングを解除する場合

①「ペア設定されたデバイス」欄の機器名称の⚙

②「ペアを解除」

■ Bluetooth対応機器との接続を解除する場合

①「ペア設定されたデバイス」欄の機器名称をタップ→「OK」

▣お知らせ

- 相手側の機器によっては、⚙をタップして名前の変更や、プロファイルの設定変更などができます。

データの送受信

- あらかじめ本端末のBluetooth機能をONにし、データを送信する相手側の機器とペアリングしておいてください。

データを受信する

1 相手側の機器からデータを送信

2 ステータスバーにが表示されたら通知パネルを開く→「Bluetooth共有：ファイル着信」

3 「ファイル転送」画面で「承諾」

データの受信が開始されます。
受信が完了するとステータスバーにが表示されます。

■お知らせ

- 受信したファイルは、通知パネルを開く→「Bluetooth共有：受信したファイル」→ファイルをタップするか、またはBluetooth設定画面で☰→「受信済みファイルを表示」をタップすると確認できます。

データを送信する

電話帳、静止画、動画などのデータを、他のBluetooth対応機器に送信できます。

1 各アプリケーションの共有メニューから「Bluetooth」

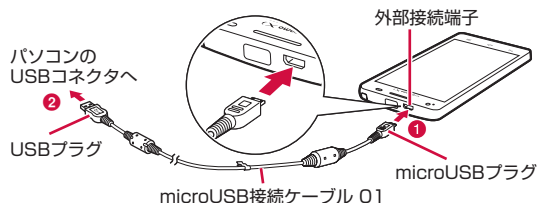
2 データを送信する相手側の機器をタップ

データの送信が開始されます。
送信が完了するとステータスバーに⬆が表示されます。

外部機器接続

パソコンと接続する

microUSB接続ケーブル01（別売）を使用して、本端末とパソコンを接続します。

- 本端末と接続可能なパソコンのOSは、次のとおりです。
  - Windows 8（日本語版）
  - Windows 7（日本語版）
  - Windows Vista（日本語版）
  - Windows XP（日本語版）

1 本端末の外部接続端子にmicroUSB接続ケーブル 01のmicroUSBプラグを、USBマークを下にして水平に差し込む（❶）

2 microUSB接続ケーブル 01のUSBプラグを、パソコンのUSBコネクタに水平に差し込む（❷）

本端末をUSBストレージとして使用する

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で接続して、内部ストレージまたは本端末に取り付けられているmicroSDカードとデータをやり取りできます。

- 接続するパソコンなどの機器の仕様や使用目的に応じて、接続の方式を設定できます。
- パソコンとの接続方式に「HiSuite」を選択すると、パソコンに「HiSuite」のセットアップウィザードが表示され、「HiSuite」アプリケーションをインストールすることができます。HiSuiteを利用して、本端末とパソコンの間でデータの同期やアプリケーションの管理、バックアップ／復元などさまざまな操作を行えます。
  HiSuiteについて詳しくは、以下のホームページをご覧ください。
  http://www.huaweidevice.com/hi-suite （英語／中国語のみ）

1 本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01で接続

2 接続方式を「メディアデバイス（MTP)」／「カメラ(PTP)」／「HiSuite」／「USBマスストレージ」から選択

3 パソコンを操作して、本端末内のストレージまたは本端末に取り付けられているmicroSDカードとデータをやり取りする

本端末をパソコンから取り外すには

■「USBマスストレージ」で接続している場合

1 パソコン側で本端末の安全な取り外し操作を行う

2 microUSB接続ケーブル 01を取り外す

■ その他の接続方式で接続している場合

- データの転送が行われていないことを確認して、microUSB接続ケーブル 01を取り外します。

お知らせ

- 本端末とパソコンとの間でデータのやり取りをしているときにmicroUSB接続ケーブル 01を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

アプリケーション

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリケーションに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で「dメニュー」

- ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

▣お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE/3G/GPRS）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- d メニューへの接続および d メニューで紹介しているアプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリケーションには、一部有料のアプリケーションが含まれます。

dマーケット

dマーケットでは、自分に合った便利で楽しいコンテンツを手に入れることができます。

1 ホーム画面で「dマーケット」

▣お知らせ

- dマーケットの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

Playストア

Google Playで公開されているアプリケーションを本端末にインストールして利用することができます。

- Google Playのご利用にはGoogleアカウントの設定が必要です（P.42）。

アプリケーションをインストールする

1 ホーム画面で「Playストア」

2 アプリケーションを検索し、内容を確認してインストールを行う

▣お知らせ

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。
- アプリケーションによっては、自動的にアップデートが実行されるものがあります。
- 有料アプリケーションの場合、規定の時間内であれば削除と返金要求ができます。詳しくはGoogle Play画面で▤→「ヘルプ」→「Androidアプリ」→「アプリケーションの購入」をご確認ください。
- アプリケーションをアンインストールするには、Google Play画面で▤→「マイアプリ」→アンインストールしたいアプリケーションをタップ→「アンインストール」→「OK」をタップします。
- Google Playの詳細については、Google Play画面で▤→「ヘルプ」をご確認ください。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」がご利用いただける機能です。
さらに、ネットワークを使って電子マネーの入金や残高、ポイントの確認などができます。また、紛失時の対策として、おサイフケータイの機能をロックすることができるので、安心してご利用いただけます。
おサイフケータイの詳細については、『ご利用ガイドブック(spモード編)』をご覧ください。

おサイフケータイのご利用にあたって

- 本端末の故障により、ICカード内データ(電子マネーやポイントのバリューを含む)が消失・変化してしまう場合があります(修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます)。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

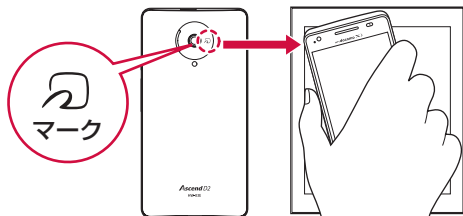
iCお引っこしサービス

iCお引っこしサービスは、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイをお取り替えになる際、おサイフケータイのICカード内データを一括でお取り替え先のおサイフケータイに移し替えることができるサービスです。
iCお引っこしサービスはお近くのドコモショップなどでご利用いただけます。
iCお引っこしサービスの詳細については『ご利用ガイドブック(spモード編)』をご覧ください。

「おサイフケータイ対応サービス」を利用する

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイトよりおサイフケータイ対応アプリケーションをダウンロード後、設定を行ってください。なお、サービスによりおサイフケータイ対応アプリケーションのダウンロードが不要なものもあります。

1. **ホーム画面で→「おサイフケータイ」**
   初回の起動時には初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定を行います。
2. **サービスの一覧から利用したいサービスを選択**
3. **サービスに関する設定を行う**
   サービスのサイトまたはアプリケーションから必要な設定を行います。画面の指示に従って設定を行います。

4 マークを読み取り機にかざす

▣お知らせ

- おサイフケータイ対応アプリケーションを起動せずに、読み取り機とのデータの読み書きができます。
- 本体の電源を切っていても利用できますが、電池パックを取り付けていない場合は利用できません。電池パックを取り付けていても、本端末の電源を長期間入れなかったり、電池残量が少なかったりする場合は、利用できなくなることがあります。

「かざしてリンク対応サービス」を利用する

かざしてリンク対応サービスをご利用いただくには、アプリケーションが必要な場合があります。なお「ICタグ・バーコードリーダー」アプリ（P.56）を利用して、ICチップが内蔵された機器、またはスマートポスターなどにマークをかざして利用できます。

※ ICチップが内蔵された機器など、すべての対向機との通信を保証するものではありません。ご利用される機器が対応しているかどうかの詳細は、各機器メーカーへお問合せください。

読み取り機やICチップが内蔵された機器など、対向機にかざす際の注意事項

対向機器にかざすときは次のことに注意してください。

- マークを対向機にかざす際に、強くぶつけないように注意してください。
- マークと対向機の中心に平行になるようにかざしてください。
- マークを対向機にかざす際はゆっくりと近づけてください。
- マークは対向機の中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かすか、または前後左右にずらしてかざしてください。
- マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

おサイフケータイの機能をロックする

「おサイフケータイ ロック設定」を利用すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。おサイフケータイのロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 ホーム画面で→「おサイフケータイ」

2 「ロック設定」→「おサイフケータイ ロック」

3 画面の指示に従ってロック設定のパスワードを設定する

ロックが設定され、ステータスバーにが表示されます。

- 設定したパスワードはロックを解除する際に必要になります。

▣お知らせ

- おサイフケータイ ロック設定を解除するには、おサイフケータイ画面で「ロック設定」→「おサイフケータイ ロック」→ロック設定のパスワードを入力→「続行」→「OK」をタップします。

iDアプリ

「iD」とは、クレジット決済のしくみを利用した便利な電子マネーです。クレジットカード情報を設定したおサイフケータイやiD対応のカードをお店の読み取り機にかざすだけで簡単・便利にショッピングができます。おサイフケータイには、クレジットカード情報を2種類まで登録できるので特典などに応じて使い分けることもできます。ご利用のカード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDに対応したカード発行会社へのお申し込みのほか、iDアプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのサイト（http://id-credit.com/）をご覧ください。

トルカ

トルカとは、ケータイに取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、読み取り機やサイトから取得できます。取得したトルカは「トルカ」アプリに保存され、「トルカ」アプリを利用して表示、検索、更新ができます。
トルカの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

▣お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- ｉモード端末向けに提供されているトルカは、取得・表示・更新できない場合があります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
  - 読み取り機からの取得、更新、トルカの共有、microSDカードへの移動／コピー、地図表示
- IPの設定によって、トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでもトルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。
- おサイフケータイ ロック設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。
- 重複チェックを有効に設定した場合、保存済みのトルカと同じトルカを重複して取得することができません。同じトルカを重複して取得したいときは、無効に設定してください。
- メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。

- トルカをmicroSDカードに移動、コピーする際は、トルカ（詳細）取得前の状態で移動、コピーされます。
- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

モバキャス

モバキャスは、スマートフォン向けの放送サービスです。番組をリアルタイムに視聴できる「リアルタイム」（リアルタイム型放送）、映画やドラマだけでなく、マンガ・小説・音楽・ゲームなどがいつでもどこでも楽しむことができる「シフトタイム」（蓄積型放送）の2つの視聴スタイルで楽しめます。また、端末の通信機能を利用したソーシャルサービスとの連携など、今までにない放送サービスを楽しめます。

モバキャスの詳細については、モバキャス放送局（NOTTV）のホームページをご覧ください。

NOTTV　http://www.nottv.jp/

■ モバキャスのご利用にあたって

- モバキャスのご利用には別途モバキャス放送局(NOTTV)との有料放送受信契約が必要になります。
- 本端末にドコモminiUIMカードが入っていない場合は放送の受信･視聴ができません。
- モバキャスは日本国内で提供される放送サービスです。
- シフトタイムのご利用には本体メモリの容量が必要です。

■ 放送電波・受信エリアについて

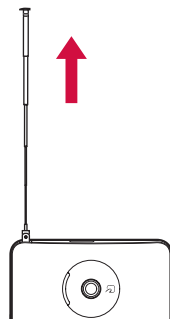
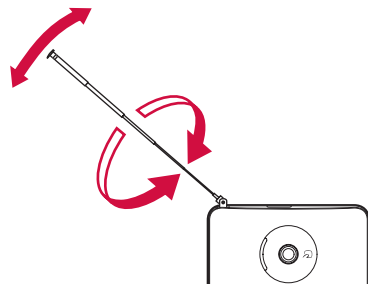
モバキャスは、XiサービスおよびFOMAサービス、ワンセグとは異なる電波を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、モバキャスの放送電波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

また、モバキャス放送エリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送電波が送信される基地局から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

ワンセグ／モバキャスアンテナについて

受信状態を良くするためには、ワンセグ／モバキャスアンテナを十分伸ばしてください。
また、アンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

- ワンセグ／モバキャスアンテナは固定されるまで十分に引き出してください。

- ワンセグ／モバキャスアンテナは 360 度回転させることもできます。受信感度の良い方向へ向けてお使いください。

▣お知らせ

- ワンセグ／モバキャスアンテナの方向を変えるときや収納するときは、ワンセグ／モバキャスアンテナの根元を持ってください。無理に力を加えて方向を変えようとしたり、先端を持って収納しようとしたりすると、破損の原因となります。

番組／コンテンツの視聴

1 ホーム画面で□→「NOTTV」

NOTTVホーム画面が表示されます。

- はじめて起動したときは、初期設定の確認画面が表示されます。利用規約を確認→「同意する」をタップすると初期設定が自動的に行われます。
- 初期設定は通信環境の良いところで実施してください。

2 NOTTVホーム画面に表示されている番組／コンテンツのサムネイルを選択

モバキャス視聴画面が表示されます。

■ **チャンネルを選局する場合**

① 視聴画面を左右にスワイプします（リアルタイム番組視聴時）。

■ **表示を切り替える場合**

① 端末を横向きにするか、全画面表示ボタンをタップします。

■ **データ放送を表示する場合**

①「データ」をタップします。

■ **番組／コンテンツに関連したタイムラインを表示する場合**

①「ソーシャル」をタップします。

■ **番組の詳細情報を表示する場合**

①「インフォ」をタップします。

■ **音量を調節する場合**

① □／□を押します。

■ **字幕や音声の設定を行う場合**

① □→「設定」→「表示・音声」をタップします。

▣お知らせ

- コンテンツの表示構成は番組／コンテンツにより異なります。

番組／コンテンツの検索

番組／コンテンツをアプリケーション内でさまざまな方法で探すことができます。

番組表から検索（リアルタイム）

1 NOTTVホーム画面で「番組表」

リアルタイム番組表が表示されます。

- シフトタイムの番組表をみるには、「シフトタイム」をタップします。
- 現在放送中の番組をタップすると視聴画面に切り替わります。

2 番組をタップ

条件を指定して検索

1 NOTTVホーム画面で□→「検索・ジャンル別」

2 キーワードを入力、またはジャンル別で項目をタップ

番組／コンテンツの受信予約（シフトタイム）

1 NOTTVホーム画面で「番組表」

2 「シフトタイム」

今後放送される番組／コンテンツの一覧が表示されます。

3 予約したい番組／コンテンツをタップ

番組／コンテンツの詳細画面が表示されます。

4 「予約する」

▣お知らせ

- 次のような場合は番組／コンテンツを受信できないことがあります。
  - 番組／コンテンツの放送時間に本端末の電源が入っていない
  - 電池残量が不足
  - モバキャス放送エリア外など、電波状況が良くない
  - 本体メモリの容量不足
- 本体メモリに一時保存された番組／コンテンツはご利用中の端末でのみ視聴・利用できます。
- 利用期限を過ぎた番組／コンテンツは自動的に本体メモリから削除されます。なお、利用期限が過ぎる前の番組／コンテンツも手動で削除することができます。
- お客様が予約を行っていない場合も自動的に番組／コンテンツが予約される場合があります（自動受信）。
- 自動受信は設定で解除できます。
- 放送電波の受信状況によっては、コンテンツデータが正常に受信できなかった場合に、自動的にパケット通信でデータを補完することがあります（自動コンテンツ補完）。
- 自動コンテンツ補完は設定で解除できます。

モバキャスの設定メニュー

NOTTVホーム画面で☰→「設定」をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目		説明
表示・音声	字幕表示	字幕表示を設定します。
	文字スーパー表示	文字スーパー表示のON／OFFを設定します。
	音声	主音声・副音声の切り替えの設定をします。
自動処理	自動受信	コンテンツや番組表の自動受信のON／OFFを設定します。
	おすすめのリセット	番組／コンテンツのおすすめ設定をリセットします。
	番組・コンテンツ情報取得	番組表／コンテンツリストの情報を放送で取得する時間帯を設定します。
	自動コンテンツ補完	放送受信環境等の理由によりコンテンツが完全に受信できなかった場合に、自動的にパケット通信でデータを補完する機能について設定します。
	利用ログ送信	利用ログを送信するかどうかを設定します。
	自動ライセンス取得	コンテンツのライセンスを自動的に取得するかどうかを設定します。
	ペアレンタルコントロール	年齢に応じた番組／コンテンツの利用制限を設定します。

項目		説明
ブラウザ	Cookie	CookieのON／OFFを設定します。
	Cookieを削除	Cookieを削除します。
	放送用保存領域消去	端末内の放送用保存領域に保存された個人情報データを削除します。
	データ放送表示	データ放送表示のON／OFFを設定します。
	再読込	情報を更新します。
	文字コード変換	文字コードを変換します。
履歴		各種履歴を表示します。
ステータスバー		ステータスバーに放送中の番組を表示するかどうかを設定します。
機種変更	機種変更前操作	機種変更前に必要な処理を行います。
	機種変更後操作	機種変更後に必要な処理を行います。
	ライセンス処理	機種変更前／後の操作が通信エラーになった場合のライセンス処理操作を行います。

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp/

ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。
「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。

- サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、XiサービスおよびFOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

■ 受信状態を良くするには

- ワンセグ／モバキャスアンテナについては「ワンセグ／モバキャスアンテナについて」（P.123）をご参照ください。

チャンネルを設定する

ワンセグを視聴するには、あらかじめチャンネル設定を行う必要があります。

1 ホーム画面で[アイコン]→「ワンセグ」

2 「ユーザー設定」→「チャンネル設定」

3 「地域選択」→以降、画面の指示に従って都道府県や地域をタップ

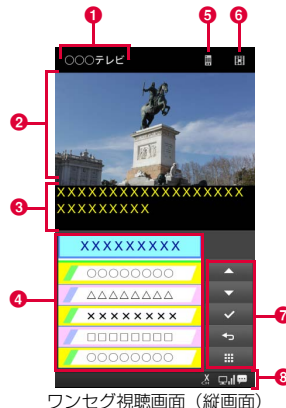
- 「現在地から設定」をタップすると、現在地の情報を利用して自動的にチャンネルを設定します。

4 チャンネルリスト登録確認の画面で「はい」／「完了」

ワンセグを視聴する

1 ホーム画面で[アイコン]→「ワンセグ」

2 「ワンセグ視聴」

ワンセグ視聴画面が表示されます。

ワンセグ視聴画面（縦画面）

ワンセグ視聴画面（横画面）

❶ チャンネル表示
❷ テレビ映像エリア
- 画面をタップすると番組名と放送時間が表示されます。
- 左右にフリックするとチャンネルの切り替えができます。

❸ 字幕エリア
❹ データ放送エリア
❺ チャンネル一覧
❻ 番組表
❼ データ放送操作ボタン
❽ ステータスバー
チャンネルや電波強度などが表示されます。

ワンセグ視聴画面のメニュー

ワンセグ視聴画面で［≡］をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
録画開始／録画停止	視聴中の番組の録画または録画停止の操作を行います。
字幕表示切替	字幕エリアを表示するかどうかを設定します。
視聴設定	チャンネルや番組の情報、チャンネルリストの選択や追加登録、番組予約、画面表示や音声の切り替え、オフタイマーなどの確認や設定ができます。
テレビリンク	テレビリンクを利用します（P.130）。

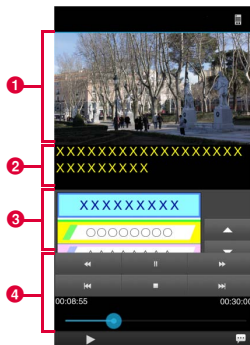
▣お知らせ

- ワンセグ視聴画面からアプリケーションを終了するには［戻る］をタップします。［ホーム］をタップしてホーム画面に戻ったり、メニューを表示させたりした場合、ワンセグ放送の受信は終了していません（ステータスバーには［アイコン］が表示されます）。

録画した番組を再生する

1 ホーム画面で→「ワンセグ」

2 「録画データ」

3 再生したい番組をタップ

再生画面

❶ 録画映像エリア

❷ 字幕エリア

- 画面をタップすると字幕エリアの表示／非表示が切り替わります。

❸ データ放送エリア

❹ 録画操作パネル

- 録画操作パネルを表示するには、画面右上のをタップします。録画操作パネルを非表示にするには、パネル以外のエリアをタップします。
- ／：一時停止／再生
- ／：早戻し／早送り（タップするたびに速度が上がります）
- ／：約15秒前にバック／約30秒先にスキップ
- ：再生終了
- ：再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を移動できます。

再生画面のメニュー

再生画面でをタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
字幕表示切替	字幕エリアを表示するかどうかを設定します。
詳細設定	番組情報や画面表示、音声の切り替え、オフタイマーなどの確認や設定ができます。

録画／視聴を予約する

ワンセグの録画や視聴を予約できます。設定した日時にアラーム音などで通知させることもできます。

1 ホーム画面で→「ワンセグ」

2 「視聴・録画予約」

3 「録画」／「視聴」→→「新規」

4 各項目を設定→「登録」

登録した予約が一覧表示されます。

■ 予約内容を確認／編集する場合

① 予約をタップ

② 各項目をタップして編集→「登録」

■ 予約内容を削除する場合
① 予約をタップ
② ☰→「削除」
- 複数の予約を削除するには、予約の一覧画面で☰→「全件削除」／「複数件削除」をタップします。

■ 予約結果を確認する場合
① 予約の一覧画面で☰→「予約結果」

番組表を利用して予約する

1 ホーム画面で▦→「ワンセグ」

2 「番組表」
- 初めてご利用になるときは、アプリケーションのダウンロードなどを行う必要があります。画面の指示に従って操作してください。

3 予約する番組をタップ→「ワンセグ連携」→項目を選択
- 詳しい操作方法については、Gガイド番組表の画面で☰→「その他の設定」／「その他」→「ヘルプ」をご参照ください。

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトなどへのリンク情報などテレビリンクとして登録することができます。テレビリンクを登録しておくと、あとから利用することができます。
- テレビリンクの登録方法は番組によって異なります。

1 ワンセグ視聴画面で☰→「テレビリンク」

2 テレビリンクをタップ

■ テレビリンクを削除する場合
① テレビリンクをロングタッチ→「1件削除」→「はい」

ワンセグを設定する

チャンネル設定やリセットなどの操作を行います。

1 ホーム画面で▦→「ワンセグ」

2 「ユーザー設定」

3 項目を設定

項目	説明
チャンネル設定	地域を選択するか、または現在地の情報を利用してチャンネルを設定します。
チャンネルリスト選択	登録したチャンネルリストから利用するリストを選択します。

項目		説明
リセット	チャンネル設定初期化	チャンネル設定を初期化します。
	放送用保存領域消去	データ放送の利用時に入力した情報など、端末内の放送用保存領域に保存された個人情報データを削除します。
	確認表示初期化	通信接続時に確認メッセージを再度表示します。
	ワンセグ設定リセット	ワンセグの設定を初期状態に戻します。

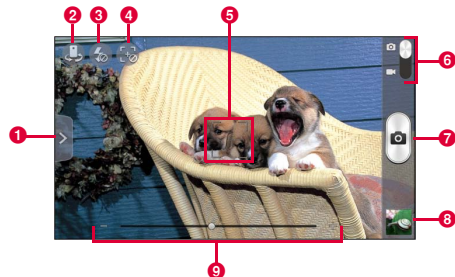
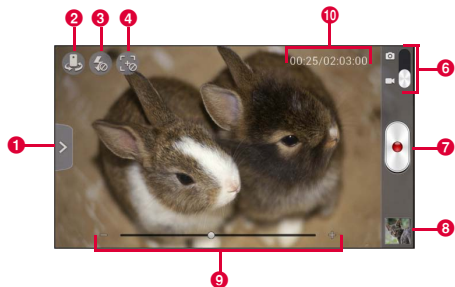
カメラ

カメラをご利用になる前に

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見えたり、暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 撮影する前には、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。レンズに指紋や油脂などが付くと、画像が不鮮明になる場合があります。
- 本端末を日の当たる所や高温の所に放置すると、画質が劣化することがあります。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりする場合があります。
- 撮影するときは、本端末が動かないようにしっかり手に持って撮影してください。撮影時に本端末を動かすと、画像が乱れる原因になります。
- 撮影するときは、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- 撮影中は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行うと、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりすることがあります。
- 静止画の連続撮影や動画の長時間撮影など、カメラを長時間起動していると本端末が温かくなり、カメラが自動的に終了することがありますが、故障ではありません。しばらく時間をおいてからご使用ください。
- マナーモード設定中でも静止画のシャッター音や動画撮影の開始音、終了音は鳴りますのでご注意ください。

著作権・肖像権について

お客様が本端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などをすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。
お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラを起動する

1 **ホーム画面で[アプリ]→「カメラ」**

撮影画面が表示されます。
- はじめて起動したときは、使い方のガイドが表示されます。
- カメラを終了するには撮影画面で[ホーム]／[戻る]をタップします。

撮影画面の見かた

撮影画面（静止画）

撮影画面（動画）

❶ **メニュー**
タップすると、撮影画面のメニューが表示されます（P.133）。

❷ **カメラを選択**
背面（アウトカメラ）／前面（インカメラ）を切り替えます。

❸ **フラッシュモード**
フラッシュモードを切り替えます。

❹ **動体追尾AF**
被写体をタップすると、被写体の動きを自動的に追尾してフォーカスを合わせます。

❺ **フォーカス枠**
枠内の被写体にフォーカスを自動的に合わせます。
- フォーカスを合わせたい位置をタップすると、その位置にフォーカス枠が表示されます。

❻ **撮影モード**
スライダーを上／下にドラッグして撮影モード（静止画撮影／動画撮影）を切り替えます。

❼ **シャッター**
静止画撮影の場合は撮影、動画撮影の場合は撮影を開始／停止します。

❽ **サムネイル**
ギャラリーを開き、撮影した静止画／動画を確認できます。
をタップすると撮影画面に戻ります。

❾ **ズーム**
スライダーを左右にドラッグしてズームを調節します。
- 静止画撮影の場合、2倍以上のズームに設定するとスーパーズーム（超解像）が自動的に有効になります。写真の品質を高めるため、シャッター動作後も約2秒ほど端末を動かさないようにしてください。

❿ **動画の撮影時間**
撮影時間を表示します。

▣お知らせ

- 撮影画面に表示されているアイコンは本端末の向きに合わせて回転します。
- 撮影モードによって、設定できる項目は異なります。

静止画を撮影する

1 静止画撮影画面で被写体を画面に表示
- 画面中央以外にフォーカスを合わせたい場合は、画面上のお好みの位置をタップするとフォーカス枠が移動します。

2 シャッターをタップ
シャッター音が鳴り、静止画が保存されます。
- （音量上キー）を押しても撮影できます。

動画を撮影する

1 動画撮影画面で被写体を画面に表示

2 シャッターをタップ
撮影開始音が鳴り、動画の撮影が開始されます。
- （音量上キー）を押しても撮影を開始できます。

3 撮影が終わったら、シャッターをタップ
撮影終了音が鳴り、動画が保存されます。

▣お知らせ

- 動画の撮影可能時間は、microSDカードや内部ストレージの空き容量によって異なります。

撮影画面のメニュー

撮影画面でをタップすると、次のメニューが表示されます。
- インカメラ／アウトカメラによって、表示されるアイコン／項目は異なります。

■ 静止画の場合

アイコン／項目		説明
	シングル	通常撮影モードに設定します。
	パノラマ	パノラマ撮影モードに設定します。
	グループ	複数の人物を撮影する場合に適した撮影モードに設定します。1回のシャッターで5枚の写真を連続撮影します。撮影した5枚の中から、被写体ごとにもっとも良い表情などを選択し、組み合わせて1枚の写真として保存できます。 • プレビュー画面で5枚の画像から1枚を選択→被写体（顔など）の上に表示されている白い枠をタップ→拡大表示された部分に表示される丸い枠をタップして、その部分の5枚の画像から1枚を選択→✔→他の被写体を選択して同様の操作を行う→✔をタップすると、組み合わせた画像が保存されます。
	HDR	HDR（高ダイナミックレンジ）撮影モードに設定します。
	微光	光の少ない場所でも撮影できるモードに設定します。
	ビューティー	肌をきれいに撮影するモードに設定します。
	スマイル	シャッターをタップすると笑顔の検出が開始され、検出したときに自動的にシャッターが切れるスマイルモードに設定します。 • 笑顔を検出している間は連続して撮影されます。撮影を終了するには再度シャッターをタップします。
	バースト	1回のシャッターで10枚の写真を連続撮影するモードに設定します。10枚すべてが保存されます。
		効果を設定します。
		顔認識機能で被写体の顔に特殊な効果をかけて撮影します。
	シーンモード	シーンモードを設定します。
	ISO	ISOを設定します。
	ホワイトバランス	ホワイトバランスを設定します。
	画像調整	露出や彩度、コントラスト、画面の明るさを設定します。
	タイマー	セルフタイマーを設定します。
	写真の画質	画質を設定します。
	表示サイズ	表示サイズを設定します。
	赤目軽減	赤目軽減を行うかどうかを設定します。
	グリッド	グリッド線を表示するかどうかを設定します。
	GPSタグ	撮影した静止画に位置情報を記録するかどうかを設定します。
	保存先	撮影した静止画の保存先を設定します。
	初期設定に戻す	設定を初期設定に戻します。

■ 動画の場合

アイコン／項目	説明
	解像度を設定します。
	ホワイトバランスを設定します。
	顔認識機能による変顔撮影パターンを設定します。

アイコン／項目		説明
	動画の画質	画質を設定します。
	手ぶれ補正	手ぶれ補正機能を使用するかどうかを設定します。
	HDRビデオ	HDR（高ダイナミックレンジ）撮影モードに設定します。
	GPSタグ	撮影した動画に位置情報を記録するかどうかを設定します。
	保存先	撮影した動画の保存先を設定します。
	初期設定に戻す	設定を初期設定に戻します。

ギャラリー

本端末で撮影した静止画／動画、ダウンロードしたデータなどを再生します。また、静止画の編集や、静止画／動画の共有ができます。

- ギャラリーでは、microSDカードまたは内部ストレージに保存されているデータを再生します。また、SDカードリーダー／ライター（市販品）などのUSBストレージを本端末に接続して、データを利用することもできます。
- 本端末で対応している拡張子は次のとおりです。ただし、ファイルによっては利用できない場合があります。

種類	拡張子
静止画	jpg、png、bmp、wbmp、gif
動画	mp4、3gp、3g2

ギャラリーを開く

1 **ホーム画面で →「ギャラリー」**

アルバム一覧画面が表示されます。

アルバム一覧画面

❶ 選択したテーマで画像をフォルダごとに表示したり、並べ替えたりします。
❷ カメラを起動します。
❸ 選択したテーマごとのフォルダ名が表示されます。

アルバム一覧画面のメニュー

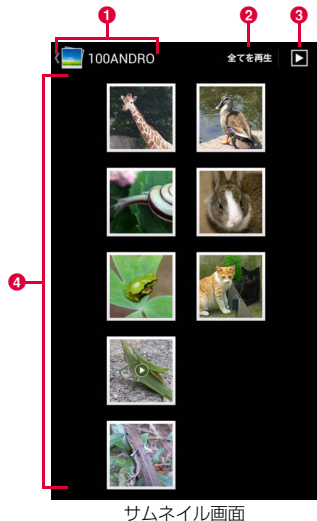
アルバム一覧画面で[メニュー]をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
アルバムを選択／グループの選択	フォルダをタップして複数選択し、まとめて共有、削除します。 • 「XX件選択済み」→「全件選択」をタップすると、すべてのフォルダを選択できます。 • [共有]をタップすると、選択したフォルダのデータをPicasaやBluetooth通信、メールなどを使って共有できます。 • [⋮]をタップすると、選択したフォルダのデータ削除や表示／非表示の切り替え、詳細情報の確認ができます。
非表示のアルバムを表示	非表示に設定したアルバムを表示します。
顔認識	画像の顔認識機能を設定します。

▣お知らせ

- アルバム一覧画面で1つずつフォルダをロングタッチしても、複数選択できます。
- データの種類によっては、共有に使用するアプリケーションが一部、表示されないことがあります。

静止画／動画を再生する

1 アルバム一覧画面で再生する画像をタップ

サムネイル画面

❶ 現在のフォルダのタイトルを表示します。をタップするとアルバム一覧画面に戻ります。
❷「全てを再生」→再生回数をタップすると、フォルダ内のすべての動画を再生します（「動画プレーヤー」を選択した場合のみ）。
❸ フォルダ内の画像をスライドショーで表示します。
❹ 静止画／動画がサムネイルで表示されます。サムネイルをタップすると再生できます。左／右にスライドすると、画面をスクロールできます。

2 静止画／動画をタップ

画面にアイコンが表示され、次の操作ができます。

- 端末の状態によっては、再生するアプリケーションの選択画面が表示される場合があります。他のアプリケーションを選択した場合は、アイコンが異なります。

アイコン	説明
	メモを作成したり、PicasaやBluetooth通信、メールなどを使って共有したりできます。
	静止画／動画を削除します。
（動画のみ）	再生アプリケーションを選択します。

■ 動画再生の場合（「動画プレーヤー」を選択した場合）

アイコン	説明
	Dolby機能のオン／オフを切り替えます。 • イヤホン接続時はプリセットイコライザーを選択できます。
	YouTubeやBluetooth通信、メールなどを使って共有できます。
／	再生／一時停止します。
／	前の動画／次の動画にスキップします。
	左右にドラッグして巻き戻し／早送りします。

■お知らせ

- 画面のアイコンが非表示になった場合は、画面をタップすると再表示できます。
- 静止画再生の場合は、タッチパネルを使って次の操作ができます。
  - 左／右にスワイプ：前／後の静止画／動画を表示
  - ダブルタップ：拡大表示／縮小表示
  - ピンチイン／ピンチアウト：縮小表示／拡大表示

サムネイル画面のメニュー

サムネイル画面で▤をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
項目を選択	サムネイルをタップして複数選択し、まとめて共有、削除、回転します。 • 「XX件選択済み」→「全件選択」をタップすると、すべてのサムネイルを選択できます。 • ＜をタップすると、選択したサムネイルのデータでメモを作成したり、PicasaやBluetooth通信、メールなどを使って共有したりできます。 ※ 端末の状態によっては、＜のメニュー内の項目がアイコンで表示されることがあります。 • ⋮をタップすると、選択したサムネイルのデータの編集や回転、トリミング、削除などの操作ができます。
グループ化	フォルダ内の画像を設定したテーマでグループ分けします。

■お知らせ

- サムネイル画面で1つずつサムネイルをロングタッチしても、複数選択できます。
- データの種類によっては、共有に使用するアプリケーションが一部、表示されないことがあります。

再生画面のメニュー

再生画面で▤をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 静止画と動画では表示される項目が異なります。

項目	説明
スライドショー	フォルダ内の画像をスライドショーで表示します。画像をタップすると、スライドショーが停止します。
編集	静止画を編集します（P.138）。
左に回転	静止画を左に90度回転します。
右に回転	静止画を右に90度回転します。
トリミング	静止画をトリミングします。
画像を設定	静止画を壁紙や連絡先の画像に設定します。
詳細情報	静止画／動画の詳細情報を表示します。

静止画を編集する

1 **サムネイル画面で静止画をタップ**

2 **▤→「編集」**

3 各アイコンで画像を編集

項目	説明
	設定した編集を解除して1つ前の状態にします。
	解除した編集内容を戻します。
	フィルライト、ハイライト、影、自動修正を設定します。
FX	表現手法を設定します。
	色効果や落書きを追加します。
	トリミング、赤目処理、傾き調整、回転、反転、シャープを設定します。

4 「保存」

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを利用して、microSDカードまたは本端末の内部ストレージに保存した音楽／動画を再生したり、dマーケットのストアからコンテンツを利用できます。

- パソコンからmicroSDカードまたは本端末の内部ストレージに音楽／動画ファイルを保存するには、「パソコンと接続する」(P.115) をご参照ください。
- SDカードリーダー／ライター（市販品）などのUSBストレージを本端末に接続して、音楽／動画を利用することもできます。
- 本端末で対応しているファイル形式は次のとおりです。ただし、ファイルによっては利用できない場合があります。

種類	ファイル形式
音楽	AAC LC、HE-AAC v1、HE-AAC v2、MP3、MIDI、WMA9/9 Pro、Ogg Vorbis
動画	H.263、H.264、MPEG-4、WMV7/8、VC-1、VP8

音楽／動画を再生する

1 ホーム画面で →「メディアプレイヤー」

メディアプレイヤー画面が表示されます。

2 画面下のカテゴリ一覧で、再生するカテゴリのアイコンをタップ

- 選択したカテゴリ内のデータ一覧画面が表示されます。
- 動画を再生するには「ムービー」をタップします。
- 「MUSICストア」／「VIDEOストア」をタップするとdマーケットが起動し、ストアの音楽／動画などのコンテンツを利用できます。

3 音楽または動画をタップ

選択した音楽／動画が再生されます。

▣お知らせ

- デジタル著作権管理技術（DRM）で保護されたコンテンツは「データの初期化」をすると再生できない場合があります。

■ 音楽／動画再生画面の操作について

- アイコンが消えている場合は、画面をタップすると再表示されます。

アイコン	説明
	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
（音楽）／（動画）	データの一覧画面を表示します。
／	再生／一時停止します。
／	タップするとデータの先頭または前のデータ／次のデータにスキップします。
	音量の大きさを表示します。左右にドラッグすると音量を調節できます。
／／※1	リピートモードを設定します（全曲リピート／1曲リピート／リピートなし）。
／※1	シャッフル機能のON／OFF を設定します。
／※2	画面の表示方向を自動的に切り替えるかどうかを設定します。

※1 音楽の再生画面でのみ表示されます。
※2 動画の再生画面でのみ表示されます。

プレイリストを利用する

プレイリストを利用して、楽曲をお好みの順番に再生することができます。

プレイリストを作成する

1 カテゴリ一覧で「プレイリスト」

2 「プレイリスト作成」→タイトルを入力→「OK」

3 「プレイリストに曲を追加」→曲を選択

- 「アーティスト」／「アルバム」タブをタップすると、アーティストやアルバムから検索できます。

4 「決定」→「完了」→「OK」

プレイリストを再生／編集／削除する

1 カテゴリ一覧で「プレイリスト」

■ プレイリストを再生する場合
① 再生したいプレイリストをタップ
② 曲をタップ

■ プレイリストを編集する場合
① 編集したいプレイリストをタップ
②「編集」
③ タイトル編集、曲の追加／削除、並び替えの変更などを行う→「完了」→「OK」

■ プレイリストを削除する場合
① プレイリストの一覧画面で「編集」
② 削除したいプレイリストをタップ→「完了」→「OK」

メディアプレイヤーのメニュー

データ一覧画面や再生画面で≡をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 利用できるメニューは画面によって異なります。

項目		説明
設定	**オーディオエフェクト設定**	エフェクトを設定します。
	着信音設定／この曲を着信音設定	着信音に設定します。
	動画ソート設定	動画のソート方法を設定します。
	コンテンツの削除	音楽／動画を削除します。
	アイコンの並べ替え	カテゴリアイコンの並び順を変更します。
	海外データ通信設定	海外で利用する場合にデータ通信をするかどうかを設定します。
	データベースの更新	データの一覧を更新します。
	設定リセット	設定をリセットします。
ソート		データの並び順を変更します。
サムネイル表示／リスト表示		データのサムネイル表示／リスト表示を切り換えます。
サイトで探す		dメニューに接続して検索できます。
ヘルプ		メディアプレイヤーのヘルプを表示します。
アプリ情報		メディアプレイヤーの詳細情報を表示します。
コンテンツ情報		再生中のコンテンツの情報を表示します。
アプリ終了		メディアプレイヤーを終了します。

YouTube

YouTubeは、オンライン動画ストリーミングサービスです。動画の再生や投稿ができます。

動画を再生する

1 **ホーム画面で→「YouTube」**

YouTube画面が表示されます。

2 **動画を検索→再生する動画をタップ**

動画再生画面が表示されます。

- 動画再生画面をタップ→／をタップすると停止／再生します。

▣お知らせ

- 本端末を横向きにすると、動画が全画面で横向きに表示されます。
- 本端末で利用できる機能はパソコン版のYouTubeと異なる場合があります。

動画を投稿する

本端末からYouTubeに動画を投稿できます。

- 動画を投稿するには、Google アカウントまたは YouTube アカウントでYouTubeにログインする必要があります。

1 **画面左のアカウント名をタップ**

- 動画の一覧画面が表示されている場合は、左上の「YouTube」アイコンをタップ→アカウント名をタップします。

2 **「アップロード動画」→→動画の選択アプリケーションをタップ**

3 **投稿する動画をタップ**

- YouTubeユーザー名の作成画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

4 **必要な項目を入力／設定→「アップロード」**

アップロードを開始します。

GPS／ナビ

GPSのご利用にあたって

- GPS システムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用 GPS としては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPS は、米国国防総省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

位置情報を有効にする

位置情報を利用するアプリケーションを使用するには、GPS機能を利用するか、またはWi-Fi／モバイルネットワークを利用して、位置情報を検出できるように設定します。両方の利用を有効にしておくと、より正確な位置情報を検出できます。

1 ホーム画面で[メニュー]→「本体設定」→「すべて」

2 「位置情報サービス」

3 各項目を設定する

項目	説明
GPS機能	GPS衛星からの電波を利用して位置情報を検出します。 • 本機能を利用すると電池の消費が早くなります。電池の消費を節約する場合は、チェックを外してください。
Wi-Fiとモバイルネットワークの位置情報	Wi-Fi／モバイルネットワークなどのデータを利用して位置情報を検出します。
GPS LED通知	GPS機能使用中にLEDが点滅するかどうかを設定します。

項目	説明
GPS通知音	GPS機能使用中に警告音が鳴るかどうか設定します。
位置情報使用履歴	位置情報の検出履歴を保存するかどうかを設定します。

Googleマップを利用する

Googleマップを利用して、現在地の位置情報を確認したり、場所を検索したりできます。

また、Googleマップを利用して、次のアプリケーションを使用できます。

- Google Latitude（P.146）
- Googleマップナビ（P.146）
- Google+ローカル（P.147）

▣お知らせ

- Googleマップを利用するには、LTE／3G／GPRSネットワークまたはWi-Fiでの接続が必要です。
- 地域によっては、一部の機能が利用できない可能性があります。

1 **ホーム画面で→「マップ」**

マップ画面が表示されます。

- 初回の起動時に「現在地機能の精度を改善」画面が表示された場合は、「設定」をタップ→画面の指示に従って位置情報の利用許可の操作を行ってください。
- アイコン／項目をタップすると、次の操作ができます。

アイコン／項目	説明
マップ	Google+ローカルやGoogleマップナビ、マイプレイスやロケーション履歴の確認などの操作ができます。
	文字列を入力して地図上を検索します。
	目的地までの経路を表示します（P.145）。
	Google+ローカルを利用します（P.147）。
	レイヤ機能を利用します（P.145）。
	現在地表示に切り替えます。
／	現在地表示中に、北方向を上／自分の向いている方角を上にして表示します。

▣お知らせ

- マップ画面で、タッチパネルを使って次の操作ができます。
  - スライド：地図をスクロールして他のエリアを表示
  - ロングタッチ：住所をふきだしで表示
  - ピンチイン／ピンチアウト：地図を縮小表示／拡大表示
  - ダブルタップ：地図を拡大表示
  - 2本指で同時にタップ：地図を縮小表示
  - 2本指で下方向にドラッグ：地図を傾けて3D表示
  - 2本の指で画面を回転させるようにドラッグ：地図を回転表示
- 地図をロングタッチして表示されるふきだしをタップすると情報画面が表示され、詳細情報の確認やスター付きの場所への登録などの操作ができます。

ストリートビューを見る

1 **マップ画面で場所をロングタッチ→ふきだしをタップ→**

- お知らせ画面が表示された場合は「OK」をタップします。
- 地域によってはストリートビューに対応していない場合があります。

レイヤ機能を利用する

地図表示に道路の渋滞情報などを追加したり、航空写真表示に切り替えたりできます。

1 **マップ画面で**

2 **項目をタップ**

- 利用状況やエリアによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
交通状況	リアルタイムの渋滞状況を確認できます。
航空写真	航空写真表示に切り替えます。
地形	地形表示に切り替えます。
路線図	地図上に路線図を表示します。
Latitude	Google Latitudeに参加します。
マイマップ	マイマップ（自分で作成した地図）を表示します。
ウィキペディア	地図上にWikipediaの情報アイコン（W）を表示します。

▣お知らせ

- 航空写真表示は、リアルタイムの画像ではありません。
- エリアによっては、交通状況や路線図などの情報を利用できない場合があります。

経路を調べる

出発地と目的地を設定して、経路を確認できます。

1 **マップ画面で**

2 **「現在地」に出発地を入力**

3 **「目的地」に目的地を入力**

- →「出発地と目的地を入れ替える」をタップすると、出発地と目的地を入れ替えできます。
- をタップすると連絡先や地図上の場所、マイプレイスから設定できます。

4 **交通手段（／／）をタップ→「経路を検索」**

経路が表示されます。

マップ画面のメニュー

マップ画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
地図をクリア	地図を初期表示に戻します。
オフラインで使用する	特定のエリアの地図をダウンロードして利用できます。
設定	Googleアカウントへのログインや切り替え、キャッシュ設定や各種情報の確認などができます。
ヘルプ	ヘルプを表示します。

Google Latitudeを利用する

友人がいる場所を地図上で確認したり、Bluetoothやメールなどを使って位置情報を共有できます。また、友人がいる場所への経路検索などもできます。

- Google Latitudeを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、Latitudeの初回起動時に画面の指示に従って設定してください。
- 位置情報は自動的に共有されません。位置情報を共有するには、Latitudeに参加して位置情報を共有する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

1 マップ画面で「マップ」→「Latitudeに参加」

Latitude画面が表示されます。

- ご利用のアカウントによっては「Latitude」と表示される場合があります。

2 「地図表示」

■お知らせ

- Latitudeの詳細については、Latitude画面で☰→「ヘルプ」をタップして、ヘルプをご確認ください。

Googleマップナビを利用する

ナビゲーション機能を利用して、目的地までの経路を確認できます。

1 ホーム画面で▦→「ナビ」

- 初回利用時はメッセージが表示されます。内容を確認→「同意する」をタップしてください。
- 位置情報の設定についての確認画面が表示された場合は、「OK」をタップしたあと、位置情報の検出を有効にしてください（P.143）。

2 🚗／🚶→「車」／「徒歩」

3 「目的地をキーボードで入力」→目的地を入力→表示された候補地から目的地をタップ

経路が表示されます。

- 「目的地を音声入力」をタップして、音声で入力することもできます。
- 画面を左右にスワイプして、スター付きの場所や連絡先に登録されている住所で検索したりすることもできます。

■お知らせ

- Googleマップナビの詳細については、ナビゲーション画面で☰→「ヘルプ」をタップして、ヘルプをご確認ください。

Google+ローカルを利用する

レストランやホテルなど現在地の周辺情報を調べることができます。

1 ホーム画面で → 「ローカル」

カテゴリ一覧画面が表示されます。

- マップ画面で をタップしても表示されます。

2 カテゴリをタップ

選択したカテゴリで検索された情報が一覧表示されます。

3 確認する情報をタップ

詳細情報が表示されます。詳細情報の確認や共有、スター付きの場所への登録などの操作ができます。

▣お知らせ

- カテゴリ一覧画面で をタップするとキーワードで検索できます。
- カテゴリを追加するには、カテゴリ一覧画面で → 「検索を追加」→追加するカテゴリをタップします。入力欄に新しいカテゴリ名を入力することもできます。
- 情報の一覧画面で「地図表示」をタップすると、地図上に情報を表示します。

時計

アラームや世界時計を設定したり、ストップウォッチやタイマーを利用したりすることができます。

1 ホーム画面で → 「時計」

2 画面上部のタブをタップ

各機能の画面に切り替わります。

アラームを利用する

1 アラーム一覧画面で ＋

2 必要な項目を設定

項目	説明
アラーム	時刻を設定します。
繰り返し	繰り返しの設定をします。
アラーム音	アラーム音を設定します。
音量	アラーム音の音量を設定します。
バイブレーション	バイブレーションのON／OFFを設定します。
自動電源オン／オフ	アラームの設定時刻になったときの本端末の動作を設定します（P.148）。

3 「完了」

アラーム一覧画面に、設定したアラームが追加されます。
ステータスバーに が表示されます。

▣お知らせ

- アラームのON／OFFを切り替えるには、アラーム一覧画面で各アラームの［○］／［I］をタップします。
- アラームの設定を変更するには、アラーム一覧画面で変更するアラームをタップ→設定を変更→「完了」をタップします。
- アラームを削除するには、アラーム一覧画面で［⋮］→「削除」→削除するアラームにチェックを付ける→「削除」→「OK」をタップします。
- アラーム一覧画面で［⋮］→「設定」をタップすると、マナーモード中のアラームの動作や自動的にアラームを再動作させるスヌーズの間隔や回数、アラーム鳴動中に音量上／下キーを押した場合の動作が設定できます。
  「マナーモード中のアラーム」のチェックを外すと、マナーモード中にアラーム音が鳴らなくなります。

アラーム設定時刻の動作

設定した時刻になるとアラームが動作し、アラーム画面が表示されます。
アラーム画面には設定されている間隔に応じたスヌーズボタンが表示され、タップするとアラームを停止し、設定された間隔が過ぎると再度アラームが動作します。
「解除」を右にスライドすると、アラームの設定は解除されます。
なお、アラーム起動後、一定時間が経過すると自動的にアラームは終了します。

▣お知らせ

- 「自動電源オン」に設定したアラームの場合、本端末の電源が切れていても、アラーム設定時刻になると機内モードが設定された状態で自動的に電源が入り、アラームが動作します。
  アラームの解除後または終了後、機内モードは解除されます。
  また、本端末の電源が切れた状態から起動したアラーム画面でスヌーズボタンをタップすると電源が切れ、設定されているスヌーズ間隔が過ぎると再び自動的に電源が入り、アラームが動作します。
- 「自動電源オフ」に設定したアラームの場合、動作が終了すると自動的に電源が切れます。ただしアラーム動作中に解除した場合は、電源は入ったままの状態になります。

世界時計を利用する

1 世界の時刻画面で［＋］

2 登録する都市名をタップ

世界の時刻画面に都市が追加されます。

- 都市の追加画面で、都市名を入力して検索することもできます。

▣お知らせ

- 世界時計を変更するには、世界の時刻画面で都市名をタップ→新しい都市名をタップします。
- 世界時計を並べ替えるには、世界の時刻画面で［⋮］→「再配置」→都市名の横にある［≡］をドラッグして表示位置を変更する→「再配置」をタップします。
- 世界時計を削除するには、世界の時刻画面で［⋮］→「削除」→削除する都市名にチェックを付ける→「削除（X）」（Xは削除する数）→「OK」をタップします。

ストップウォッチを利用する

1 ストップウォッチ画面で「開始」

計測が開始されます。

- ラップタイムを計測するには「ラップ」をタップします。

2 計測を止めるには「停止」

- 計測を再開するには「開始」、計測をリセットするには「リセット」をタップします。

タイマーを利用する

1 タイマー画面で、ダイヤルをドラッグして時間を設定する

- 「1min」／「3min」／「5min」をタップすると、1分／3分／5分の設定ができます。
- アラーム音を変更するには🔔をタップします。

2 「開始」

- タイマーを一時停止するには「一時停止」、リセットするには「リセット」をタップします。

3 アラーム音が鳴ったら「停止」

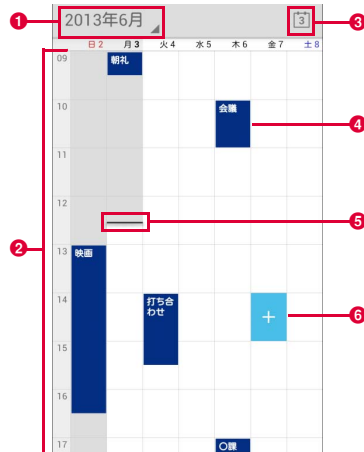
カレンダー

カレンダーを利用してスケジュール管理ができます。また、本端末のカレンダーをウェブ上のGoogleカレンダーなどと同期させることができます。

カレンダーを利用する

ここでは、「カレンダー」アプリケーションからカレンダーを利用するときの操作を説明します。

カレンダーを表示する

1 ホーム画面で→「カレンダー」

カレンダー画面（週表示）

❶ **表示切替アイコン**

タップすると、日表示／週表示／月表示／予定リストに切り替えられます。

❷ **カレンダー**

日表示／週表示／月表示の場合に表示されます。

- 日表示／週表示の場合は、現在の日時を過ぎたエリアは背景がグレーで表示されます。
- 月表示の場合は、当月の背景がグレーで、当日の背景が白色で表示されます。
- 予定リストの場合は、一定期間内の予定がリスト表示されます。表示される期間を変更するには、画面を上下にスクロールして「タップしてXXXX/XX/XXより前（後）の予定を表示」をタップします。タップするごとに期間が長くなります。

❸ **当日アイコン**

タップすると、当日を含む表示に切り替わります。

❹ **予定**

登録した予定が表示されます。

❺ **現在日時表示**

現在の日時を示します。

- 日表示／週表示の場合は、現在日時の位置に表示されます。
- 予定リストの場合は、当日以前の予定と、当日以後の予定の間に表示されます。当日以前の予定の背景はグレーで表示されます。

❻ **予定作成アイコン**

週表示の場合に、カレンダーをタップすると表示されます。

- 日表示の場合は、カレンダーをタップすると「新しい予定を追加」と表示されます。

カレンダー画面のメニュー

カレンダー画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 利用状況によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
予定を作成	予定を作成します（P.150）。
更新	予定の同期を手動で行います。
検索	予定を検索します。
表示するカレンダー	予定の同期／表示を設定します。
設定	カレンダーの設定を変更します（P.152）。

カレンダーの予定を作成する

1 **カレンダー画面（週表示）で予定を登録するエリアをタップ→＋**

予定作成画面が表示されます。

■ **カレンダー画面（日表示）で作成する場合**

① 予定を登録するエリアをタップ→「新しい予定を追加」

■ **カレンダー画面（月表示）で作成する場合**

① 予定を登録する日をタップ→予定を登録するエリアをタップ→「新しい予定を追加」

2 必要な項目を設定

- 画面上部のアカウント表示をタップすると、アカウントを切り替えることができます。
- アカウントによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
タイトル	予定のタイトルを入力します。
場所	予定の場所を入力します。
開始	予定の開始日時を設定します。
終了	予定の終了日時を設定します。
終日	終日の予定にするかどうかを設定します。
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
ゲスト	入力したアドレスにスケジュール情報が送信されます。
説明	予定の説明を入力します。
繰り返し	予定を定期的に繰り返すかどうかを設定します。
通知	予定の通知（P.152）を設定します。 • 「通知を追加」をタップすると、通知の設定を追加できます。
外部向け表示	外部向け表示を「予定あり」／「予定なし」から選択します。
公開設定	予定の公開方法を設定します。

3 「完了」

予定を確認／編集／削除する

1 カレンダー画面で予定をタップ

予定詳細画面が表示されます。

■ 予定を編集する場合

①

- 繰り返しを設定している予定の場合は、「この予定のみを変更する」／「一連の定期的な予定すべてを変更する」／「これ以降の予定すべてを変更する」をタップします。

② 予定を編集→「完了」

■ 予定を削除する場合

①

- 繰り返しを設定している予定の場合は、「この日の予定のみ」／「これ以降の予定」／「すべての予定」をタップします。

② 「OK」

予定の通知を確認／スヌーズ／消去する

予定の通知を設定した場合、設定した時刻になると、ステータスバーにが表示されます。

1 通知パネルを開く

2 確認／消去する通知をタップ

カレンダーの通知画面が表示されます。

- 通知パネルで「スヌーズ」をタップするとすべての通知がスヌーズされ、5分後に再度通知します。

3 通知を確認／消去

- 通知時間をタップすると、通知時間を変更できます。「通知を追加」をタップすると、通知を追加できます。
- 通知時間の横にある×をタップすると、通知を消去できます。

▣お知らせ

- 「ポップアップ通知」（P.152）にチェックを付けた場合は、通知日時になるとカレンダーの通知画面が表示され、通知を確認／スヌーズ／消去できます。

予定の同期／表示を設定する

本端末のカレンダーの予定とウェブ上のGoogleカレンダーなどの予定を同期／表示します。

1 カレンダー画面で☰→「設定」→設定するアカウントをタップ

2 アカウントにチェックを付ける／チェックを外す

カレンダーの設定を変更する

1 カレンダー画面で☰→「設定」→「全般設定」

2 項目を設定

項目	説明
辞退した予定を非表示	招待を辞退した予定をカレンダーに表示するかどうかを設定します。
第何週かを表示	カレンダー画面（月表示）の左側に、第何週かを表示するように設定します。
週の開始日	週の開始日として表示する曜日を設定します。
自宅タイムゾーン	タイムゾーンの異なる地域へ移動している間も、設定した自宅タイムゾーンのままで表示します。 • チェックを付けると自宅のタイムゾーンを変更できます。
検索履歴を消去	予定の検索履歴を消去します。
通知	予定の通知を行うかどうかを設定します。
着信音の選択	予定通知時の通知音を設定します。
バイブレーション	予定通知時のバイブレーション動作を設定します。
ポップアップ通知	予定の通知日時になると、カレンダーの通知画面を表示するかどうかを設定します。
デフォルトの通知時間	予定の通知時間の初期値を設定します。
クイック返信	ゲストのアドレスに送信する定型文を設定します。

メモ

テキストを入力して、メモとして保存できます。

メモを作成する

1 ホーム画面で → 「メモ」

メモ一覧画面が表示されます。

2 「新規作成」→テキストを入力

必要に応じて、ToDoや日時、アラームの設定や画像添付などの操作を行います。

3 「保存」

メモを編集／削除する

1 メモ一覧画面で編集／削除するメモをロングタッチ

2 項目を設定

項目	説明
編集	メモを編集します。
1件削除	メモを削除します。
優先表示	メモを一覧画面の最上段に表示します。
赤外線アプリで送る	メモを赤外線通信で送信します。
SDカードへ1件保存	メモをmicroSDカードに保存します。

電卓

四則演算（+、−、×、÷）や関数計算などができます。

1 ホーム画面で → 「電卓」

電卓画面が表示されます。

- キー部分を左／右にスワイプすると、関数機能／標準機能を切り替えられます。

2 キーをタップして計算

▣お知らせ

- 電卓画面で → 「関数機能」／「標準機能」をタップしても、電卓画面を切り替えられます。
- 本端末を横向きにすると、電卓画面が横画面で表示されます。縦画面と横画面とで利用できるキーは異なります。
- 電卓画面で計算結果の数字をロングタッチして、数字のカット／コピー／ペーストができます。電卓の表示欄や他のアプリケーションに貼り付けて利用できます。

ドコモバックアップ

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、spモードメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができます。

- バックアップまたは復元中に本端末の電池パック、microSDカードを取り外さないでください。端末内のデータが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳を microSD カードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- バックアップや復元を行うときには、ドコモアプリパスワードが必要です(P.98)。
- 本端末のメモリ構成上、microSDカードを取り付けていない場合、静止画・動画などのデータは本端末に保存されます。本アプリケーションでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

バックアップする

電話帳、spモードメール、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

1. **ホーム画面で→「ドコモバックアップ」**
2. **「microSDカードへ保存」**
   初めて起動したときは利用許諾契約書が表示されますので、内容を確認→「同意する」をタップします。
3. **「バックアップ」→バックアップするデータにチェックを付ける**
4. **「バックアップ開始」→「OK」**
5. **ドコモアプリパスワードを入力→「OK」**
   選択したデータがmicroSDカードに保存されます。

バックアップファイルを本端末に復元する

バックアップしたデータを本端末に復元します。

1. **ホーム画面で→「ドコモバックアップ」**
2. **「microSDカードへ保存」**
3. **「復元」→復元するデータ種別の「選択」**
4. **復元するデータにチェックを付ける→「選択」**

5 「追加」／「上書き」の◯をタップして◉にする→「復元開始」→「OK」

6 ドコモアプリパスワードを入力→「OK」

選択したデータが本端末に復元されます。

Googleアカウントに登録されている電話帳をdocomoアカウントにコピーする

1 ホーム画面で→「ドコモバックアップ」

2 「microSDカードへ保存」

3 「電話帳アカウントコピー」→コピーしたいGoogleアカウントの電話帳の「選択」→「上書き」／「追加」

コピーした電話帳データがdocomoアカウントに保存されます。

4 「OK」

スケジュールを設定して自動的にバックアップする

1 ホーム画面で→「ドコモバックアップ」

2 「microSDカードへ保存」

3 「定期バックアップ設定」→「スケジュール追加」→「スケジュールをONにする」にチェックを付ける

4 「選択」→バックアップするデータにチェックを付ける→「選択」

5 繰り返し種別を選択→実行時間を設定

6 「決定」→「設定」→ドコモアプリパスワードを入力→「OK」

SDカードバックアップのメニュー

SDカードバックアップの画面でをタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
ヘルプ	ヘルプを表示します。
アプリ情報	アプリ情報を表示します。
アプリ終了	ドコモバックアップアプリを終了します。

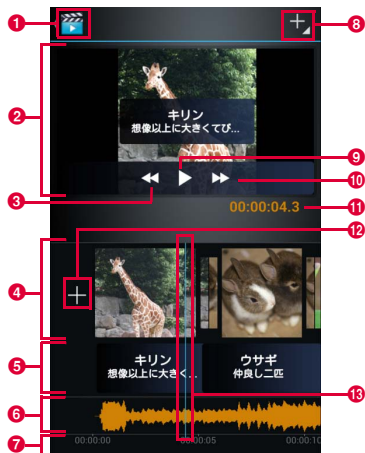
ムービースタジオ

本端末やmicroSDカードなどに保存されているファイルを利用して、オリジナルの映画（動画）を作成できます。

1 **ホーム画面で▦→「ムービースタジオ」**

プロジェクト一覧画面が表示されます。

2 **「新しいプロジェクト」**

3 **プロジェクト名を入力→「OK」**

プロジェクト作成画面

❶ **ムービースタジオアイコン**
プロジェクト一覧画面に戻ります。

❷ **プレビューエリア**
編集中のプロジェクトが表示されます。

❸ **巻き戻しアイコン**
再生中にタップすると、プロジェクトを巻き戻します。

❹ **映画（動画）編集エリア※**
追加した動画ファイル／画像ファイル、切り替え効果（トランジション）が表示され、編集操作ができます。

❺ **タイトル編集エリア※**
追加したタイトルが表示され、編集操作ができます。

❻ **音楽編集エリア※**
動画／画像ファイルを追加すると▦が表示され、タップすると音楽ファイルを追加できます。

❼ **時間表示**
プロジェクトの先頭からの時間を表示します。

❽ **操作アイコン**
メニューが表示され、ファイルの追加操作などができます。

❾ **再生アイコン**
編集中のプロジェクトを再生して確認できます。

❿ **早送りアイコン**
再生中にタップすると、プロジェクトを早送りします。

⓫ **編集ポイントの再生時間**
編集ポイントの位置までの再生時間が表示されます。

⓬ **動画ファイル追加アイコン**
本端末やmicroSDカードに保存されている動画ファイルを選択して追加できます。

⓭ **編集ポイント**
編集したい動画ファイル／画像ファイルを、この位置まで左右にドラッグして移動します。

※ 各エリアを2本の指で左右にピンチアウト／ピンチインすると、時間の縮尺を拡大／縮小できます。

4 動画ファイル／画像ファイルを追加

次の操作を繰り返すと、複数のファイルを選択できます。

■ 保存済みの動画／画像ファイルを追加する場合

① →「動画クリップをインポート」／「画像をインポート」→ファイルの閲覧アプリケーションを選択→ファイルを選択

■ 動画や画像を撮影して追加する場合

① →「動画を撮影」／「写真を撮影」
② 動画／画像を撮影→「OK」

5 プロジェクトの編集を行う

■ 音楽ファイルを追加する場合

① 音楽編集エリアの→アプリケーションをタップ
② 音楽ファイルをタップ→「OK」
③ 音楽編集エリアの音楽ファイルをタップ→を左／右にドラッグして音量を設定→

■ タイトルを追加する場合

① 映画（動画）編集エリアのファイルをタップ
② →「タイトルを追加」
③「テンプレートを変更」→使用するタイトルテンプレートをタップ
④ タイトルを入力→必要に応じてサブタイトルを入力→「OK」→
- タイトル編集エリアにタイトルが表示されます。
- 文字数が多いタイトルは、すべて表示されない場合があります。

⑤ タイトルをタップ→タイトルを表示する時間までをドラッグ→
- タイトルをロングタッチ→が表示されたら左／右にドラッグすると、表示位置を移動できます。ただし異なるファイルをまたがってタイトルを移動することはできません。
- でタイトル編集、で削除ができます。

■ 表示効果を編集する場合

① 映画（動画）編集エリアのファイルをタップ
② →「グラデーション」「セピア」「白黒反転」から使用する効果をタップ→

■ 追加したファイルを削除する場合

① 削除するファイルをタップ→→「削除」→「はい」

■ 動画／画像の切り替え効果（トランジション）を編集する場合

① 映画（動画）編集エリアでファイルをタップ
② またはFX→「クリップへのトランジション」／「クリップからのトランジション」→時間を選択→種類を選択

6 ／

プロジェクトが保存され、プロジェクト一覧画面に戻ります。

■ プロジェクトを映画（動画）ファイルとして保存する場合

① →「映画をエクスポート」
②「映画サイズ」や「映画の画質」を設定
- 使用している動画ファイルによっては、設定できない項目があります。

③「エクスポート」

▣お知らせ

- 他のアプリケーションで映画（動画）を再生するには、プロジェクトをエクスポートしてください。
- 作成したプロジェクトを編集するには、プロジェクト一覧画面で編集するプロジェクトをタップします。
- プロジェクトを削除するには、プロジェクト一覧画面でプロジェクトをロングタッチ→「プロジェクトを削除」→「はい」をタップするか、プロジェクト作成画面で→「プロジェクトを削除」→「はい」をタップします。

Polaris Office

Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPointなどのドキュメントを表示／編集したり、Adobe PDFを表示したりできます。

- ドキュメントの種類やバージョンによっては、パソコンなどで表示した内容と異なる場合や、正しく表示されない場合、新規作成できない場合があります。

ドキュメントを表示／編集する

1 **ホーム画面で→「Polaris Office」**

Polaris Office画面が表示されます。

2 **ドキュメントの保存フォルダをタップ→ドキュメントをタップ**

ドキュメントが表示されます。

- をタップするとドキュメントの拡大／縮小や編集、検索、送信などの操作が行えます。

ドキュメントを新規作成する

1 **ホーム画面で→「Polaris Office」**

2 **→「新規」→ドキュメントの種類をタップ**

3 **ドキュメントを入力→→「保存」**

4 **ファイル名を入力→保存場所を選択→「保存」**

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

■ 対応ネットワークについて

本端末は、クラス4になります。3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。

海外ではXiエリア外のため、3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークをご利用ください。

■ 海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。

- 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
- ドコモの『国際サービスホームページ』

▣お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

海外で利用できるサービス

主な通信サービス	3G	3G850	GSM (GPRS)
電話	○	○	○
メッセージ（SMS）	○	○	○
メール※	○	○	○
ブラウザ※	○	○	○

※ ローミング時にデータ通信を利用するには、モバイルネットワーク設定の「データローミング」にチェックを付けてください（P.162）。

▣お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

ご利用時の確認

出発前の確認

海外でご利用いただく際は、日本国内で次の確認をしてください。

ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

充電について

- 海外旅行で充電する際のACアダプタは、別売の「ACアダプタ 03」または「ACアダプタ 04」をご利用ください。

料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。
- ご利用のアプリケーションによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリケーションの動作については、お客様ご自身でアプリケーション提供元にご確認ください。

事前設定

ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

接続について

「通信事業者」の設定で利用可能なネットワークを「自動的に選択」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

定額サービス適用対象国・地域の通信事業者をご利用の場合、海外でのパケット通信料が一日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。

なお、ご利用には国内のパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

ディスプレイの表示について

ステータスバーには利用中のネットワークの種類が表示されます。

：ローミング中

- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

日付と時刻について

「日付と時刻の自動設定」、「タイムゾーンを自動設定」にチェックを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」（P.106）。

お問い合わせについて

- 本端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

海外で利用するための設定を行う

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

ネットワークモードを設定する

1 **ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」**

2 **「モバイルネットワーク」→「ネットワークモード」**

3 **利用するネットワークモードをタップする**

- LTE／3G／GSM（自動）：利用できるネットワークモードを自動的に選択します。
- LTE／3G：3Gネットワークを利用します（海外ではLTEは利用できません）。
- GSM：GSM／GPRSネットワークを利用します。

▣お知らせ

- お買い上げ時は、「LTE／3G／GSM（自動）」に設定されています。
- 「LTE／3G／GSM（自動）」に設定している場合、同じ通信事業者のGSM／GPRSネットワークと3Gネットワークを同時に検出すると、3Gネットワークに優先的に接続します。

接続する通信事業者を設定する

本端末はお買い上げ時、自動的に滞在地域の適切な通信事業者（ネットワーク）に接続するように設定されています。手動で任意の通信事業者と接続する場合は、次の設定を行います。

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」

2 「モバイルネットワーク」→「通信事業者」

利用可能なネットワークが検索され、通信事業者名が一覧表示されます。

- ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、「データ通信を有効にする」のチェックを外して再度実行してください（P.84）。

3 接続する通信事業者名をタップ

■ 自動的に適切な通信事業者に接続する場合

①「自動的に選択」

■ 滞在地域で利用可能なすべてのネットワークを検索する場合

①「ネットワークを検索」→接続する通信事業者名をタップ

データローミングを有効にする

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」

2 「モバイルネットワーク」

3 「データローミング」→注意事項を確認→「OK」

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国から日本や滞在国以外に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

1 ホーム画面で📞→「ダイヤル」

2 「+」（「0」をロングタッチ）-「国番号」-「地域番号（市内局番）」-「相手先電話番号」を入力

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いて入力してください。例えば、日本（国番号81）の携帯電話（080-XXXX-XXXX）に電話をかける場合は、+81-80-XXXX-XXXXを入力します。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内／国外にかかわらず「+」と「81」（日本の国番号）を入力してください。
- 「国際ダイヤルアシスト」の「自動変換機能」（P.164）にチェックが付いている場合は、「国番号」で設定した番号を入力せずに電話をかけることができます。

3 📞

相手が応答すると通話中画面が表示されます。

4 通話が終了したら「終了」

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかけるときと同様の操作で電話をかけることができます。

1 ホーム画面で📞→「ダイヤル」

2 地域番号（市外局番）を含む電話番号を入力

- 電話をかける相手が「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも日本への国際電話と同じく、電話番号の先頭に「+」と「81」（日本の国番号）を入力し、相手の携帯電話番号の先頭の「0」は入力しないでください。

3 📞

相手が応答すると通話中画面が表示されます。

4 通話が終了したら「終了」

滞在先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

▣お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの着信転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかた

■ 日本から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に、電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

■ 日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず、国際アクセス番号および「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際アクセス番号-81-90（または80）-XXXX-XXXX

国際ローミング時の設定を行う

- 海外の通信事業者によっては、設定できない場合があります。

1 ホーム画面で

2 →「通話設定」→「海外設定」

項目	説明
ローミング時着信規制	国際ローミング中の着信を規制します。
ローミング着信通知	国際ローミング中に不在着信があった場合に、着信の情報をSMSで通知します。
ローミングガイダンス	国際ローミング中に着信した場合、相手に国際ローミング中であることを通知するガイダンスを流します。
国際ダイヤルアシスト	「自動変換機能」にチェックを付けると、国際電話の発信時に国番号や国際プレフィックスを付加することができます。国番号と国際プレフィックスの追加、編集、削除もできます。

項目		説明
ネットワークサービス	遠隔操作（有料）	海外から留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。 • あらかじめ「遠隔操作設定」を開始にしておく必要があります。 • 海外から操作した場合は、利用した国の日本向け通話料がかかります。
	番号通知お願いサービス（有料）	
	ローミング着信通知（有料）	
	ローミングガイダンス（有料）	
	留守番電話サービス（有料）	
	転送でんわサービス（有料）	

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「ネットワークモード」を「LTE／3G／GSM（自動）」に設定してください（P.161）。
- 「通信事業者」の設定で利用可能なネットワークを「自動的に選択」に設定してください（P.162）。

オプション品・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によっては、お取り扱いしていない商品もあります。詳細は、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプション品の詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック HW05
- リアカバー HW06
- ACアダプタ 03／04
- DCアダプタ 03
- microUSB接続ケーブル 01
- ポケットチャージャー 01／02
- キャリングケース 02
- 海外用AC変換プラグCタイプ 01
- ワイヤレスイヤホンセット 03
- HDMI変換ケーブル SC01／L01
- L-03E※
- ドライブネットクレイドル 01

※ 本端末への給電を行うチャージャー機能の対応となります。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（P.176）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症状	チェックする箇所
本端末の電源が入らない	• 電池パックが正しく取り付けられていますか（P.27）。 • 電池切れになっていませんか（P.30）。
画面が動かない、電源が切れない	• 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなった場合は、を10秒以上押して強制的に再起動させることができます。 ※ 強制的に電源を切る操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

症状	チェックする箇所
充電ができない（通知LEDが点灯しない、ステータスバーに充電中を示すアイコンが表示されない）	• 電池パックが正しく取り付けられていますか（P.27）。 • アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか（P.30）。 • アダプタと本端末が正しくセットされていますか（P.30）。 • ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのmicroUSBプラグが本端末にしっかりと接続されていますか（P.30）。 • 本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で接続している場合（P.115）、パソコンの電源は入っていますか。 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電が完了できない場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作

症状	チェックする箇所
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また充電しながらアプリケーションなどを長時間使用した場合などには、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。
ドコモminiUIMカードが認識されない	• ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか（P.25）。
タッチパネル／タッチキーをタップしたとき、またはキーを押したときに動作しない	• スリープモードになっていませんか。を押してスリープモードを解除してください（P.31）。
タッチパネル／タッチキーをタップしたとき、またはキーを押したときの画面の反応が遅い	• 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやり取りしているときなどに起きる場合があります。
時計がずれる	• 長い間、電源を入れた状態にしていると、時計がずれる場合があります。「日付と時刻の自動設定」（P.106）にチェックが付いていることを確認して、電波のよい場所で電源を入れ直してください。

症状	チェックする箇所
端末動作が不安定	• ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションが原因の可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 - セーフモードの起動方法 1. 設定メニューの「高速ブート」（P.108）の をタップして にしたあと、本端末の電源を切る 2. 電源を切った状態で を2秒以上押し、「HUAWEI Ascend」ロゴが表示されたら、本端末が1回振動するまで （音量下キー）を押し続ける ※ セーフモードが起動するとホーム画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにして、起動し直してください。 - 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 - お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 - セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了させてからご利用ください。 • 開発者向けオプションは開発専用に設計されているため、設定すると端末や端末上のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。
電源断・再起動が発生する	• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
アプリケーションが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）	• 無効化されているアプリケーションはありませんか。無効化されているアプリケーションを有効にしてから再度お試しください（P.97）。

■ 通話

症状	チェックする箇所
をタップしても電話が発信できない	• ドコモminiUIMカードが正しく取り付けられていますか（P.25）。 • 機内モードを設定していませんか（P.85）。
着信音が鳴らない	• 「着信音、通知音」の音量バーのスライダーが左端に寄っていませんか（P.93）。 • 機内モード（P.85）、マナーモード（P.93）を設定していませんか。 • 登録外着信拒否を設定していませんか（P.67）。 • 留守番電話サービスの呼出時間設定（P.66）、または転送でんわサービスの呼出時間（P.66）を0秒に設定していませんか。

症状	チェックする箇所
通話ができない（場所を移動しても圏外の表示が消えない、電波の状態は悪くないが発信／着信ができない）	• 電源を入れ直してください（P.31）。 • 電池パックを取り付け直してください（P.27）。 • ドコモminiUIMカードを取り付け直してください（P.25）。 • 電波の性質により、圏外ではなく、電波レベルのアイコンが4本表示されている場合でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、または時間をずらしてかけ直してください。

■ 画面

症状	チェックする箇所
ディスプレイが暗い	• 画面の明るさを変更していませんか（P.94）。 • 指やシールなどで照度センサーをふさいでいませんか。 • 省電力モードの設定を確認してください（P.96）。

■ 音声

症状	チェックする箇所
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	• 通話音量を変更していませんか（P.64）。

■ メール

症状	チェックする箇所
メールを自動受信しない	• メールのアカウント設定で「受信トレイの確認頻度」を「自動確認しない」に設定していませんか（P.75）。

■ カメラ

症状	チェックする箇所
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。 • 「手ぶれ補正」をオンにして撮影してください（P.135）。

■ ワンセグ

症状	チェックする箇所
ワンセグの視聴ができない	• 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。 • チャンネル設定をしていますか。

■ おサイフケータイ

症状	チェックする箇所
おサイフケータイが使えない	• 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、おサイフケータイ ロック設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。 • おサイフケータイ ロックを起動していませんか（P.120）。 • 本端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか（P.120）。

■ 海外利用

症状	チェックする箇所
海外で本端末が使えない【電波レベルのアイコンが表示されている場合】	• WORLD WINGのお申し込みをされていますか。WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。
海外で本端末が使えない【圏外が表示されている場合】	• 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』で確認してください。 • ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 「ネットワークモード」を「LTE／3G／GSM（自動）」に設定してください（P.161）。 「通信事業者」を「自動的に選択」に設定してください（P.162）。 • 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。
海外でデータ通信ができない	• 「データローミング」にチェックを付けてください（P.162）。

症状	チェックする箇所
海外で利用中に、突然、本端末が使えなくなった	• 利用停止目安額を超えていませんか。国際ローミングサービス（WORLD WING）のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
海外で電話がかかってこない	•「ローミング時着信規制」を「規制開始」に設定していませんか（P.164）。
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	• 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

症状	チェックする箇所
データ転送が行われない	• USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	• microSDカードを取り付け直してください（P.26）。 • 本端末をパソコンに「USBマスストレージ」モードで接続していませんか（P.116）。接続中は、本端末からmicroSDカードを読み込むことはできません。
画像が表示されない	• 未対応の画像データまたは不具合がある画像データの場合は、サムネイルが表示されなかったり、「？」のアイコンが表示されたりすることがあります。

■ Bluetooth機能

症状	チェックする箇所
Bluetooth機器と接続ができない／検索しても見つからない	• Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください（P.114）。
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	• 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

■ 地図・GPS機能

症状	チェックする箇所
オートGPSサービス情報が設定できない	• 電池残量が少なくなり、オートGPS機能が停止していませんか。「低電力時動作設定」により、オートGPS機能が停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、「低電力時動作設定」を「停止しない」に設定するか、または、充電をすることで設定できるようになります（P.98）。 • オートGPS動作設定がOFFになっていませんか（P.98）。 • オートGPS機能が動作しない状態になっていませんか（P.98）。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法
携帯電話がUSIMネットワークロックされています	• 他事業者のSIMカードが挿入された場合に表示されます。
しばらくお待ちください（パケット）．データサービスがブロックされています。	• 回線へのアクセス集中などの原因により、データ通信サービスを利用しにくい場合に表示されます。
しばらくお待ちください. データサービスがブロックされています。	
しばらくお待ちください. 緊急サービスがブロックされています。	• 回線へのアクセス集中などの原因により、緊急通話音声サービスを利用しにくい場合に表示されます。
しばらくお待ちください. 音声サービスがブロックされています。	• 回線へのアクセス集中などの原因により、通常通話音声サービスを利用しにくい場合に表示されます。
しばらくお待ちください. すべての音声サービスがブロックされています。	• 回線へのアクセス集中などの原因により、通常／緊急通話音声サービスを利用しにくい場合に表示されます。

スマートフォンあんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモminiUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 **スマートフォン遠隔サポートセンター**
0120-783-360
受付時間：午前9：00～午後8：00（年中無休）
へ電話する

2 **ホーム画面で → 「遠隔サポート」**

- はじめてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

3 **ドコモからご案内する接続番号を入力する**

4 **接続後、遠隔サポートを開始する**

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、電話帳データをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※ 本端末はケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要なサービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」（P.167）をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります。）
  ※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、裏表紙の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る。
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す。
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど。
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、マイク、受話口
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について

HW-03Eのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページにてご案内いたします。
更新方法は、次の３種類があります。

- 自動更新：更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。
- 即時更新：今すぐ更新を行います。
- 予約更新：予約した時刻に自動的に更新をします。

▣お知らせ

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。更新時は充電ケーブルを接続する事をおすすめします。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 通話中
  - 圏外が表示されているとき※
  - 国際ローミング中※
  - 機内モード中※
  - 日付と時刻を正しく設定していないとき
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ソフトウェア更新に必要なメモリ空き容量がないとき

  ※ 圏外、国際ローミング中は、Wi-Fi接続中であっても更新できません。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。
- ソフトウェア更新は電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新が不要な場合は、「更新の必要はありません。このままお使いください」と表示されます。
- 国際ローミング中、もしくは、圏外にいるときには、「ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であっても書換え処理を開始できません」と表示されます。Wi-Fi接続中も同様です。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のHW-03E固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

ソフトウェアの自動更新

更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

ソフトウェアの自動更新設定

お買い上げ時は、自動更新の設定が「自動で更新を行う」に設定されています。

1 **ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」→「ソフトウェア更新」→「ソフトウェア更新設定の変更」**

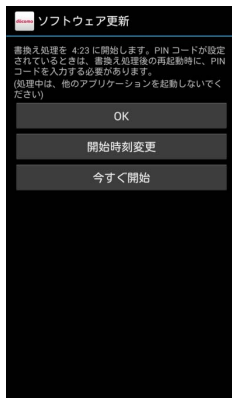
2 **「自動で更新を行う」／「自動で更新を行わない」**

ソフトウェア更新が必要になると

更新ファイルが自動でダウンロードされると、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が通知されます。

- （ソフトウェア更新有）が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、（ソフトウェア更新有）は消えます。

1 **通知パネルを開く→「ソフトウェア更新有」**

書き換え時刻をお知らせする予告画面が表示されます。

2 目的の操作を行う

- 「OK」：設定時刻になると更新を開始します。
- 「開始時刻変更」：予約更新（P.179）。
- 「今すぐ開始」：即時更新（P.178）。

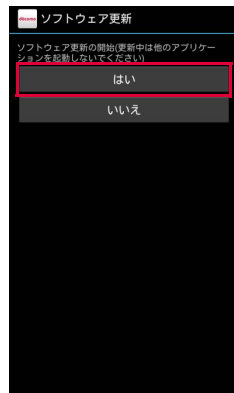
▣お知らせ

- 更新通知を受信した際に、ソフトウェア更新ができなかった場合には、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が表示されます。
- 書き換え時刻にソフトウェア書き換えが実施できなかった場合、翌日の同じ時刻に再度書き換えを行います。
- 自動更新設定が「自動で更新を行わない」の場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

ソフトウェアの即時更新

すぐにソフトウェア更新を開始します。

- ソフトウェア更新を起動するには、書き換え予告画面から起動する方法とメニューから起動する方法があります。

1 ホーム画面で☰→「本体設定」→「すべて」→「ソフトウェア更新」→「更新を開始する」→「はい」

■ 書き換え予告画面から起動する場合

① 書き換え予告画面を表示→「今すぐ開始」

2 「書き換え処理を開始します」表示後、約10秒後に自動的に書き換え開始

- 「OK」をタップすると、すぐに書き換えを開始します。

- 更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- ソフトウェア更新が完了すると再起動がかかり、ホーム画面が表示されます。

▣お知らせ

- ソフトウェア更新の必要がないときには、「更新の必要はありません。このままお使いください」と表示されます。

ソフトウェア更新終了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、ステータスバーに完了通知が表示されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、更新完了画面が表示されます。

ソフトウェアの予約更新

更新ファイルのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェア書き換えを行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

1 **書き換え予告画面を表示→「開始時刻変更」**

2 **時刻を入力→「設定」**

予約した時刻になると

開始時刻になると書き換え処理画面が表示され、約10秒後に自動的にソフトウェア書き換えが開始されます。

▣お知らせ

- 更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 開始時刻にソフトウェア更新が開始できなかった場合には、翌日の同じ時刻にソフトウェア更新を行います。
- OS バージョンアップ中の場合、予約時刻になってもソフトウェア更新は行われません。
- 開始時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合でも、ソフトウェア更新は実施されます。
- 開始時刻にHW-03Eの電源がOFFの場合、電源を入れたあと、予約時刻と同じ時刻になったときにソフトウェア更新を行います。

- ソフトウェア更新実施時に、ステータスバーに「ソフトウェア更新を中断しました。本体メモリの空き容量を確認のうえ、再度更新を行ってください」と表示された場合には、本端末の内部ストレージの空き容量を確認したうえで、再度ソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新実行時に、ステータスバーに「ソフトウェア更新を中断しました。端末の状態をご確認のうえ、再度更新を行ってください」と表示された場合は、下記の状態でないことをご確認のうえ、再度更新を行ってください。
  - 圏外である
  - 電池パックが外れている
  - 他の機能を起動している

主な仕様

■ 本体

品名		HW-03E
サイズ		高さ約133mm×幅約67mm× 厚さ約9.9mm（最厚部約10.7mm）
質量		約145g
メモリ	ROM	32Gバイト
	RAM	2Gバイト
連続待受時間	LTE	静止時（自動）※1：約280時間
	FOMA／3G	静止時（自動）※1：約340時間
	GSM	静止時（自動）※1：約350時間
連続通話時間	FOMA／3G	約440分
	GSM	約500分
充電時間		ACアダプタ 04：約130分 ACアダプタ 03：約180分 DCアダプタ 03：約200分
ディスプレイ	方式	TFT 16,777,216色
	サイズ	約4.7inch
	ドット数	横720ドット×縦1280ドット
撮影素子	種類	アウトカメラ：裏面照射型CMOS インカメラ：裏面照射型CMOS
	サイズ	アウトカメラ：1/3.1 inch インカメラ：1/8.3 inch

カメラ	カメラ有効画素数	アウトカメラ：約1310万画素 インカメラ：約100万画素
	記録画素数（最大時）	アウトカメラ：約1310万画素 インカメラ：約100万画素
	デジタルズーム	アウトカメラ：最大約4.0倍 インカメラ：最大約4.0倍
ワンセグ連続視聴時間		約300分
モバキャス連続視聴時間		約200分
無線LAN		IEEE802.11a／b／g／n（2.4GHz／5GHz）準拠
Bluetooth	対応バージョン	Bluetooth標準規格Ver.4.0に準拠※2
	出力	Bluetooth標準規格　Power Class 2
	対応プロファイル※3	HFP（Hands-Free Profile） HSP（Headset Profile） OPP（Object Push Profile） SPP（Serial Port Profile） HID（Human Interface Device Profile） A2DP（Advanced Audio Distribution Profile） AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile） PBAP（Phone Book Access Profile）

※1「モバイルネットワーク」（P.161）で「LTE／3G／GSM（自動）」に設定した場合

※2 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※3 Bluetooth通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やインターネット接続をしなくても、メールやアプリなどの各種機能のご利用頻度が多い場合、通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間とは、端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

■ 電池パック

品名	電池パック　HW05
使用電池	リチウムイオンポリマー電池
電圧	3.8V
容量	2150mAh

■ ファイル形式

本端末で撮影した静止画と動画は、以下のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	jpg
動画	MP4	mp4

■ 静止画の撮影枚数（目安）

解像度	内部ストレージに保存できる撮影枚数※1	microSDカード（1GB）に保存できる撮影枚数※1
0.3メガ（640×480）	最大約360000枚	最大約14000枚

※1 画質設定：ノーマル

■ 動画の撮影時間（目安）

解像度	内部ストレージに保存できる撮影時間※1	microSDカード（1GB）に保存できる撮影時間※1
VGA（640×480）	最大約1500分 （1件あたり最大約120分）	最大約60分 （1件あたり最大約60分）

※1 画質設定：ノーマル

携帯電話機の比吸収率（SAR）などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種HW-03Eの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.491W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
華為技術日本株式会社のホームページ
http://www.huaweidevice.jp/products/hw03e/index.html
本端末の「サポート」ページをご確認ください。URLは予告なく変更される場合があります。

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合の SAR の測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

Operating Environment

The device complies with the RF specifications when the device is used near your ear or at your body. For body worn operation, please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

Certification Information (SAR)

This device meets guidelines for exposure to radio waves.
Your device is a low-power radio transmitter and receiver. As recommended by international guidelines, the device is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves.
These guidelines were developed by the independent scientific organization International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP) and include safety measures designed to ensure safety for all users, regardless of age and health.
The Specific Absorption Rate (SAR) is the unit of measurement for the amount of radio frequency energy absorbed by the body when using a device. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but the actual SAR level of the device when being operated can be well below the value. This is because the device is designed to use the minimum power required to reach the network.
The SAR limit adopted by USA and Canada is 1.6 watts/kilogram (W/kg) averaged over one gram of tissue. The Highest SAR value reported to the FCC and IC for this device type when tested for use at the ear is 0.67 W/kg, when properly worn on body is 1.23 W/kg, and when using Wi-Fi hotspot function is 1.23 W/Kg.

The SAR limit also adopted by Europe is 2.0 W/kg averaged over 10 grams of tissue. The highest SAR value for this device type when tested at the ear is 0.433 W/kg.

FCC Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Changes or modifications made to this device not expressly approved by HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD. may void the FCC authorization to operate this device.

Disposal and Recycling Information

This symbol on the device (and any included batteries) indicates that they should not be disposed of as normal household garbage. Do not dispose of your device or batteries as unsorted municipal waste. The device (and any batteries) should be handed over to a certified collection point for recycling or proper disposal at the end of their life. For more detailed information about the recycling of the device or batteries, contact your local city office, the household waste disposal service, or the retail store where you purchased this device. The disposal of this device is subject to the Waste from Electrical and Electronic Equipment (WEEE) directive of the European Union. The reason for separating WEEE and batteries from other waste is to minimize the potential environmental impacts on human health of any hazardous substances that may be present.

Reduction of Hazardous Substances

This device is compliant with the EU Restriction of Hazardous Substances (RoHS) Directive (Directive 2002/95/EC of the European Parliament and of the Council).

EU Regulatory Conformance

Hereby, HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD. declares that this device is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
For the declaration of conformity, visit the Web site www.huaweidevice.com/certification.

CE0168ⓘ

- Observe the national local regulations in the location where the device is to be used. This device may be restricted for use in some or all member states of the European Union (EU).
- This device may be operated in all member states of the EU.

France: Outdoor use limited to 10 mW e.i.r.p. within the band 2454 - 2483.5 MHz.
Italy: For private use, a general authorisation is required if WAS/RLAN's are used outside own premises. For public use, a general authorisation is required.
Norway: This subsection does not apply for the geographical area within a radius of 20 km from the centre of Ny-Ålesund.

GPL／LGPL適用ソフトウェアについて

本製品には、GNU General Public License（GPL）、またはGNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
ライセンスの詳細を確認するには、本端末の設定メニューで「端末情報」→「法的情報」で表示される内容、および本端末とパソコンを「HiSuite」モードで接続し、以下の手順でファイルを参照ください。

1 パソコンの「スタート」メニューから「コンピューター」／「コンピュータ」／「マイコンピュータ」をクリック
名称はご利用のパソコンのOSによって異なります。

2 「HiSuite」デバイスを右クリックし、「開く」をクリック

3 「document」フォルダ→「COPYRIGHT NOTICE.pdf」の順にダブルクリック

書面によるオファー

本端末に含まれるGPLソースコード入りCDの送付をご希望の場合、Mobile@huawei.comまでお問い合わせください。

輸出管理規制について

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問合せください。

知的財産権について

著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標

- 「dメニュー」、「dマーケット」、「FOMA」、「iCお引っこしサービス」、「iD」、「ｉアプリ」、「ｉコンシェル」、「ｉチャネル」、「ｉモード」、「mopera」、「mopera U」、「spモード」、「WORLD CALL」、「WORLD WING」、「Xi」、「Xi／クロッシィ」、「イマドコサーチ」、「イマドコかんたんサーチ」、「エリアメール」、「おサイフケータイ」、「おまかせロック」、「かざしてリンク」、「ケータイお探しサービス」、「ケータイデータお預かりサービス」、「公共モード」、「声の宅配便」、「デコメール®」、「トルカ」、「マチキャラ」および「dメニュー」ロゴ、「dマーケット」ロゴ、「iD」ロゴ、「ｉコンシェル」ロゴ、「ｉチャネル」ロゴ、「spモード」ロゴ、「Xi」ロゴ、「おサイフケータイ」ロゴ、「トルカ」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。

- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 「モバキャス」は、株式会社ジャパン・モバイルキャスティングの商標です。
- 「NOTTV」は、株式会社mmbiの商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi®はWi-Fi Allianceの登録商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「モバイルGoogleマップ」、「Googleトーク」、「Googleトーク」ロゴ、「Google Latitude」、「Google Calendar」、「Google+」、「Google+ローカル」、「Google+ローカル」ロゴ、「YouTube」、「YouTube」ロゴ、「Picasa」は、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Incの商標または登録商標です。
- 「FSKAREN」は、富士ソフト株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®、ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、G ガイド、G-GUIDE、G ガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

Windowsの表記について

本書の本文中においては、各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。

- Windows 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略称です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 Starter、Microsoft® Windows® 7 Home Premium、Microsoft® Windows® 7 Professional、Microsoft® Windows® 7 Ultimateの略称です。
- Windows Vistaは、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Ultimate、Windows Vista® Businessの略称です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system または、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略称です。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式では、ご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

spモードから　dメニュー→「お客様サポート」→「各種お申込・お手続き」（パケット通信料無料）
パソコンから　My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き

※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は裏表紙の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ **使用禁止の場所にいる場合**
航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ **運転中の場合**
運転中の本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ **劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合**
静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ **レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。**

■ **街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。**

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

【公共モード（電源OFF)】（P.66）

電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。

【バイブ】（P.93）

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

【マナーモード】（P.93）

着信音や通知音、操作音など本端末から鳴る音を消します。
※ ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス（P.66）、転送でんわサービス（P.66）などのオプションサービスが利用できます。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00～午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、故障および各種お問い合わせ先（24時間受付）

■ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※HW-03Eからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります　（「+」は「0」をロングタッチします）。

■一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.
'13.4（1版）